



玉手箱

& C-GAB

超実戦問題集

別冊

解答・解説集

「玉手箱」受検の心構えとコツ

最後に、「玉手箱」受検の心構えとコツを紹介しておきます。

1 受検時に使う電卓の計算と入力に慣れておきます。

また、受検の直前に「できなかった問題」を復習し、【即解法】(14、48、68ページ)と【攻略のポイント】(118、142ページ)を一読しておきます。

特に「四則逆算」を受検する場合は、本冊49ページの「 $\square = (= \square)$ の式にする方法」が自然にできるまで習得しておくことが大切です。

2 問題を読んで、まったく解けそうにないときでも、あせらない。

画面下の回答数の割合が消費時間の割合よりも大きい(回答数の帯が時間の帯より右に出ている)ことを確認しながら受検していれば大丈夫です。解けそうにない問題に出くわしたら、回答数の割合が消費時間の割合と同じになった時点であきらめて次の問題に進みます。先に進むほど難しくなっていくので、前半をなるべく速く回答して時間の余裕を作ることも必要です。

ただし、**確実な正解が出せる問題で取りこぼしをしないことのほうが大切**なので、あせらず自分の実力に見合ったペースで進めていってください。

3 わからなくても、全部の選択肢から適当に選んではいけません。

ありえない選択肢を消して、候補を絞ってから選びます。これだけで得点は大きく変わってきます。

仮に自力で正解できた問題が50%だった場合で考えてみましょう。

前半で50%を正解し、そこで制限時間が過ぎたら50%で終わります。しかし、**当て推量でも未回答の50%の問題に回答すれば**、玉手箱の選択肢は3~5つなので、正解していた50%に約10~17%の上乗せができて**60~67%になります**。さらに、**候補を2つに絞って選択肢を選ぶことができれば約25%の上乗せで75%になります**。75%を獲得できれば、**ほとんどの企業で合格圏**です。

本番では**50%以上を正解しておき、わからない問題は候補を絞ってから選ぶ**という意識で全問に回答してください。

本書をここまでマスターしたあなたなら、**必ず本番の玉手箱を通過**できます！
自信をもって、検査に臨んでください。

※合格後に、後輩受検者の方々に本書を推薦していただけますと幸いです。

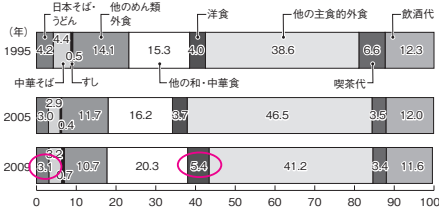
1

図表の読み取り ▶本冊26～47ページ

※解説では、3桁区切りのカンマ(,)は省略しています。

1 【1.74倍】

【一般外食費の構成比（金世帯）】



2009年の洋食の割合は**5.4%**。日本そば・うどんの割合は**3.1%**。

$5.4 \div 3.1 = 1.741\dots \rightarrow$ 約**1.74倍**

※ $5.5 \div 3.0 = 1.83\dots$ と概算しない。割られる数(5.4)を大きく、割る数(3.1)を小さくして概算すると、答えは大きくずれてしまう。

2 【87.7倍】

【目的別放送時間比率】

①標準テレビジョン音声多重放送以外のもの (単位: %)

区分	番組	報道	教育	教養	娯楽	広告	その他	計
Aチャンネル		10.7	22.9	24.7	39.4	1.2	1.1	100.0
Bチャンネル		29.6	15.9	17.0	12.8	2.2	22.5	100.0
Cチャンネル		48.1	13.1	11.0	15.2	5.3	7.3	100.0
Dチャンネル		5.6	15.0	17.0	61.4	0.7	0.3	100.0
Eチャンネル		9.6	2.4	14.2	72.9	0.5	0.4	100.0

Dチャンネルの娯楽番組の放送時間比率は**61.4%**で、広告番組は**0.7%**。

$61.4 \div 0.7 = 87.7\dots \rightarrow$ **87.7倍**

【即解】 $600 \div 7 = 85.7\dots \rightarrow$ 87.7倍

10倍して概算し、600と7で計算する。割り算で割られる数(614)を小さく概算すると答えも小さくなる。求めた[85.7]は概算しない場合よりも小さい。少し大きい選択肢を選ぶ。

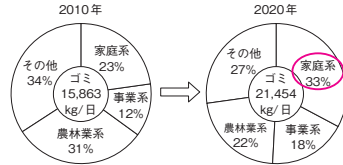
3 【50%】

2020年の家庭系の割合は全体の**33%**。残りの合計は、 $100 - 33 = 67\%$ 。

$33 \div 67 \times 100 = 49.2\dots \rightarrow$ **50%**

【即解】 33は67の約1/2と概算し選択肢の

【A市のゴミ】



50%を選ぶ。または33%→100%の約1/3、他3つの合計が2/3なのでその半分(50%)。

4 【D】

【X国の建築機械総出荷金額の推移】

(単位: 百万円)

年度	総出荷金額	国内出荷金額		輸出金額
		国内出荷金額	輸出金額	
2009	1,262,180	457,574	804,606	
2010	1,962,979	510,992	1,451,987	
2011	2,350,355	663,101	1,687,254	
2012	2,149,510	780,210	1,369,300	
2013	2,335,244	1,009,372	1,325,872	
2014	2,439,602	993,911	1,445,691	
2015	2,256,791	999,259	1,257,532	
2016	2,206,567	986,527	1,220,040	
2017	2,595,163	983,455	1,611,708	
2018	2,807,253	992,503	1,814,750	

A 国内出荷金額<輸出金額であり、2016年以降、差は広がっている。国内出荷金額が輸出金額を越すという推測は不適。

B $1009372 \div 780210 = 1.2937\dots$ 。

増加分は0.2937で約29.3%なので不適。

※概算して $100 \div 78 = 1.282\dots$ でもよい。

C 国内出荷金額のピークは、2018年度ではなく2013年度なので不適。

D 輸出金額は2009年度が**804606**、2010年度が**1451987**。 $1451987 \div 804606 = 1.80\dots$ 。約**1.8倍**なので適(ここでDを選択)。

E 2016年度の総出荷金額は2206567。国内出荷金額986527は、その半分(0.5)にもならないので不適。

5 【37.7%】

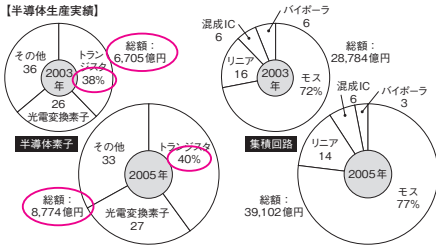
2005年のトランジスタ生産額は、

$8774 \times 0.4 = 3509.6$ 億円

2003年のトランジスタ生産額は、
 $6705 \text{ 億円} \times 0.38 = 2547.9 \text{ 億円}$
 $3509.6 \div 2547.9 = 1.3774 \dots$

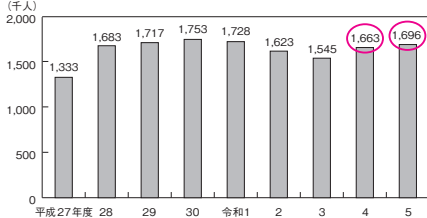
増加分は、
 $137.7 - 100 = 37.7\%$

【半導体生産実績】



6 【令和5年度】

【S空港からの海外旅行者数の推移】



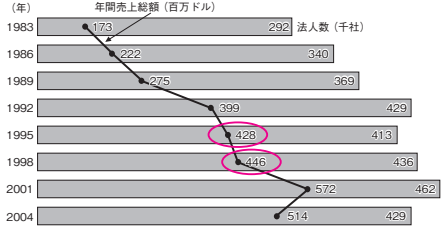
増加している年度のうち増加率の低い年度を答えるので、前年より減少している年(令和1、2、3)は外す。また、増加率の高そうな年度(平成28、令和4)も外す。答えの候補は平成29、30、令和5年度。各年度の前年比は、平成29年度... $1717 \div 1683 = 1.0202 \dots$ 平成30年度... $1753 \div 1717 = 1.0209 \dots$ 令和5年度... $1696 \div 1663 = 1.0198 \dots$ よって、最も増加率が低いのは令和5年度。

※厳密には【増加率(%)】= $(\text{今年} \div \text{昨年} - 1) \times 100$ だが、今年÷昨年だけで正解が選べる。また、僅差と思われるときは概算しない。

7 【4.21%】

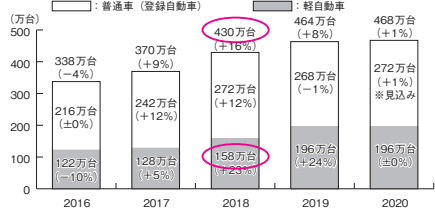
1995年の年間販売額(百万ドル)は428で、1998年は446。
 $446 \div 428 \times 100 = 104.21 \dots$
 → 増加分は $104.21 - 100 = 4.21\%$

【K国の製造業法人数の推移】



8 【0.37x】

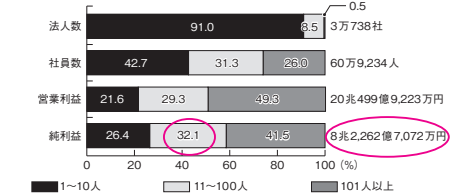
【国内における自動車の新車販売台数(年単位)】



2018年の新車販売台数合計xは430万台、そのうち軽自動車は158万台なので、概算して $160 \div 430 = 0.372 \dots \rightarrow 0.37x$ 。

9 【2兆6,406億円】

【B国の社員数規模別構成比】



8兆2262億を82000、32.1%を32%として概算する。

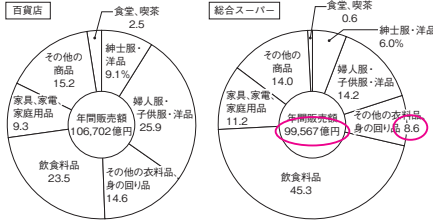
$82000 \times 0.32 = 26240 \text{ 億円}$
 選択肢では2兆6406億円。

10 【9,640億円】

総合スーパーの「その他の衣料品、身の回り品」の年間販売額は、
 $99567 \times 0.086 = 8562.762 \text{ 億円}$
 これが前年と比べて11.2%減少しているの

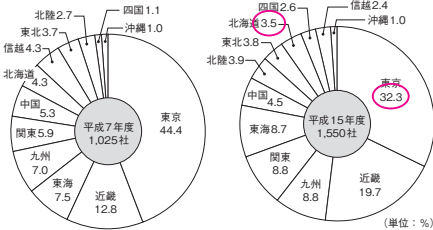
で、グラフの年は前年の
 $100 - 11.2 = 88.8\%$ にあたる。よって前年は、
 $8562.762 \div 0.888 = 9642.75$ 億 →
9640億円

【百貨店、総合スーパーの商品別年間販売額の構成比】



11 【3.5X/32.3】

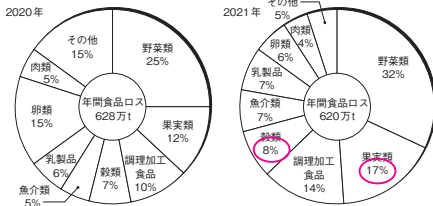
【電気通信事業者の地域別本社所在地数比の比較】



東京に本社がある事業者数 **32.3%** を X とすると、**3.5%** の北海道は、 $X \times 3.5/32.3$ と表せる。X は分子にかかるので、**3.5X/32.3**。
 ※「X とすると」を「1 とすると」と置き換えて考えるとよい。東京よりも北海道の方が少ないので、比率は 1 よりも小さくなる。分子(上辺)に小さい数字がくる。X は常に上辺につく。

12 【8X/17】

【食品ロスの年間種類別割合】

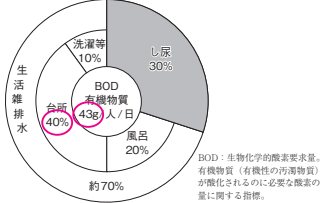


2021年の果実類 **17%** を X とすると、**8%** の

穀類は、 $X \times 8/17$ と表せる。X は上辺(分子)にかかるので、**8X/17**。

13 【206.4kg】

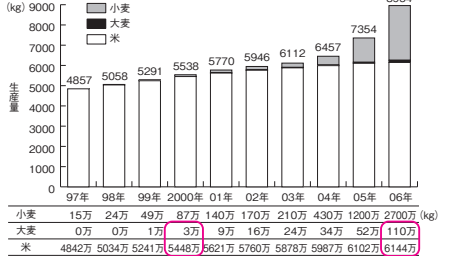
【1人1日当たりの食荷 (BOD)】



1人1日あたりの有機物質は **43g**。
 台所からは **40%** なので、 $43g \times 0.4 = 17.2g$
 人口1万2千人の都市では、
 $17.2 \times 12000 = 206400g = 206.4kg$

14 【14.7%】

【R地帯の生産作物】



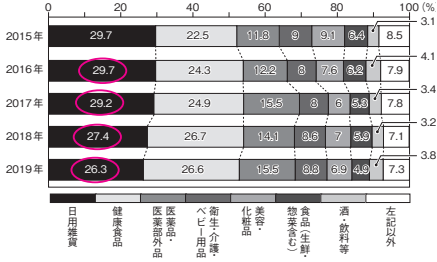
図表の下部の2000年と2006年だけ見ればよい。大麦と米の合計の生産量(kg)は、
 2000年：3万+5448万 = **5451万**
 2006年：110万+6144万 = **6254万**
 $6254万 \div 5451万 = 1.1473... \rightarrow 114.7\%$
 増えたのは、
 $114.7 - 100 = 14.7\%$

15 【日用雑貨】

2016年から前年と比べて数値が同じ、または下がっているのは日用雑貨のみ。
 ※このように、計算の必要がない問題も出題される。なるべく時間をかけずに正解したい。

計数・解説
 1 図表の読み取り

【ドラッグストアの商品カテゴリー別年間売上高構成比の推移】



16 【5,900万人】

【主要国の道路現況】

国名	高速道路延長 (km)	高速道路/国土面積 (km/万km ²)	人口万人あたりの高速道路延長 (km/万人)	自動車千台あたりの高速道路延長 (km/千台)	自動車保有台数 (千台)
A国	89,232	95.29	3.24	0.415	214,775
B国	11,515	322.55	1.39	0.256	44,916
C国	3,358	138.19	0.56	0.145	23,159
D国	11,500	208.33	1.96	0.34	33,813
E国	6,621	219.97	1.14	0.188	35,143
F国	6,851	181.24	0.54	0.09	76,271

D国の人口万人あたりの高速道路延長は、**1.96km/万人**。

D国の高速道路延長は、**11500km**なので、**1万人：1.96km = x万人：11500km**で、**1.96x = 1 × 11500**

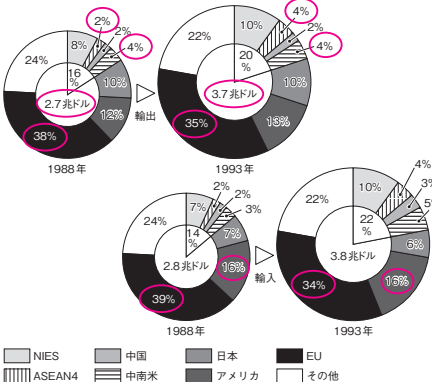
$x = 11500 \div 1.96 = 5867.3 \dots$ 万人

→ **5900万人**

※難問だが、「11500は、人口×1.96」と単位を省略して考えるとは式を導ける。

17 【3つ】

【主要国・地域の全世界輸出入に占める割合】



1つずつ確かめる。

・輸出額、輸入額ともに全世界の中でEUの占める割合が最も大きい。→すべてのグラフでEUの割合が最も大きい…○

・1988年のASEAN4の全世界の輸出額に占める割合は1993年の半分である。

→ASEAN4の輸出額の割合は、1988年は2%、1993年は4%…○

・1988年に比べ、1993年に全世界の輸入額に占める割合が減少している国は日本のみである。→EUが39%から34%に減少している(また、アメリカは16%→16%で同じ)…×

・中南米の1993年の輸出額は1988年と比べて400億ドル増えた。

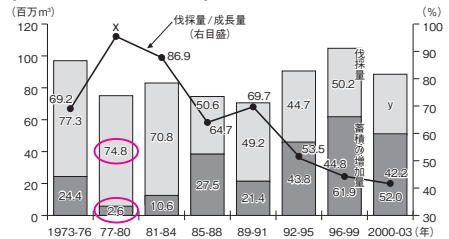
→中南米の輸出額の増加分を求める。

$3.7 \text{兆} \times 0.04 - 2.7 \text{兆} \times 0.04 = (3.7 \text{兆} - 2.7 \text{兆}) \times 0.04 = 1.0 \text{兆} \times 0.04 = 0.04 \text{兆} = 400 \text{億ドル} \dots \text{○}$

よって、正しい説明は3つ。

18 【96.6】

【H国における森林の成長量と伐採量】



xは77-80年の【伐採量/成長量】(=伐採量÷成長量)を表している。

77-80年の森林の伐採量…**74.8**百万m³

77-80年の森林の成長量(伐採量+蓄積の増加量)…**74.8 + 2.6 = 77.4**百万m³

$x = 74.8 \div 77.4 = 0.966 \dots \rightarrow \text{約} 96.6\%$

19 【40.9】

一番下の行のみ見ればよい。各国の出願合計が**41342**件、うち各国特許庁への直接出願の合計が**16907**件。直接出願の割合は、

【Y国から海外への発明特許出願件数】

	出願合計	構成比 (%)	うち各国特許庁への 直接出願数	うち各国特許庁への 直接出願比率 (%)
米国	21,368	51.7	11,852	55.4
欧州特許庁	5,711	13.9	1,064	18.6
日本	2,840	7.3	635	22.3
韓国	1,947	4.8	378	19.4
インド	1,681	3.2	128	7.6
ロシア	860	2.3	59	6.0
香港	844	2.3	844	100.0
ブラジル	737	1.8	57	7.7
オーストラリア	638	1.5	98	15.3
カナダ	646	1.5	91	14.0
その他	4,052	9.7	1,701	41.9
合計	41,342	100.0	16,907	(A)

$16907 \div 41342 = 0.4089 \dots \rightarrow 40.9\%$

20 【24%】

【R国における職業別パートタイム労働者数の推移】 (単位：千人)

年	職業計	管理職	専門職	専門・ 技術職	事務職	技能職	賃 働	販 売	工場 機械	その他
2001	5,777	261	341	456	1,104	199	973	970	226	1,108
2002	5,932	315	361	417	1,114	191	1,051	1,013	200	1,126
2003	6,004	344	354	436	1,125	207	1,103	1,018	199	1,091
2004	6,152	338	389	475	1,131	199	1,129	1,047	204	1,122
2005	6,183	376	427	463	1,112	185	1,125	1,057	229	1,116
2006	6,410	359	424	509	1,167	177	1,224	1,125	228	1,101
2007	6,554	351	438	569	1,179	188	1,269	1,177	232	1,091
男	1,302	97	123	102	96	103	164	216	103	258
女	5,252	254	315	467	1,083	85	1,105	961	129	833
増加率										
2001-07	13.4%	34.5%	28.4%	24.8%	(X)	-5.5%	30.4%	21.3%	2.7%	-1.5%

2004年の行だけを見る。

管理職と事務職の合計は、

$338 + 1131 = 1469$ 千人

2004年の職業計は6152千人なので、職業

計に対する管理職と事務職の合計の割合は、

$1469 \div 6152 = 0.238 \dots \rightarrow 24\%$

21 【1.1】

【電子計算器・同付属装置製造業の事業所数、従業者数、製造品出荷額】

年	事業所数 (件)	従業者数 (人)	製造品出荷額 (百万円)
1996	1,852	145,024	5,149,880
1997	1,813	152,990	6,007,903
1998	1,921	154,258	6,596,755
1999	1,955	160,723	7,632,118
2000	2,030	166,637	8,354,873
2001	2,041	164,852	8,760,751
2002	1,901	162,658	8,301,355
2003	1,776	160,238	8,296,638
2004	1,600	150,464	8,222,902
2005	1,569	146,665	8,358,646

事業所数の列だけを見る。

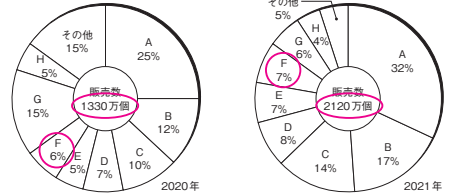
1997年の事業所数は1813。2001年の事業
所数は2041。

1997年の事業所数を1とすると、2001年
の事業所数は、

$2041 \div 1813 = 1.12 \dots \rightarrow 1.1$

22 【86.0%】

【チョコレート国内販売数のブランド別シェア】



2020年のFの販売数は、

$1330 \times 6\% = 79.8$ 万個

2021年のFの販売数は、

$1210 \times 7\% = 148.4$ 万個

$148.4 \text{万} \div 79.8 \text{万} = 1.859 \dots \rightarrow 186.0\%$

増加分は、

$186.0 - 100 = 86.0\%$

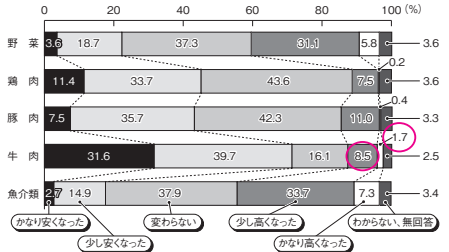
【別解】増加分は、

$(148.4 \text{万} - 79.8 \text{万}) \div 79.8 \text{万} = 0.8596 \dots$

$\rightarrow 86.0\%$

23 【16.7%】

【4~5年前と比較した食品別小売価格の変化】



牛肉が「高くなった」と感じる割合は「少し高くな
った」と「かなり高くなった」の合計なので、

$8.5 + 1.7 = 10.2\%$

このうち「かなり高くなった」と感じる割合は、

$1.7 \div 10.2 = 0.166 \dots \rightarrow 16.7\%$

24 【-7.4】

D社の取扱個数(千個)は、平成12年が
82200、平成13年が76120。

増減数は、

$76120 - 82200 = -6080$

計数・解説

1 図表の読み取り

増減率は、

$$-6080 \div 82200 = -0.0739... \rightarrow -7.4$$

【別解】 $76120 \div 82200 = 0.9260...$

$\rightarrow 92.6\%$

増減率は、

$$92.6 - 100 = -7.4\%$$

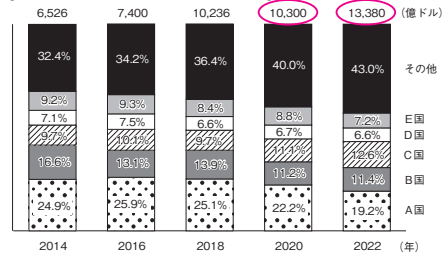
【小包郵便物、宅配便取扱個数の推移】

(単位：千個、%)

便名(事業者名)	年度	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	
		取扱個数	235,002	287,588	351,434	408,118	425,995
小包郵便物	増減率	20.1	26.6	18.1	16.1	4.4	
全宅配便	取扱個数	911,250	1,028,540	1,100,500	1,124,840	1,183,370	
	増減率	19.5	12.9	7.0	2.2	5.2	
合計	取扱個数	1,146,252	1,326,138	1,451,934	1,532,958	1,609,365	
	増減率	19.6	15.7	9.5	5.6	5.0	
主要宅配便5便	A社	取扱個数	352,700	415,560	451,810	478,770	515,200
		増減率	19.1	17.8	8.7	6.0	7.6
	B社	取扱個数	262,950	289,910	309,290	316,090	318,890
		増減率	29.9	10.3	6.7	2.2	0.9
	C社	取扱個数	84,630	94,770	105,970	106,740	107,660
		増減率	15.7	12.0	11.8	0.7	0.9
	D社	取扱個数	70,310	76,400	82,200	76,120	88,750
		増減率	12.4	8.7	7.6	(X)	16.6
	E社	取扱個数	45,290	49,020	52,570	58,670	67,360
		増減率	11.7	8.2	7.2	11.6	14.8

25 【2,050億ドル】

【各国における鶏肉の輸出額の国別占有率の推移】



2020~2022年の総輸出額(億ドル)の増加率は、

$$13380 \div 10300 = 1.299... \rightarrow 130\%$$

(増加したのは $130 - 100 = 約30\%$)

この増加率が2022~2024年と同じなので、

2024年の総輸出額は、

$$13380 \times 1.30 = 17394$$

このうちB国の占有率は**11.8%**なので、B国の輸出額は、

$$17394 \times 0.118 = 2052.4... \rightarrow 2050 \text{ 億ドル}$$

26 【250,000人】

2022年の女性の就業者数(千人)は**35273**。

2023年の女性の対前年増減率は**0.7%**なの

で、増加した人数は、

$$35273 \times 0.007 = 246.9... \rightarrow 250 \text{ 千人} \rightarrow 250000 \text{ 人}$$

【M国の就業者数の推移】

年	就業者数(人数)		対前年増減率		人口に対する割合		
	男性(千人)	女性(千人)	男性(%)	女性(%)	全体(%)	男性(%)	女性(%)
2021年	45,518	34,930	0.2	1.3	73.6	86.2	61.8
2022年	45,539	35,273	0	1	73.9	86.3	62.4
2023年	45,487		-0.1	0.7	73.7	85.8	62.5
2024年	45,448	35,767	-0.1	0.7	73.9	85.7	62.9
2025年	45,437	36,051	0	0.8		85.8	63.4

27 【422千円】

【資金一産業別常用労働者1人平均月間現金給与額(事業所規模30人以上)】(単位：千円)

年次	現金給与総額									
	建設業	製造業	電気・ガス	運輸・通信業	卸売・小売業、飲食業	金融・保険業	サービス業	その他	平均	標準
平成7年	317	306	300	427	344	273	408	338		
平成12年	370	402	352	517	413	309	490	380		
平成17年	409	451	391	584	454	336	541	413		
平成20年	416	458	408	606	430	345	535	422		
前年比(%)	-1.4	-2.2	-1.1	0.8	-0.8	-3.3	-3.5	-0.1		

表に平成19年はないが、平成20年の前年比から算出できる。平成19年を1とすると、平成20年は前年比**-1.4%**なので、

$$1 - 0.014 = 0.986$$

平成19年の現金給与と総額は、

$$416 \div 0.986 = 421.9... \rightarrow 422 \text{ 千円}$$

28 【12,502千人】

【世帯構造別にみた世帯の児童数別世帯数と平均児童数】

世帯構造	総数	児童数				平均児童数
		1人	2人	3人	4人以上	
推計数(単位：千世帯)	(人)					
世帯総数	23,683	5,573	11,358	5,679	1,073	1.77
単身世帯	135	135	-	-	-	1.00
核家族世帯	16,372	4,036	8,218	3,391	727	1.73
三世帯世帯	6,580	1,212	2,930	1,136	301	1.90
その他の世帯	596	189	211	151	44	1.68
構成割合(単位：%)						
世帯総数	100.0	23.5	48.0	24.0	4.5	-
単身世帯	100.0	100.0	-	-	-	-
核家族世帯	100.0	24.7	50.2	20.7	4.4	-
三世帯世帯	100.0	18.4	44.5	32.5	4.6	-
その他の世帯	100.0	31.8	35.4	25.4	7.4	-

三世帯世帯の総数は**6580**千世帯で平均児童数が**1.90**人なので、三世帯世帯の児童数は、**6580千×1.90 = 12502千人**

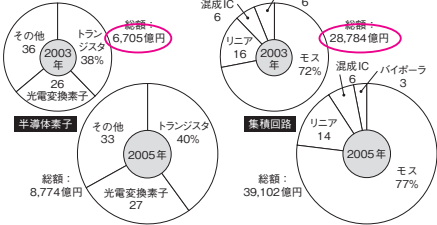
【即解】 選択肢が離れた数なので概算する。三世帯世帯の平均児童数が1.90人なので、6580千世帯の2倍弱の選択肢を選ぶ $\rightarrow 12502$ 千人

29 【33,799億円】

2003年の半導体素子、集積回路の合計生産

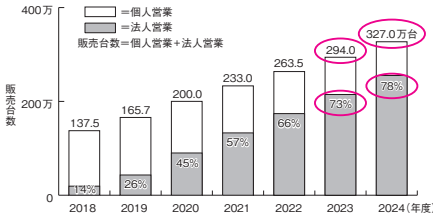
額(億円)は、
 $6705 + 28784 = 35489$
 対前年比増加率が5% (0.05)なので、前年
 (2002年)の合計生産額は、
 $35489 \div 1.05 = 33799.0\dots$
 → 33799億円

【半導体生産実績】



30 【18.8%】

【自動車メーカーCの販売台数】



法人営業の販売台数(万台)は、
 2023年度... $294 \times 0.73 = 214.62$
 2024年度... $327 \times 0.78 = 255.06$
 $255.06 \div 214.62 = 1.188\dots \rightarrow 118.8\%$
 増加分は、 $118.8 - 100 = 18.8\%$
 ※ 78% - 73% = 5%とするのは%の母数が異なるので間違い。販売台数を計算する必要がある。

31 【平成14年度】

表の最下段の「合計」で、各年度の前年度に対する割合を求める。
 14年: $24708 \div 24415 = 1.0120$
 15年: 4年より少ないので増加率は1以下
 16年: $24863 \div 24545 = 1.0129$
 17年: $25097 \div 24863 = 1.0094$
 18年: $26986 \div 25097 = 1.0752$

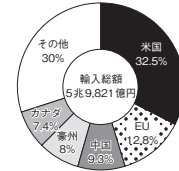
大きい順に 18年 > 16年 > 14年 > 17年 > 15年で、3番目に大きいのは平成14年度。

【F国の果物生産量】

種類	年度(平成)					
	13	14	15	16	17	18
リンゴ	13,498	13,555	13,103	12,860	12,486	13,892
桃	2,383	2,545	2,767	2,872	3,103	3,402
さくらんぼ	2,216	2,212	2,192	2,286	2,502	2,522
バナナ	1,807	1,880	1,804	1,923	1,666	1,772
いちご	1,416	1,369	1,276	1,415	1,396	1,430
なし	1,270	1,132	1,065	970	1,181	1,246
みかん	533	622	757	785	905	930
グレープフルーツ	439	475	510	367	487	441
ぶどう	294	298	307	350	399	434
パイナップル	127	171	220	245	266	259
ブルーベリー	61	77	100	107	126	137
レモン	78	91	75	95	107	126
メロン	37	35	43	59	94	68
マンゴー	9	5	1	39	107	58
その他	247	240	326	308	272	268
合計	24,415	24,708	24,545	24,863	25,097	26,986

32 【1,032億円】

【T国の主な肉類輸出相手国】



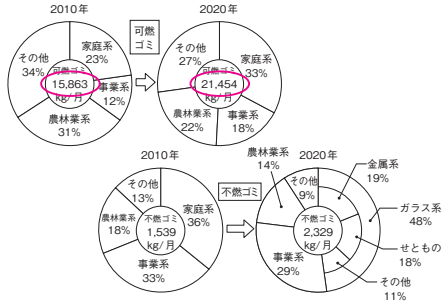
【T国の主な肉類輸出相手国】

肉類	相手国 (単位: %)			
	1位	2位	3位	4位
牛肉	米国	中国	その他	-
豚肉	米国	EU	カナダ	中国
鶏肉	米国	カナダ	香港	中国
羊肉	米国	EU	カナダ	中国
その他	香港	米国	EU	カナダ

右表から、鶏肉と豚肉それぞれのカナダへの輸出額(億円)を求める。
 鶏肉... $2448 \times 0.093 = 227.664 \rightarrow 228$
 豚肉... $3393 \times 0.237 = 804.141 \rightarrow 804$
 合計... $228 + 804 = 1032 \rightarrow 1032$ 億円

33 【35%】

【J県のゴミ】



$21454 \div 15863 = 1.35\dots \rightarrow 135\%$
 増加したのは $135 - 100 = 35\%$
 【別解】 $(21454 - 15863) \div 15863 = 0.35$

計数・解説

1 図表の読み取り

… → 35%

34 【12秒】

【S国の民間ラジオ放送番組種類別放送時間の推移】

年	ラジオ放送社数(社)	1社1日平均放送時間(分)	番組構成比(%)						1社1カ月平均CM本数(本)
			報道	教育教養	娯楽	スポーツ	CM	その他	
1990	39	599	11.6	26.1	38.6	18.9	0.7	4.1	528
1995	46	873	10.9	35.9	45.3	5.3	1.0	1.6	4,061
2000	77	998	10.6	36.7	47.3	4.3	0.5	0.6	4,422
2005	88	1,009	11.7	36.8	46.2	4.4	0.4	0.5	5,824
2010	93	1,042	13.5	36.9	44.4	4.1	0.5	0.6	6,746
2014	102	1,090	15.1	35.8	42.8	5.0	0.5	0.8	7,239

2014年の1社1カ月平均のCMの放送時間が**1447.8**分のとき、CM1本あたりの放送時間を求める。1社1カ月平均のCM本数は**7239**本なので、

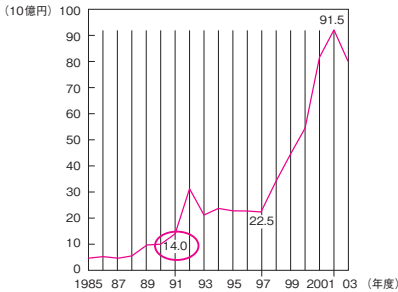
$$1447.8 \div 7239 = 0.2(\text{分})$$

$$0.2 \times 60 = 12 \text{秒}$$

※「図表の読み取り」では計算に必要な項目を速く見つけることが大切。本問では「1社あたり1カ月平均でCMが何本あったか」だけが必要な情報だとわかればすぐに解くことができる。表内で必要な情報は「7239」だけ。

35 【131%】

【N国の海外への研究費支出額】



グラフの単位が**(10億円)**であることに注意する。92年度が323億円で、91年度は**140**億円なので、

$$323 \text{億} \div 140 \text{億} = 2.307 \dots \rightarrow 231\%$$

$$\text{増加分は、} 231 - 100 = 131\%$$

【別解】 $(323 - 140) \div 140 = 1.307 \dots$

$$\rightarrow 131\%$$

36 【21時間51分】

【ジャンル別放送時間比率】

番組区分	①標準テレビジョン音声多重放送以外のもの (単位:%)							②標準テレビジョン音声多重放送 (単位:%)	
	ニュース	ドラマ	バラエティ	スポーツ	広告	その他	計	ステレオ番組	2か国語番組
P放送局	10.7	22.9	24.7	39.4	1.2	1.1	100.0	80.9	15.5
Q放送局	29.6	15.9	17.0	12.8	2.2	22.5	100.0		
R放送局	48.1	13.1	11.0	15.2	5.3	7.3	100.0		3.6
S放送局	5.6	15.0	17.0	61.4	0.7	0.3	100.0		
T放送局	9.6	2.4	14.2	72.9	0.5	0.4	100.0		
U放送局	1.1	43.6	10.3	45.0	0	0	100.0		
V放送局	45.4	13.9	15.3	25.3	0	0.1	100.0		

標準テレビジョン音声多重放送**27**時間のうちのステレオ番組が占める割合を求める。②の表【標準テレビジョン音声多重放送】で、ステレオ番組の割合は**80.9%**なので、

$$27 \times 0.809 = 21.843 \text{時間}$$

$$0.843 \text{時間} = 0.843 \times 60 = 50.58 \text{分}$$

$$21.843 \text{時間} \div 21 \text{時間} = 21 \text{時間} 51 \text{分}$$

※選択肢が近い値なので概算しない。選択肢から概算の可否を判断することも大切。

37 【30万km²】

【ある年の主要国の自動車使用台数】

国名	乗用車(万台)	商業車(万台)	100人あたりの台数(台)	1km ² あたりの台数(台)
K国	654	395	3.8	27.2
L国	4,006	1,559	40.2	10.2
M国	3,043	172	18.9	50.0
N国	2,076	89	18.6	47.0
O国	190	372	0.4	0.2
P国	1,150	258	23.1	25.9
Q国	731	73	14.0	26.7
R国	577	151	28.2	0.7

Q国の国土面積を求めるので、必要な情報は乗用車+商業車の合計数と1km²あたりの台数。乗用車+商業車 = 731 + 73 = **804**万台
1km²あたりの台数は**26.7**台なので、国土面積は、

$$804 \text{万} \div 26.7 = 30.1 \text{万} \dots \rightarrow 30 \text{万} \text{km}^2$$

38 【2.3%】

23年度の国内営業収益(百万円)は**30744**。

スポーツ飲料の収益は**715**。

割合なので単位は省略して計算する。

$$715 \div 30744 = 0.0232 \dots$$

$$\rightarrow 2.3\%$$

【飲料メーカーQ社の営業収益の推移】

(単位：百万円、%)

区別	23 (平成)		24		25	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
国内営業収益	30,744	6.2	32,667	1.8	34,206	4.7
コーヒー飲料	24,277	15.1	24,704	1.8	24,995	1.2
茶系飲料	2,283	2,638	15.1	2,765	25.6	6.4
スポーツ飲料	1,505	961	20.4	1,008	17.1	17.1
その他	1,961	2,276	15.9	2,843	16.9	16.9
海外営業収益	1,435	1,494	4.5	1,633	9.1	9.1
コーヒー飲料	1,141	1,210	6.0	1,355	12.0	12.0
茶系飲料	107	114	6.5	118	3.5	3.5
スポーツ飲料	15	47	△24.2	11	△15.4	15.4
その他	109	110	0.9	114	3.6	3.6
合計	32,179	34,161	6.2	35,845	4.9	4.9

39 【16%】

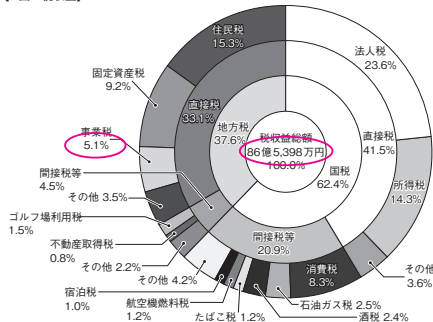
【全国メインバンク上位20行の企業数比較】

金融機関	2022年			2021年		
	社数 (社)	シェア (%)	前年比 (pt)	社数 (社)	シェア (%)	前年比 (pt)
A銀行	16,076	1.10	0.01	16,046	1.09	0.01
B銀行	21,422	1.46	±0.00	21,124	1.45	0.01
C銀行	76,880	5.25	±0.00	77,437	5.41	▲0.02
D銀行	14,427	0.98	▲0.01	14,291	0.98	±0.00
E銀行	17,593	1.20	0.01	17,418	1.18	0.01
F銀行	14,052	0.96	±0.00	14,027	0.96	±0.00
G銀行	30,753	2.10	0.02	30,469	2.08	0.01
H銀行	15,226	1.04	±0.00	15,198	1.05	±0.00
I銀行	16,730	1.14	±0.00	16,745	1.15	0.01
J銀行	15,602	1.06	▲0.01	15,500	1.08	±0.00
K銀行	14,338	0.98	±0.00	14,160	0.97	±0.00
L銀行	61,831	4.22	0.01	62,291	4.35	0.01
M銀行	22,096	1.51	0.02	21,871	1.47	0.03
N銀行	16,653	1.14	±0.00	16,387	1.11	±0.00
O銀行	95,718	6.58	▲0.06	96,511	6.8	▲0.05
P銀行	20,777	1.42	0.01	20,563	1.4	±0.00
Q銀行	23,965	1.64	▲0.01	23,895	1.68	±0.00
R銀行	15,052	1.03	±0.00	14,944	1.03	▲0.01
S銀行	18,068	1.23	▲0.01	17,993	1.24	-
T銀行	15,254	1.04	▲0.01	15,319	1.08	0.01

2022年のシェア(%)の欄で、1位は**6.58%**のO銀行、2位は**5.25%**のC銀行、3位は**4.22%**のL銀行。この3行の合計シェアは、 $6.58 + 5.25 + 4.22 = 16.05\% \rightarrow 16\%$

40 【4億4,000万円】

【P国の税收益】



税収益総額が**86億5398万円**で、そのうち事業税の割合は**5.1%**なので、

$865398 \text{万} \times 0.051 = 44135 \text{万円}$

→ **4億4000万円**

※ 10000万→1億(ゼロを4つ減らす)

※お疲れ様でした。

「玉手箱」の計数は、ほとんどの受検者が、制限時間内に全問を解くことは難しいと感じるようです。1回目で制限時間内で解けなくても、まったく問題ありません。

最初は解けない場合でも、「玉手箱の対策は出題パターンに対応した解法の暗記」と割り切って、本書の解き方を覚えていけば、本番で十分に対応できます。解説を読んで解法パターンを理解したうえで、もう一度やってみましょう。練習問題を最低2周してから、「模擬試験」にチャレンジすると実力アップが実感できるでしょう。

●解説は基本的に、□のない辺を先に計算する方法で記載されてます。□=の式にしてからまとめて計算してもかまいません。他辺に移したときの+・-・×・÷の記号と位置がどう変わるかを判断できるようにしましょう。

41 [41]

$$7 \times 11 = \square + 36 \leftarrow \text{左辺を計算}$$

$$77 = \square + 36 \leftarrow + 36 \text{ を左辺へ } (-36)$$

$$77 - 36 = 41 = \square$$

【即解】選択肢の一の位が異なるため、一の位だけ計算。 $7 \times 1 = 7$ 。 $7 - 6 = 1$ なので、□の一の位は1。一の位が1の選択肢は41だけ。

42 [144]

$$8 + 11 + 17 = \square \div 4 \leftarrow \text{左辺を計算}$$

※割り算($\div 4$)を先に左辺へ移してから計算する場合は、 $(8 + 11 + 17) \times 4$ のようにかっこでくる。 $8 + 11 + 17 \times 4$ とはしない。

$$36 = \square \div 4 \leftarrow \div 4 \text{ を左辺へ } (\times 4)$$

$$36 \times 4 = 144 = \square$$

※以下、「計算」とある箇所は、なるべく暗算か筆算できるように練習しておくとういでしょう。志望企業の適性検査が電卓が使える検査だとわかっている場合は、電卓で練習しましょう。

43 [4/45]

$$0.1 = \square \times 9/8 \leftarrow \text{分数に揃えて計算}$$

$$\frac{1}{10} = \square \times \frac{9}{8} \leftarrow \times \frac{9}{8} \text{ を左辺へ } (\div \frac{9}{8})$$

$$\frac{1}{10} \div \frac{9}{8} = \frac{1}{5} \times \frac{8}{9} = \frac{4}{45} = \square$$

44 [-80]

$$\square + 266 = 186 \leftarrow + 266 \text{ を右辺へ } (-266)$$

$$\square = 186 - 266 = -80$$

45 [5]

$$3 + 77 = \square \times 16 \leftarrow \text{左辺を計算}$$

$$80 = \square \times 16 \leftarrow \times 16 \text{ を左辺へ } (\div 16)$$

$$80 \div 16 = 5 = \square$$

46 [16]

$$0.04 \times \square = 0.8 \times 0.8 \leftarrow \text{右辺を計算}$$

$$0.04 \times \square = 0.64 \leftarrow 0.04 \times \square \text{ を右辺へ } (\div 0.04)$$

$$\square = 0.64 \div 0.04 = 16$$

【即解】0.8を10倍すると右辺は $8 \times 8 = 64$ 。右辺は10倍 \times 10倍したので100倍になっている。左辺も100倍すると $0.04 \times 100 = 4$ 。

$$4 \times \square = 64$$

$$\square = 64 \div 4 = 16$$

47 [4]

$$(13 + \square) \times 7 = 119 \leftarrow \times 7 \text{ を右辺へ } (\div 7)$$

$$13 + \square = 119 \div 7 \leftarrow \text{右辺を計算}$$

$$13 + \square = 17 \leftarrow 13 + \square \text{ を右辺へ } (-13)$$

$$\square = 17 - 13 = 4$$

48 [87]

$$17 + 43 + \square = 147 \leftarrow \text{左辺を計算}$$

$$60 + \square = 147 \leftarrow 60 + \square \text{ を右辺へ } (-60)$$

$$\square = 147 - 60 = 87$$

49 [216]

$$9/11 \times 33 = \square \div 8 \leftarrow \text{左辺を計算}$$

$$\frac{9}{11} \times 33 = \square \div 8$$

$$27 = \square \div 8 \leftarrow \div 8 \text{ を左辺へ } (\times 8)$$

$$27 \times 8 = 216 = \square$$

50 [6]

$14/5 \div 7/15 = \square$ ←分数は逆数にしてかける ($\div 7/15$ は $\times 15/7$ になる)

$$\frac{2}{15} \times \frac{15^3}{7} = 6 = \square$$

51 [5]

$$0.125 \times \square = 0.25 \div 0.4 \leftarrow \text{右辺を計算}$$

$$0.125 \times \square = 0.625$$

$$\leftarrow 0.125 \times \text{を右辺へ} (\div 0.125)$$

$$\square = 0.625 \div 0.125 = 5$$

【別解】分数に直してから計算する。

$$1/8 \times \square = 1/4 \div 2/5$$

$$\leftarrow 1/8 \times \text{を右辺へ} (\div 1/8)$$

$$\square = 1/4 \div 2/5 \div 1/8$$

\leftarrow 分数の割り算は逆数にしてかける

$$\square = 1/4 \times 5/2 \times 8$$

$$\square = \frac{1 \times 5}{4 \times 2} \times 8 = \frac{5}{8} \times 8 = 5$$

52 [48]

$$\square \div 4 + 10 = 22 \leftarrow 10 \text{を右辺へ} (-10)$$

$$\square \div 4 = 22 - 10 \leftarrow \div 4 \text{を右辺へ} (\times 4)$$

$$\square = (22 - 10) \times 4 = 48$$

53 [75]

$$0.08 + 0.4 = 36 \div \square \leftarrow \text{左辺を計算}$$

$$0.48 = 36 \div \square \leftarrow 36 \div \text{のまま左辺へ}$$

$$36 \div 0.48 = 75 = \square$$

54 [0.3]

$$30 \times \square = 100 \times 0.09 \leftarrow \text{右辺を計算}$$

$$30 \times \square = 9 \leftarrow 30 \times \text{を右辺へ} (\div 30)$$

$$\square = 9 \div 30 = 0.3$$

55 [1/12]

$$1/4 + \square = 1/3 \leftarrow 1/4 + \text{を右辺へ} (-1/4)$$

$$\square = \frac{1}{3} - \frac{1}{4} = \frac{4}{12} - \frac{3}{12} = \frac{1}{12}$$

56 [40]

$$27 - 62 = 5 - \square \leftarrow \text{左辺を計算}$$

$$-35 = 5 - \square \leftarrow 5 - \text{のまま左辺の} -35 \text{の前へ} (-と-で+になる)$$

$$5 + 35 = 40 = \square$$

57 [8]

$$49 \div 56 = 7 \div \square \leftarrow \text{左辺を計算}$$

$$0.875 = 7 \div \square \leftarrow 7 \div \text{のまま左辺へ}$$

$$7 \div 0.875 = 8 = \square$$

【即解】左辺の49が右辺では49の1/7の7になっているので、左辺の56を1/7倍(÷7)すると□になる。

$$\square = 56 \div 7 = 8$$

両辺を分数にしても解ける。(左辺を約分)

$$\frac{49}{56} = \frac{7}{8} = \frac{7}{\square} \text{なので、}\square \text{は} 8.$$

58 [4.4]

$$7 \times \square + 3 \times \square = 44 \leftarrow 2 \text{つの}\square \text{をまとめる}$$

$$(7 + 3) \times \square = 44$$

$$10 \times \square = 44 \leftarrow 10 \times \text{を右辺へ} (\div 10)$$

$$\square = 44 \div 10 = 4.4$$

59 [0.06]

$$0.42 \div \square = 7 \leftarrow 0.42 \div \text{のまま右辺へ}$$

$$\square = 0.42 \div 7 = 0.06$$

60 [500]

$$2 \div 0.2 = 0.02 \times \square$$

$$\leftarrow 0.02 \times \text{を左辺へ} (\div 0.02)$$

$$2 \div 0.2 \div 0.02 = 500 = \square$$

【即解】左辺を暗算して $2 \div 0.2 = 10$ 。

$0.02 \times \square$ が10なので、□は500。

61 [3/4]

$$\square \times \square = 0.5625$$

5625を素因数分解して $[5 \times 5 \times 5 \times 5 \times 3 \times 3] = [5 \times 5 \times 3] \times [5 \times 5 \times 3] = [75 \times 75]$ 。 $0.5625 = 0.75 \times 0.75$ 。 $0.75 = 3/4$

【即解】電卓で $0.5625\sqrt{\quad}$ と入力して0.75。

62 **【28】**

240の $\square\%$ = 67.2

←「 $\square\%$ 」は「 $\times\square\%$ 」と読みかえる

$240 \times \square\% = 67.2$ ← $240 \times$ を右辺へ(÷240)

$\square\% = 67.2 \div 240 = 0.28$ → 100倍して28

【即解】選択肢が離れた数なので概算する。

$70 \div 240 = 0.29\dots$ → 近い選択肢は28

63 **【0.5】**

$25 \div \square - 12 = 38$ ← -12 を右辺へ(+12)

$25 \div \square = 38 + 12$ ← 右辺を計算

$25 \div \square = 50$ ← $25 \div$ をそのまま右辺へ

$\square = 25 \div 50 = 0.5$

64 **【0.725】**

$3/5 + 1/8 = \square$

選択肢が小数なので小数にして計算する。

$3/5 = 0.6$ 、 $1/8 = 0.125$ 。

$0.6 + 0.125 = 0.725$

【別解】通分して計算してから小数にする。

$24/40 + 5/40 = 29/40$

$29 \div 40 = 0.725$

65 **【8411.65】**

$8460 - \square = 48.35$

← $8460 -$ をそのまま右辺へ

$\square = 8460 - 48.35 = 8411.65$

【即解】選択肢の桁が異なるので概算できる。

$8500 - 50 = 8450$ → 近い選択肢は8411.65

66 **【160】**

$900 - (\square + 520) = 85 + 135$ ← 右辺を計算

$900 - (\square + 520) = 220$

← $900 -$ をそのまま右辺へ

$\square + 520 = 900 - 220$ ← $+520$ を右辺へ

$\square = 900 - 220 - 520 = 160$

67 **【1】**

$3 \times 4/7 = \square \div 7/12$ ← 左辺を計算

$12/7 = \square \div 7/12$

← $\div 7/12$ を左辺へ($\times 7/12$)

$12/7 \times 7/12 = 1 = \square$

【即解】 $12/7 = \square \div 7/12$ 。 $12/7$ が $7/12$ の逆数なので、 \square は1。

68 **【2.25】**

$\square \times 8/3 = 6$ ← $\times 8/3$ を右辺へ(÷8/3)

$\square = 6 \div \frac{8}{3} = 6 \times \frac{3}{8} = \frac{9}{4} = 9 \div 4 = 2.25$

69 **【0.5】**

$\square \times 0.5 = 18 \div 72$ ← 右辺を計算

$\square \times 0.5 = 0.25$ ← $\times 0.5$ を右辺へ(÷0.5)

$\square = 0.25 \div 0.5 = 0.5$

【別解】分数で計算する。 $18/72 = 1/4$ 。

$\square = 1/4 \div 1/2 = 1/2 = 0.5$

70 **【120】**

$3900 - \square \times 15 = 2100$

← $3900 -$ をそのまま右辺へ

$\square \times 15 = 3900 - 2100$ ← 右辺を計算

$\square \times 15 = 1800$ ← $\times 15$ を右辺へ(÷15)

$\square = 1800 \div 15 = 120$

71 **【16】**

$9/40 = 3.6 \div \square$ ← $3.6 \div$ をそのまま左辺へ

$3.6 \div \frac{9}{40} = \frac{4}{1} \frac{36}{10} \times \frac{40}{9} = 16 = \square$

【別解】 $9/40 = 3.6/\square$

$3.6 \div 9 = 0.4$ ← 9の0.4倍が3.6

$40 \times 0.4 = 16$ ← 40を0.4倍する

72 **【15】**

$11 - 30 \div \square = 9$ ← $11 -$ をそのまま右辺へ

$30 \div \square = 11 - 9$ ← 右辺を計算

30 ÷ □ = 2 ← 30 ÷ をそのまま右辺へ

$$\square = 30 \div 2 = 15$$

【即解】11から30 ÷ □を引くと9になるので、

30 ÷ □は2。よって□は15。

73 【0.575】

1/4 + 1/5 + 1/8 = □ ← 小数にして計算

$$1 \div 4 + 1 \div 5 + 1 \div 8$$

$$= 0.25 + 0.2 + 0.125 = 0.575 = \square$$

【別解】通分して計算してから小数にする。

$$10/40 + 8/40 + 5/40 = 23/40$$

$$23 \div 40 = 0.575$$

74 【600】

53の□% = 318 ← 「の□%」は「×□%」

53 × □% = 318 ← 53 × を右辺へ(÷ 53)

$$\square\% = 318 \div 53 = 6$$

→ 100倍して%で表すと600%。

【即解】概算して300 ÷ 50 = 6。

75 【80/3】

16 = 0.6 × □ ← 分数にして計算

$$16 = \frac{6}{10} \times \square \leftarrow \frac{6}{10} \times \text{を左辺へ} (\div \frac{6}{10})$$

$$16 \div \frac{6}{10} = 16 \times \frac{10}{6} = \frac{80}{3} = \square$$

76 【24.75】

11 = □ ÷ 9/4 ← ÷ 9/4 を左辺へ (× 9/4)

$$11 \times \frac{9}{4} = \frac{99}{4} = 99 \div 4 = 24.75 = \square$$

【別解】9/4を小数にして計算する。

$$9 \div 4 = 2.25$$

11 = □ ÷ 2.25 ← ÷ 2.25 を左辺へ (× 2.25)

$$11 \times 2.25 = 24.75 = \square$$

77 【1/20】

□ ÷ 1/2 = 5 ÷ 50 ← 右辺を計算

□ ÷ 1/2 = 1/10 ← ÷ 1/2 を右辺へ (× 1/2)

$$\square = \frac{1}{10} \times \frac{1}{2} = \frac{1}{20}$$

【即解】右辺の50が左辺では1/100の1/2になっているので、右辺の5を1/100倍すると□になる。

$$\square = 5 \times 1/100 = 1/20$$

両辺を分数にしても解ける。□/0.5 = 5/50なので、□は5の1/100で1/20。

78 【1/1000】

0.023 ÷ □ = 23 ← 0.023 ÷ をそのまま右辺へ

$$\square = 0.023 \div 23 = 0.001 \rightarrow 1/1000$$

【即解】0.023を23にするには×1000すればよい。割り算では÷1/1000。

79 【2/5】

1/10 ÷ □ = 1/8 + 1/8 ← 右辺を計算

1/10 ÷ □ = 1/4 ← 1/10 ÷ をそのまま右辺へ

$$\square = \frac{1}{10} \div \frac{1}{4} = \frac{1}{5} \times \frac{2}{2} = \frac{2}{5}$$

80 【4/25】

□ ÷ 1/5 = 0.8 ← 小数を分数にして計算

$$0.8 = 8/10 = 4/5$$

□ ÷ 1/5 = 4/5 ← ÷ 1/5 を右辺へ (× 1/5)

$$\square = \frac{4}{5} \times \frac{1}{5} = \frac{4}{25}$$

81 【0.07】

9/5 + 3/10 = 30 × □ ← 左辺を計算

$$9/5 + 3/10 = 18/10 + 3/10 = 21/10$$

21/10 = 30 × □ ← 30 × を左辺へ (÷ 30)

$$21/10 \div 30 = \square$$

$$21/10 \times 1/30 = 7/100 = 0.07 = \square$$

82 【5/2】

7/5 + 0.2 = 4 ÷ □ ← 左辺を計算

$$\frac{7}{5} + \frac{2}{10} = \frac{8}{5}$$

$$\frac{8}{5} = 4 \div \square \leftarrow 4 \div \text{をそのまま左辺へ}$$

$$4 \div \frac{8}{5} = 4 \times \frac{5}{8} = \frac{5}{2} = \square$$

83 [0.06]

$$4/5 + 1/25 = 0.9 - \square \leftarrow \text{分数に揃える}$$

$$4/5 + 1/25 = 9/10 - \square$$

$\leftarrow 9/10$ をそのまま左辺へ

$$9/10 - (4/5 + 1/25) = \square \leftarrow \text{通分して計算}$$

$$45/50 - 40/50 - 2/50 = 3/50 = \square$$

$$3 \div 50 = 0.06 = \square$$

【別解】 小数で計算してもよい。4/5は0.8で、1/25は0.04。

$$0.8 + 0.04 = 0.9 - \square$$

$$0.9 - 0.8 - 0.04 = 0.06 = \square$$

84 [62.5]

$$5/8 = \square\% \leftarrow \text{分数を割り算にする}$$

$$5 \div 8 = 0.625 \rightarrow 0.625 \times 100 = 62.5\%$$

85 [4]

$$\square + 124 = \square \times 32 \leftarrow \square + \text{を右辺へ} (-\square)$$

$$124 = \square \times 32 - \square \leftarrow \square \text{を} \square \times 1 \text{とする}$$

$$124 = \square \times 32 - \square \times 1$$

$\leftarrow 32$ と 1 をかっこでくくる

$$124 = \square \times (32 - 1)$$

$$124 = \square \times 31 \leftarrow \times 31 \text{を左辺へ} (\div 31)$$

$$124 \div 31 = 4 = \square$$

【即解1】 同じ考え方だが、以下のように理解しておく、スピードアップにつながる。

$$\square + 124 = \square \times 32$$

↑両方から \square 1つ分を引けば、

$$\text{左辺: } \square + 124 - \square = 124$$

$$\text{右辺: } \square \times 32 - \square = \square \times 31$$

$$124 = \square \times 31$$

$$124 \div 31 = 4$$

【即解2】 \square に選択肢をあてはめて計算して4。

86 [8]

$$6 \times \square \div 15 = 144 \div 9 \div 5 \leftarrow \text{右辺を計算}$$

$$6 \times \square \div 15 = 3.2 \leftarrow \text{両辺に} 15 \text{をかける}$$

$$6 \times \square = 3.2 \times 15 = 48 \leftarrow \text{両辺を} 6 \text{で割る}$$

$$\square = 48 \div 6 = 8$$

【別解】 $6 \times \square \div 15 = 144 \div 9 \div 5$

\leftarrow 割り算を分数にする

$$\frac{6 \times \square}{15} = 144 \times \frac{1}{9} \times \frac{1}{5} = \frac{144}{5 \times 45} = \frac{16}{5}$$

\leftarrow 右辺と左辺を15で通分する(16/5の分子と分母に3をかける)

$$\frac{6 \times \square}{15} = \frac{16 \times 3}{5 \times 3} = \frac{48}{15}$$

$$6 \times \square = 48$$

$$\square = 48 \div 6 = 8$$

87 [10]

$$(37 - 4) \times 3 = (\square + 1) (\square - 1)$$

\leftarrow 公式を使って展開する

$$(37 - 4) \times 3 = \square^2 - 1 \leftarrow -1 \text{を左辺へ} (+1)$$

$$(37 - 4) \times 3 + 1 = \square^2 \leftarrow \text{左辺を計算}$$

$$33 \times 3 + 1 = 99 + 1 = 100 = \square^2$$

$$\square = \pm 10 \quad \text{選択肢の中では} 10。$$

88 [8.5]

$$6 \times (\square - 5.5) = 8 \div 4/9 \leftarrow 6 \times \text{を右辺へ} (\div 6)$$

$$\square - 5.5 = 8 \div \frac{4}{9} \div 6 \leftarrow \text{右辺を計算}$$

$$\square - 5.5 = \frac{1}{8} \times \frac{3}{4} \times \frac{9}{6} = 3$$

$\leftarrow -5.5$ を右辺へ (+5.5)

$$\square = 3 + 5.5 = 8.5$$

89 [48]

$$1/4 + 1/6 = 8 \div \square + 12 \div \square \leftarrow \text{左辺を計算。}$$

右辺は8と12をかっこでくくる。

$$5/12 = (8 + 12) \div \square \leftarrow \text{右辺を計算}$$

$$5/12 = 20 \div \square \leftarrow 20 \div \text{をそのまま左辺へ}$$

20 ÷ 5/12 = □ ← 左辺を計算

$$20 \div \frac{5}{12} = 20 \times \frac{12}{5} = 48 = \square$$

【別解】 5/12 = 20 ÷ □

← 20 ÷ □ を分数にする

$$5/12 = 20/\square$$

← 左辺 5/12 の分子と分母を 4 倍する

$$20/48 = 20/\square$$

分子が同じなので分母も同じ。

$$\square = 48$$

90 【1/4】

$$33 \div \square \div 8 = 3.3 \times 5 \leftarrow \text{右辺を計算}$$

$$33 \div \square \div 8 = 16.5 \leftarrow \div 8 \text{ を右辺へ} (\times 8)$$

33 ÷ □ = 16.5 × 8 ← 33 ÷ をそのまま右辺へ。16.5 × 8 はかっこでくくる。

$$\square = 33 \div (16.5 \times 8) = 33 \div 132 = 0.25$$

$$0.25 = 1/4$$

※四則逆算①が終わりました。お疲れ様でした。慣れてきたら、問題と選択肢を見比べて、速く解けるように工夫して解いてみましょう。

2 四則逆算② ▶本冊62~67ページ

●ここからは、□=の式をつくり、まとめて計算する方法を紹介します。この方法では電卓で一気に計算できますが、かっこでくくるなど、計算順序を間違えないように注意する必要があります。できるだけ概算や暗算で速く解けるようにしましょう。

91 【16】

$$5 \times 7 = \square + 19 \leftarrow + 19 \text{ を左辺へ} (-19)$$

$$\square = 5 \times 7 - 19 = 16$$

※かけ算を先に、引き算を後に計算する。

92 【110】

$$4 + 8 + 10 = \square \div 5 \leftarrow \text{左辺を計算}$$

$$22 = \square \div 5 \leftarrow \div 5 \text{ を左辺へ} (\times 5)$$

$$\square = 22 \times 5 = 110$$

93 【2/3】

$$1 = \square \times 3/2 \leftarrow \times 3/2 \text{ を左辺へ} (\div 3/2)$$

$$1 \div \frac{3}{2} = 1 \times \frac{2}{3} = \frac{2}{3} = \square$$

94 【355】

$$\square + 132 = 487 \leftarrow + 132 \text{ を右辺へ} (-132)$$

$$\square = 487 - 132 = 355$$

95 【7】

$$3 + 25 = \square \times 4 \leftarrow \times 4 \text{ を左辺へ} (\div 4)$$

$$(3 + 25) \div 4 = 28 \div 4 = 7 = \square$$

96 【20】

$$0.008 \times \square = 0.4 \times 0.4$$

← 0.008 × を右辺へ (÷ 0.008)

$$\square = 0.4 \times 0.4 \div 0.008 = 20$$

97 【11】

$$(5 + \square) \times 9 = 144 \leftarrow \times 9 \text{ を右辺へ} (\div 9)$$

$$5 + \square = 144 \div 9 \leftarrow + 5 \text{ を右辺へ} (-5)$$

$$\square = 144 \div 9 - 5 = 11$$

98 【21】

$$9 + 12 + \square = 42$$

← 9 + 12 = 21。21 を右辺へ (-21)

$$\square = 42 - 21 = 21$$

99 【70】

$$5/3 \times 21 = \square \div 2 \leftarrow \div 2 \text{ を左辺へ} (\times 2)$$

$$\frac{5}{13} \times 21 \times 2 = 35 \times 2 = 70 = \square$$

100 [12]

$27/6 \div 3/8 = \square$ ← 分数を逆数にしてかけ
る。 $\div 3/8$ は $\times 8/3$ になる

$$\square = \frac{27}{6} \times \frac{8}{3} = 12$$

101 [24]

$$0.25 \times \square = 1.08 \div 0.18$$

← $0.25 \times$ を右辺へ ($\div 0.25$)

$$\square = 1.08 \div 0.18 \div 0.25 = 24$$

102 [90]

$$\square \div 6 + 9 = 24$$
 ← $+9$ を右辺へ (-9)

$$\square \div 6 = 24 - 9$$
 ← $\div 6$ を右辺へ ($\times 6$)

$$\square = (24 - 9) \times 6 = 90$$

103 [100]

$$0.02 + 0.3 = 32 \div \square$$
 ← $32 \div$ をそのまま左辺へ
 $32 \div (0.02 + 0.3) = 32 \div 0.32 = 100$

104 [0.3]

$$8 \times \square = 60 \times 0.04$$
 ← $8 \times$ を右辺へ ($\div 8$)

$$\square = 60 \times 0.04 \div 8 = 0.3$$

105 [1/20]

$$1/5 + \square = 1/4$$
 ← $1/5 +$ を右辺へ ($-1/5$)

$$\square = \frac{1}{4} - \frac{1}{5} = \frac{5}{20} - \frac{4}{20} = \frac{1}{20}$$

106 [39]

$$11 - 48 = 2 - \square$$
 ← $2 -$ をそのまま左辺へ。

$$11 - 48$$
 をかっこでくくる

$$2 - (11 - 48) = 2 + 37 = 39 = \square$$

107 [10]

$$28 \div 35 = 8 \div \square$$
 ← $8 \div$ をそのまま左辺へ。

$$28 \div 35$$
 をかっこでくくる

$$8 \div (28 \div 35) = 8 \div 0.8 = 10 = \square$$

【別解】両辺が割り算の式は、比や分数にして

も解ける。

$$\text{比} \cdots 28 \div 35 = 8 \div \square \rightarrow 28 : 35 = 8 : \square$$

内項の積 = 外項の積より、

$$35 \times 8 = 28 \times \square$$

$$\square = 35 \times 8 \div 28 = 10$$

$$\text{分数} \cdots 28 \div 35 = 8 \div \square \rightarrow 28/35 = 8/\square$$

$$28 \div 8 = 3.5$$

$$35 \div 3.5 = 10$$

108 [2.1]

$$3 \times \square + 7 \times \square = 21$$
 ← 3 と 7 をかっこでくくる

$$(3 + 7) \times \square = 21$$

$$10 \times \square = 21$$
 ← $10 \times$ を右辺へ ($\div 10$)

$$\square = 21 \div 10 = 2.1$$

109 [0.05]

$$0.25 \div \square = 5$$
 ← $0.25 \div$ をそのまま右辺へ

$$\square = 0.25 \div 5 = 0.05$$

110 [250]

$$7 \div 0.7 = 0.04 \times \square$$

$$\leftarrow 0.04 \times$$
を左辺へ ($\div 0.04$)

$$7 \div 0.7 \div 0.04 = 250 = \square$$

【即解】左辺を暗算して、 $7 \div 0.7 = 10$ 。

$$10 = 0.04 \times \square$$
 ← 両辺を100倍する

$$1000 = 4 \times \square \rightarrow \square = 250$$

111 [1/8]

$$\square \times \square = 0.015625$$

15625を素因数分解すると $[5 \times 5 \times 5 \times 5 \times 5 \times 5] = [125 \times 125]$ 。

$$0.015625 = 0.125 \times 0.125$$

$$0.125 = \frac{125^1}{8 \times 1000} = \frac{1}{8}$$

【即解】電卓で $0.015625 \sqrt{\quad}$ と入力して0.125。

112 [46]

$$160$$
の $\square\%$ = 73.6 ← 「 $\square\%$ 」は「 $\times \square\%$ 」

$$160 \times \square\% = 73.6$$
 ← $160 \times$ を右辺へ ($\div 160$)

$$\square\% = 73.6 \div 160 = 0.46 \rightarrow 46\%$$

【即解】70は160の約50%なので、近い選択肢の46を選ぶ。

113 【0.5】

$$15 \div \square - 9 = 21 \leftarrow -9 \text{を右辺へ}(+9)$$

$$15 \div \square = 21 + 9 \leftarrow 15 \div \text{をそのまま右辺へ}$$

$$\square = 15 \div (21 + 9) = 0.5$$

114 【0.85】

$$1/4 + 3/5 = \square \leftarrow \text{通分して計算}$$

$$\frac{1}{4} + \frac{3}{5} = \frac{1 \times 5 + 4 \times 3}{20} = \frac{5 + 12}{20} = \frac{17}{20} = \square$$

$$17 \div 20 = 0.85$$

【即解】 $1/4 = 0.25$ 、 $3/5 = 0.6$ 。

$$0.25 + 0.6 = 0.85$$

115 【5580.36】

$$5610 - \square = 29.64$$

$\leftarrow 5610 - \text{をそのまま右辺へ}$

$$\square = 5610 - 29.64 = 5580.36$$

【即解】選択肢の桁が違いますので、概算する。

$$6000 - 30 = 5970 \text{に近いのは} 5580.36。$$

116 【1】

$$3 \times 3/4 = \square \div 4/9 \leftarrow \text{左辺を計算する}$$

$$9/4 = \square \div 4/9 \leftarrow \div 4/9 \text{は} \times 9/4$$

$$9/4 = \square \times 9/4$$

\square に $9/4$ をかけて $9/4$ なので、 \square は1。

【別解】 $3 \times 3/4 = \square \div 4/9$

$\leftarrow \div 4/9 \text{を左辺へ}(\times 4/9)$

$$1 \quad 3 \quad 4 \quad 1 \\ 3 \times \frac{3}{4} \times \frac{4}{9} = 1 = \square$$

117 【7.2】

$$\square \times 5/4 = 9 \leftarrow \times 5/4 \text{を右辺へ}(\div 5/4)$$

$$\square = 9 \div \frac{5}{4} = 9 \times \frac{4}{5} = \frac{36}{5}$$

$$\square = \frac{36}{5} = 36 \div 5 = 7.2$$

【即解】 $5 \times 7 = 35$ なので、 $36/5$ を約7と考えて、7.2を選ぶ。

118 【0.8】

$$\square \times 0.2 = 8 \div 50 \leftarrow \text{両辺を} 0.2 \text{で割る}$$

$$\square = 8 \div 50 \div 0.2 = 0.8$$

119 【40】

$$1900 - \square \times 10 = 1500$$

$\leftarrow 1900 - \text{をそのまま右辺へ}$

$$\square \times 10 = 1900 - 1500$$

$\leftarrow \times 10 \text{を右辺へ}(\div 10)$

$$\square = (1900 - 1500) \div 10 = 40$$

【即解】1900から $\square \times 10$ を引くと1500。

$$\square \times 10 = 400 \text{より} \square = 40 \text{と暗算する。}$$

120 【8】

$$3/10 = 2.4 \div \square \leftarrow 2.4 \div \text{をそのまま左辺へ}$$

$$2.4 \div \frac{3}{10} = 2.4 \div 0.3 = 8 = \square$$

121 【0.425】

$$1/5 + 1/8 + 1/10 = \square \leftarrow \text{小数にして計算}$$

$$\square = 1 \div 5 + 1 \div 8 + 1 \div 10$$

$$= 0.2 + 0.125 + 0.1 = 0.425$$

122 【600】

$$38 \text{の} \square\% = 228 \leftarrow \text{「の} \square\% \text{」は「} \times \square\% \text{」}$$

$$38 \times \square\% = 228 \leftarrow 38 \times \text{を右辺へ}(\div 38)$$

$$\square\% = 228 \div 38 = 6 \rightarrow 600\%$$

【即解】 $230 \div 40 \div 6$ 倍で600%と概算。

123 【25】

$$10 = 0.4 \times \square \leftarrow 0.4 \times \text{を左辺へ}(\div 0.4)$$

$$10 \div 0.4 = 25 = \square$$

【即解】0.4に \square をかけると10になるので、 \square は25と暗算する。

4に□をかけると100なので25と考えてもよい。

124 [7]

$72 \div (25 - \square) = 4$ ← $72 \div$ をそのまま右辺へ

$(25 - \square) = 72 \div 4$ ← 右辺を計算

$25 - \square = 18$ ← $25 -$ をそのまま右辺へ

$\square = 25 - 18 = 7$

[即解] 72をいくつで割ると4になるかを考える。 $72 \div 4 = 18$ なので、 $25 - 18 = 7$ 。

125 [9]

$5 - 18 \div \square = 3$ ← $5 -$ をそのまま右辺へ

$18 \div \square = 5 - 3$

← 右辺を計算。 $18 \div$ をそのまま右辺へ

$\square = 18 \div 2 = 9$

[即解1] $5 - 18 \div \square = 3$ の $18 \div \square$ は2に置き換えられるので、 $\square = 9$ 。

[即解2] 選択肢が整数なので、 $18 \div \square$ も整数。選択肢であてはまる数は9だけ。

126 [4.8]

$8 = \square \div 3/5$ ← 小数にして計算

$3/5 = 6/10 = 0.6$

$8 = \square \div 0.6$ ← $\div 0.6$ を左辺へ ($\times 0.6$)

$8 \times 0.6 = 4.8 = \square$

127 [1/40]

$\square \div 1/4 = 3 \div 30$ ← 分数にして計算

$\square \div \frac{1}{4} = \frac{3}{30}$ ← $\div \frac{1}{4}$ を右辺へ ($\times \frac{1}{4}$)

$\square = \frac{3}{30} \times \frac{1}{4} = \frac{1}{40}$

[即解] 右辺の3は30の1/10なので、左辺の□も1/4の1/10で1/40。

128 [6]

$(89 - 19) \div 2 = (\square + 1) (\square - 1)$

← 公式を使って展開する

$(89 - 19) \div 2 = \square^2 - 1$ ← 左辺を計算

$35 = \square^2 - 1$ ← -1 を左辺へ (+1)

$35 + 1 = \square^2$

$\square = \pm 6$

選択肢の中では6。

129 [1/4]

$1/8 \div \square = 1/4 + 1/4$

← $1/8 \div$ をそのまま右辺へ

$\square = 1/8 \div (1/4 + 1/4)$

$\square = \frac{1}{8} \div \frac{1}{2} = \frac{1}{8} \times 2 = \frac{1}{4}$

130 [1/12]

$\square \div 1/3 = 0.25$ ← $\div 1/3$ を右辺へ ($\times 1/3$)

$\square = 0.25 \times 1/3$ ← 分数にして計算

$\square = \frac{1}{4} \times \frac{1}{3} = \frac{1}{12}$

[即解] $\div 1/3$ は $\times 3$ 。□を3倍すると0.25 = 1/4になるので、□は1/4の1/3で1/12。

131 [0.062]

$5/4 + 3/10 = 25 \times \square$ ← $25 \times$ を左辺へ ($\div 25$)

$(5/4 + 3/10) \div 25 = \square$ ← 小数にして計算

$(5 \div 4 + 3 \div 10) \div 25 = \square$

$1.25 + 0.3 = 1.55 \div 25 = 0.062 = \square$

132 [5/3]

$2/5 + 0.2 = 1 \div \square$ ← $1 \div$ をそのまま左辺へ

$1 \div (2/5 + 0.2) = \square$ ← 分数にして計算

$1 \div (\frac{2}{5} + \frac{2}{10}) = 1 \div \frac{3}{5} = 1 \times \frac{5}{3} = \square$

133 [0.05]

$3/4 + 1/10 = 0.9 - \square$ ← 小数にして計算

$0.75 + 0.1 = 0.9 - \square$ ← $0.9 -$ をそのまま左

辺へ。 $0.75 + 0.1$ をかっこでくくる

$0.9 - (0.75 + 0.1) = 0.05 = \square$

134 [0.2]

$$1/2 \div (0.45 - \square) = 1 \div 1/2$$

←左辺の1/2は0.5にする。右辺の1 ÷ 1/2は暗算。1 × 2 = 2より右辺は2。

$$0.5 \div (0.45 - \square) = 2$$

←0.5 ÷ をそのまま右辺へ

$$0.45 - \square = 0.5 \div 2 \leftarrow \text{右辺を計算して} 0.25。$$

0.45 - はそのまま右辺へ

$$\square = 0.45 - 0.25 = 0.2$$

135 [2]

$$\square + 88 = \square \times 45 \leftarrow \square + \text{を右辺へ} (-\square)$$

$$88 = \square \times 45 - \square \leftarrow \square \text{は} \square \times 1$$

$$88 = \square \times 45 - \square \times 1$$

←45と1をカッコでくくる

$$88 = \square \times (45 - 1) = \square \times 44$$

←×44を左辺へ(÷44)

$$88 \div 44 = 2 = \square$$

【即解1】 $\square + 88 = \square \times 45$

↑両方から \square 1つ分を引けば、

$$\text{右辺: } \square + 88 - \square = 88$$

$$\text{左辺: } \square \times 45 - \square = \square \times 44$$

$$88 = \square \times 44$$

暗算して、 $\square = 2$ 。

【即解2】 \square に選択肢をあてはめて計算して2。

136 [180]

$650 - (\square + 320) = 65 + 85 \leftarrow 650 - \text{をそのまま右辺へ。} 65 + 85 \text{ をカッコでくくる}$

$$\square + 320 = 650 - (65 + 85)$$

←+320を右辺へ(-320)

$$\square = 650 - (65 + 85) - 320 = 180$$

【即解】 $65 + 85 = 150$ 。650から $(\square + 320)$

を引くと150になるので、 $(\square + 320)$ は500だと暗算する。あてはまる選択肢は180。

137 [9]

$$5 \times \square \div 6 = 105 \div 7 \div 2 \leftarrow \text{右辺を計算して} 7.5$$

$$5 \times \square \div 6 = 7.5$$

← $5 \times$ を右辺へ(÷5)、 $\div 6$ を右辺へ(×6)

$$\square = 7.5 \div 5 \times 6 = 9$$

138 [6.5]

$2 \times (\square - 1.5) = 8 \div 4/5 \leftarrow \text{右辺を計算して} 10$ 。 $2 \times$ を右辺へ(÷2)

$\square - 1.5 = 10 \div 2 \leftarrow \text{右辺を計算して} 5$ 。 -1.5 を右辺へ(+1.5)

$$\square = 5 + 1.5 = 6.5$$

139 [70]

$$1/5 + 1/7 = 11 \div \square + 13 \div \square$$

←11と13をカッコでくくる

$$1/5 + 1/7 = (11 + 13) \div \square$$

$$\text{左辺: } \frac{1}{5} + \frac{1}{7} = \frac{7}{35} + \frac{5}{35} = \frac{12}{35}$$

$$\text{右辺: } (11 + 13) \div \square = 24 \div \square = \frac{24}{\square}$$

左辺の分子(12)と分母(35)をそれぞれ2倍して分子を右辺の24に合わせると、

$$\frac{12}{35} = \frac{24}{70} = \frac{24}{\square}$$

$$\square = 70$$

140 [1/2]

$17 \div \square \div 4 = 1.7 \times 5 \leftarrow \div 4$ を右辺へ(×4)

$17 \div \square = 1.7 \times 5 \times 4 \leftarrow \text{右辺を計算}$

$17 \div \square = 34 \leftarrow 17 \div$ をそのまま右辺へ

$$\square = 17 \div 34 = 0.5 = 1/2$$

【別解】右から逆算していく。 $1.7 \times 5 = 8.5$ 。

$8.5 \times 4 = 34$ 。 $17 \div \square = 34$ なので、 \square は1/2。

※これで四則逆算の試験を2回分受検(学習)したことになります。1周目は時間内に解けなくても大丈夫です。繰り返すことで格段に速く解けるようになっていきます。

3

表の空欄推測① ▶本冊80～97ページ

141 【1,950円】

【在庫一掃セール価格表】

品名	通常価格 (円)	セール価格 (円)
P社 電動自転車	200,000	140,000
Q社 電動自転車	150,000	90,000
P社 ロードバイク	300,000	210,000
Q社 ロードバイク	250,000	150,000
R社 シティサイクル	30,000	16,500
S社 シティサイクル	25,000	12,500
R社 折りたたみ自転車	35,000	19,250
S社 折りたたみ自転車	22,000	11,000
R社 ヘルメット	6,000	3,300
S社 ヘルメット	3,900	?

S社の項目だけを見る。

シティサイクル…25000と12500 ← 1/2

折りたたみ自転車…22000と11000 ← 1/2

S社のセール価格は通常価格の1/2になっているので、ヘルメットのセール価格も通常価格(3900円)の1/2だと推測できる。

ヘルメット… $3900 \times 1/2 = 1950$ 円

なお、どの社の割引率も、品名にかかわらず会社ごとに一定の割引率となっている。

142 【11.1万t】

【L県畜産物生産量】

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
肉用牛 (万t)	7.2	8.4	4.8	?	12.6
生乳 (万t)	2.4	2.8	1.6	3.7	4.2
ブロイラー (万t)	1.8	1.7	1.5	1.9	2.1
豚 (万t)	1.5	1.4	1.5	1.6	1.6

肉用牛と他項目を比較していくと、肉用牛が最多の2009年は生乳も最多で、肉用牛が最少の2007年は生乳も最少なので、肉用牛が多いほど生乳も多いことがわかる。

肉用牛 ÷ 生乳を算出すると、

2005年… $7.2 \div 2.4 = 3.0$ 倍

2006年… $8.4 \div 2.8 = 3.0$ 倍

肉用牛は、生乳を3倍した値段だと推測できる。

2008年… $3.7 \times 3 = 11.1$ 万t

※ 2005年と2006年がきれいに3倍なので、ここだけで判断して正解できる。

143 【3,594ケース】

【卸売店販売量】

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
トマト缶 (ケース)	4,215	4,103	4,013	3,812	3,715	?
デミグラス缶 (ケース)	723	745	768	912	946	1,012

トマト缶の販売量は2015年から毎年減っている。よって、2020年のトマト缶も、2019年の3715ケースより減っていると推測される。3715ケースより少ない選択肢は、3594ケースのみなので、これが答えになる。

144 【37千台】

【石油ストーブ販売数】

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
平均気温 (°C)	4.1	5.0	5.8	5.6	5.2
販売数 (千台)	48	41	33	35	?

平均気温が最高の2023年は販売数が最少で、平均気温が最低の2021年は販売数が最多なので、平均気温が低いほど販売数が多いことがわかる。2025年の平均気温5.2°Cは、2022年5.0°C(販売数41)と2024年5.6°C(販売数35)の間にある。よって、【?】は35以上41以下と推測できる。あてはまる選択肢は37千台だけ。

145 【304億円】

【テレビの出荷台数】

	P工場	Q工場	R工場	S工場	T工場
出荷台数 (万台)	12	82	64	53	38
出荷額 (億円)	96	656	512	424	?
従業者数 (人)	25	58	39	30	25
付加価値額 (億円)	35.5	249.2	168.9	158.5	96.0

出荷額と他項目を比較していくと、出荷額が最多のQは出荷台数も最多で、出荷額が最少のPは出荷台数も最少なので、出荷台数が多いほど出荷額も多いことがわかる。出荷額 ÷ 出荷台数を算出すると、

$P \cdots 96 \div 12 = 8$ 億円

$Q \cdots 656 \div 82 = 8$ 億円

出荷台数 1万台あたりの出荷額は 8 億円と推測できる。T の出荷台数は 38 万台なので、 $38 \times 8 = 304$ 億円

146 【450 千人】

【市民プールの来場者数の推移】

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
市民プールA (千人)	150	300	100	400	80
市民プールB (千人)	240	120	360	90	?

A が減ると B が増えていて、逆に A が増えると B が減っていることに着目する。A と B の前年比を計算すると、

2020 → 2021年…A が $300 \div 150 = 2$ 倍

B が $120 \div 240 = 1/2$ 倍

2021 → 2022年…A が $100 \div 300 = 1/3$ 倍

B が $360 \div 120 = 3$ 倍

2022 → 2023年…A = $400 \div 100 = 4$ 倍

B = $90 \div 360 = 1/4$ 倍

A と B の前年比が、逆数になっていることがわかる。2024年の A 80 は 2023年 400 の $1/5$ 倍なので、2024年の市民プールBの来場者数は 2023年 90 人の 5 倍と推測できる。

$90 \times 5 = 450$ 千人

【別解】A と B の合計で見ると、 $390 \rightarrow 420 \rightarrow 460 \rightarrow 490$ と、1年で 30 か 40 増えている。仮に、2023年の合計 490 から 30 増えた場合、2024年の合計は 520。B は $520 - 80 = 440$ 。490 から 40 増えた場合は合計は 530 で、B は $530 - 80 = 450$ 。どちらの場合でも推測できる最も近い選択肢は 450 千人。

147 【141 個】

【弁当売上個数】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日
から揚げ弁当 (個)	123	136	128	?
のり弁当 (個)	82	69	72	91
幕の内弁当 (個)	66	67	98	74
総売上個数 (個)	410	452	428	469

総売上個数が多いほど、から揚げ弁当の個数

も多いことがわかる。木曜日の総売上個数が 469 で最多なので、から揚げ弁当の個数も最多と推測できる。よって選択肢の中では火曜日の 136 個よりも多い 141 個。

【別解】総売上個数に対するから揚げ弁当の割合を計算すると、

月… $123 \div 410 = 0.3$

火… $136 \div 452 = 0.3008 \cdots \approx 0.3$

水… $128 \div 428 = 0.2990 \cdots \approx 0.3$

から揚げ弁当は売上個数の 3 割を占めている。

$469 \times 0.3 = 140.7$

最も近い選択肢は 141 個。

148 【13 人】

【メーカー別購入者の動機】

	P社製品	Q社製品	R社製品	S社製品	T社製品
口コミの評判 (人)	28	21	17	36	24
メディアの紹介 (人)	18	14	26	12	10
試供品の使用感 (人)	6	0	0	18	10
価格と予算 (人)	12	14	15	5	8
ブランド信頼性 (人)	9	7	?	6	5

R 以外でブランド信頼性が最多 9 の P はメディアの紹介も最多 18 で、ブランド信頼性が最少 5 の T はメディアの紹介も最少 10。ブランド信頼性は、メディアの紹介の $1/2$ であることがわかる。よって R のブランド信頼性は、 $26 \times 1/2 = 13$ 人

※ブランド信頼性がメディアの紹介の $1/2$ だと見て取れたら、すぐ解ける。

149 【51 件】

【電力プラン契約件数】

	Nさん	Oさん	Pさん	Qさん	Rさん
訪問件数 (件)	380	304	280	358	340
契約件数 (件)	57	46	42	54	?
契約目標件数 (件)	50	45	45	50	45
先月契約件数 (件)	48	42	41	42	43

契約件数と他項目を比較していくと、訪問件数が最多の N さんは契約件数も最多で、訪問件数が最少の P さんは契約件数も最少なので、訪問件数が多いほど契約件数も多いことがわかる。

計数・解説
▼
3
表の空欄推測①

訪問件数÷契約件数を算出すると、

Nさん… $380 \div 57 = 6.66\dots$ 倍

Oさん… $304 \div 46 = 6.60\dots$ 倍

Pさん… $280 \div 42 = 6.66\dots$ 倍

Qさん… $358 \div 54 = 6.62\dots$ 倍

よって契約件数は、訪問件数を約**6.6**で割った値だと推測できる。

Rさん… $340 \div 6.6 = 51.5\dots$ 件

※各列をすべて計算する必要はない。割合や比率はたいてい2つの項目の計算結果で判断できる。本番ではNとOだけ計算すればよい。

【別解】Nさん… $57 \div 380 = 0.15$

Oさん… $46 \div 304 = 0.15\dots$

なので、Rさんは $340 \times 0.15 = 51$ 。

【即解】Rさんの訪問件数340(契約件数[?])は、Oさんの304(46)とQさんの358(54)の間にある。RさんはOさんよりQさんの方に近いので、選択肢の中では51件。

150 【85.5万円】

【TVCM放送前後各1カ月実績】

一日あたりの平均	店舗P	店舗Q	店舗R	店舗S	店舗T	店舗U
CM前						
来客数 (人)	480	350	280	540	430	380
売上額 (万円)	52.8	38.5	30.8	59.4	47.3	41.8
CM後						
来客数 (人)	720	525	420	810	645	570
売上額 (万円)	108	78.75	63	121.5	96.75	?

CM後の売上額÷来客数を計算すると、

P… $108 \div 720 = 0.15$ 倍

Q… $78.75 \div 525 = 0.15$ 倍

売上額は来客数の**0.15倍**になっている。よってUの売上額は、

$570 \times 0.15 = 85.5$ 万円

【別解】CM後とCM前の売上額を比較すると、

P… $108 \div 52.8 = 2.045\dots \rightarrow$ 約**2.045倍**

Q… $78.75 \div 38.5 = 2.045\dots \rightarrow$ 約**2.045倍**

約**2.045倍**であることがわかる。

よって、Uの売上額は、

$41.8 \times 2.045 = 85.481$ 万円→**85.5万円**

※桁数が少なくして選択肢の値が近いので、約2倍で概算すると間違えることもある。

151 【7,050個】

【リンゴの収穫量】

	果樹園A	果樹園B	果樹園C	果樹園D
植樹から5年未満 (本)	12	16	13	12
5~10年 (本)	10	8	8	6
10年以上 (本)	14	12	11	9
収穫個数 (個)	9,800	9,400	8,450	?

Dと他の果樹園を比べると、DとBの各本数は同じ倍率で増減していて、すべての項目でDはBの**3/4倍**となっていることがわかる。

D… $12 \rightarrow 1/2$ 倍→6→ $3/2$ 倍→9

B… $16 \rightarrow 1/2$ 倍→8→ $3/2$ 倍→12 ↖ 3/4倍

よってDの収穫個数は、Bの9400個の**3/4倍**だと推測できる。

$9400 \times 3/4 = 7050$ 個

152 【3,410万円】

【中古マンション販売価格】

	物件A	物件B	物件C	物件D	物件E
延床面積 (m ²)	110	95	150	135	120
ベランダ面積 (m ²)	8	8	12	7	8
階数 (階)	12	12	5	5	7
販売価格 (万円)	3,270	3,000	3,850	3,610	?

延床面積が一番広いCは販売価格も一番高く、延床面積が一番狭いBは販売価格も一番低いことに着目する。Eの延床面積**120**は、**A110**

と**D135**の間にあるので、販売価格は、

$A 3270 < E [?] < D 3610$

選択肢では**3410万円**。

153 【3個】

【饅頭詰め合わせの価格】

	A箱	B箱	C箱	D箱
栗あん (個)	2	2	3	3
小倉あん (個)	2	0	1	?
抹茶あん (個)	2	2	2	4
価格 (円)	900	700	1,000	1,500

各項目の個数の差と値段の差から、各饅頭の値段を算出できる。

・AとBの価格の差 $900 - 700 = 200$ 円は、小倉2個分なので、

小倉1個… $200 \div 2 = 100$ 円

・Bは栗2個+抹茶2個で700円。

C1000円から小倉1個100円を引くと、栗3個+抹茶2個で1000 - 100 = 900円となる。Bとは栗1個の差なので、
栗1個…900 - 700 = 200円

・Bで抹茶2個を算出する。
 700 - 栗200 × 2 = 300円となり、

抹茶1個…300 ÷ 2 = 150円

Dの小倉の価格分は、
1500 - (200 × 3 + 150 × 4) = 300円

Dの小倉の個数は、
300 ÷ 100 = 3個

154 【301.2万箱】

【商品別売上】

	商品A	商品B	商品C	商品D	商品E
売上シェア (%)	2.4	2.3	2.2	1.9	1.6
出荷量 (万箱/年)	451.8	433.0	414.1	357.7	?
価格 (円/1箱あたり)	260	289	310	278	269
カロリー (kcal)	647	644	647	640	654

A→B→C→Dで売上シェア(%)が下がるほど出荷量も減っていることに着目する。

A…451.8 ÷ 2.4 = **188.25**

B…433.0 ÷ 2.3 = **188.26…**

売上シェア(%)の約**188.25**倍が出荷量になっていることがわかる。よってEの出荷量は、
1.6 × 188.25 = 301.2万箱

155 【6,000万円】

【陶磁器の売上高】

	1月	3月	5月	7月	9月	11月
会場総面積 (m ²)	2,000	2,400	2,800	1,700	2,200	2,600
総来場者数 (人)	3,400	2,900	3,000	3,700	3,800	3,100
総売上 (万円)	6,300	5,900	5,600	6,800	7,000	?
宣伝費 (万円)	550	300	200	700	800	450

総売上が最多の9月は宣伝費も最多で、総売上が最少の5月は宣伝費も最少である。

よって、総売上は宣伝費と相関している(他の項目は関係がない)と推測できる。

11月の宣伝費**450**は、1月**550**と3月**300**の間なので、総売上も1月**6300**と3月**5900**の間にあることが推測できる。

選択肢では**6000万円**。

156 【45,800円】

【オフィスデスク価格表】

幅 (cm)	90	100	110	120	130	140	150
デスクの高さ (cm)	700	700	700	720	720	720	720
価格 (円)	31,600	32,800	34,200	36,000	38,400	41,600	?

+1200 +1400 +1800 +2400 +3200 ?

価格の変動を見ると、幅が広がるごとに増加分が以下のように増えている。

1200 → +200 → 1400 → +400 →

1800 → +600 → 2400 → +800 → 3200

200円ずつ増えているので、この次は、

3200 → +1000 (= 800 + 200) → 4200

だと推測できる。幅150cmの価格は、

41600 + 4200 = 45800円

157 【33,600円】

【ベッドカバー加工見積金額】

	カバーA	カバーB	カバーC	カバーD	カバーE	カバーF
生地単価 (円/m)	850	850	1,000	1,000	1,200	1,200
生地長さ (m)	10	8	10	12	10	12
加工賃 (円/m)	1,200	1,200	1,400	1,400	1,600	1,600
加工時間 (時間)	10	8	10	10	14	14
見積金額 (円)	20,500	16,400	24,000	28,800	28,000	?

CとDは生地単価、加工賃、加工時間が同じで、生地長さで見積金額だけが異なるので、CとDの差から、生地単価が1000円の場合の生地1mあたりの見積金額を算出できる。

CとDの生地長さの差…12 - 10 = 2m

CとDの見積金額の差…28800 - 24000 = **4800円**

生地1mあたり…4800 ÷ 2 = 2400円

Cを見ると、【生地単価**1000**円/m + 加工賃**1400**円/m = **2400**/m】となっており、さらに生地長さ10m、見積金額が24000円であることから、

見積金額 = (生地単価 + 加工賃) × 生地長さ

だと推測できる。よってFの見積金額は、

(1200 + 1600) × 12 = 33600円

【別解】生地長さが10mのA、C、Eの生地単価 + 加工賃を算出すると、

A...850 + 1200 = 2050 → 20500
 C...1000 + 1400 = 2400 → 24000
 E...1200 + 1600 = 2800 → 28000
 いずれも10倍すると見積金額になっている
 ことから、

見積金額 = (生地単価 + 加工賃) × 生地長さ
 だと推測できる。Fの見積金額は、
 (1200 + 1600) × 12 = 33600円

158 [87.4%]

[F区持ち家・配偶者の有無と女性の就業割合]

		20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳
持ち家 有	配偶者有 (%)	25.1	29.6	37.5	51.6	65.1	64.4	61.4	45.6
	配偶者無 (%)	55.2	68.4	86.0	?	90.4	87.0	70.4	42.9
持ち家 無	配偶者有 (%)	55.4	59.5	59.7	60.5	65.6	64.5	61.6	50.3
	配偶者無 (%)	67.9	71.3	74.7	76.3	77.8	76.1	75.9	70.5

すべての項目で20-24歳から40-44歳まで増加傾向にある。持ち家、配偶者無の条件でも35-39歳は上昇傾向の中にあると推測できる。30-34歳の86.0と40-44歳の90.4の間にあてはまる選択肢は87.4%。

159 [21万円]

[法要プラン]

	第1案	第2案	第3案	第4案	第5案	第6案
価格 (万円)	42	48	36	42	18	?
参列者 (人)	30	30	30	30	15	15
1人分の料理 (円)	8,000	10,000	8,000	10,000	8,000	10,000
1人分の引き出物 (円)	5,000	5,000	3,000	3,000	3,000	3,000

1人分の料理と引き出物の値段が同じ第3案と第5案では、参列者30人が1/2の15人になると、価格36も1/2の18になっている。第4案と第6案を比べると、参列者の数以外は同じで、参列者の数が30と15で1/2。よって、【?】は第4案の価格42万円の1/2の21万円だと推測できる。

※なお、本問の価格の算出式は以下の通り。
 価格 = (料理の値段 + 引き出物の値段 + 1000) × 参列者数

ただし、算出式を計算するのは非常に時間がかかり他の問題を解く時間がなくなるので、解法のように同じ条件で比較して解く。

160 [6,180百万円]

[年間売上]

	P店	Q店	R店	S店	T店
スニーカー (万足)	20	16	20	16	18
革靴 (万足)	11	11	9	13	11
サンダル (万足)	40	38	36	36	36
売上 (百万円)	6,500	6,040	5,780	6,580	?

R、S、Tのサンダルが同じ36万足なので、この3店の数値を比較して法則を見つかる。

スニーカー... (R + S) ÷ 2

$$= (20 + 16) \div 2$$

= 18 ← TのスニーカーはRとSの平均

革靴... (R + S) ÷ 2

$$= (9 + 13) \div 2$$

= 11 ← Tの革靴はRとSの平均

どの項目も、RとSの平均がTになっている。

よって、Tの売上は、RとSの平均なので

$$(5780 + 6580) \div 2 = 6180 \text{百万円}$$

[別解] スニーカーをx、革靴をy、サンダルをzとして、方程式を立てる。

$$P \cdots 20x + 11y + 40z = 6500$$

$$Q \cdots 16x + 11y + 38z = 6040$$

$$R \cdots 20x + 9y + 36z = 5780$$

$$S \cdots 16x + 13y + 36z = 6580$$

20xが共通の【P - R】を計算する。

$$2y + 4z = 720 \cdots \textcircled{1}$$

16xが共通の【Q - S】を計算する。

$$-2y + 2z = -540 \cdots \textcircled{2}$$

① + ②より、

$$6z = 180 \rightarrow z = 30$$

$$\textcircled{1} \cdots 2y + 4 \times 30 = 720 \rightarrow y = 300$$

$$P \cdots 20x + 11 \times 300 + 40 \times 30 = 6500$$

$$\rightarrow x = 100$$

Tの売上は、

$$18 \times 100 + 11 \times 300 + 36 \times 30 = 6180$$

161 【520,000円】

【支店別購入品見積】

	P支店	Q支店	R支店	S支店
デスク (台)	5	6	5	10
サイドワゴン (台)	15	18	15	30
モニター (台)	5	5	10	7
金額 (千円)	275	320	325	?

PとRの違いがモニターの台数だけであることに着目する。PとRのモニターの台数の差は $10 - 5 = 5$ 台。モニター5台分の金額は、 $325 - 275 = 50$ 千円

モニター1台… $50 \div 5 = 10$ 千円

次に、Pのデスクとサイドワゴンの台数の2倍がSの同項目と同じ台数なので、Pの価格を2倍して、そこからモニター分の価格を引いてSの【?】を計算する。

Pの金額の2倍は、

$275 \times 2 = 550$ 千円

Sの購入品はPの2倍より、10千円のモニターが $5 \times 2 - 7 = 3$ 台少ないだけなので、 $550 - (10 \times 3) = 520$ 千円 → 520000円

162 【400円】

【中古漫画の値段】

漫画タイトル	A	B	C	D	E	F
抜け巻 (冊)	0	0	1	2	0	1
汚れのある本 (冊)	0	1	0	1	0	1
販売巻数 (冊)	20	8	8	16	8	16
値段 (円)	2,000	750	?	350	800	750

まず、抜け巻と汚れがないAとEに着目する。20冊で2000円、8冊で800円より、抜け巻と汚れがない場合、基本料金は1冊100円。

次に、汚れが1冊のBは、 $8 \times 100 - 50 = 750$ 円(本来は800円)なので、汚れ1冊につき50円の割引とわかる。

次に、抜け巻があるDとFを見る。

Fは $16 \times 100 - 50 = 1550$ 円のはずだが、1冊の抜け巻で750円(800円の値引き)。

Dは $16 \times 100 - 50 = 1550$ 円のはずだが、2冊の抜け巻で350円(1200円の値引き)となっている。抜け巻が1冊増えるごとに基本

料金が半分になっていると推測できる。

抜け巻が1冊…(販売巻数×100円)÷2

抜け巻が2冊…(販売巻数×100円)÷4

Cは抜け巻が1冊で汚れがないので、

$8 \times 100 \div 2 = 400$ 円

【即解】値段が販売巻数×100円、抜け巻1冊でおおよそ半額と推測できたら、Cは同じ8冊のE：800円の半額と考え、400円を選ぶ。他にも、F(Cの倍の販売巻数で汚れ1冊)の半額375円より少し高い400円を選ぶ方法もある。

163 【6.8万円】

【Y市賃貸マンション物件一覧】

マンション名	P	Q	R	S	T	U
家賃 (万円/1カ月)	7.1	6.2	7.7	6.5	8.0	?
部屋の広さ (m ²)	23	18	23	18	28	18
築年数 (年)	5	10	1	10	1	5
階数 (階)	4	10	6	8	1	3
Y駅からの距離 (m)	400	800	240	400	240	400

一般的に、最も家賃に反映される要素は「広さ」、「築年数」、「駅からの距離」。Uと「築年数」と「駅からの距離」が同じPに着目する。UはPより狭いのでPの7.1万円より安いと推測できる。次にUと「広さ」と「駅からの距離」が同じSに着目する。UはSより築年数が短いので、Sの6.5万円より高いと推測できる。

6.5万円より高く7.1万円より安い選択肢は、6.8万円のみ。

164 【47人】

【運動器具ごとの利用率と客数】

集計時刻	9:00	12:00	15:00	18:00	21:00
ランニングマシン (%)	60	80	40	40	80
エアロバイク (%)	60	60	0	50	50
バーベル・ダンベル (%)	25	25	12.5	75	75
利用客数 (人)	35	44	19	29	?

ランニングマシンの利用率だけが異なる9:00と12:00を比較する。利用客数の差は $44 - 35 = 9$ 人(=9台)。この差がランニングマシンの利用率の差20%に相当する。ランニングマシンの台数は $9 \div 0.2 = 45$ 台と推測できる。21:00は、18:00に比べてラン

ニングマシン利用率(=利用台数)が**40%**(45台×40% = 18台 = 18人)多いという違いがあるだけなので、21:00の利用者数は、**29 + 18 = 47人**

165 【23,000円】

【G地区デイサービス利用料(週4回利用)一覧表】

	施設A	施設B	施設C	施設D	施設E	施設F
利用者数(人)	18	20	16	24	15	18
職員数(人)	5	5	4	6	5	5
施設部屋数(部屋)	6	8	6	12	7	8
給食の回数(回/日)	2	2	1	1	1	1
月額利用料(円)	25,000	22,000	20,000	20,000	24,000	?

施設BとCを比べると、職員1人あたりの利用者数が同じ(4人)で給食の回数が1回分異なっていて、月額利用料は**2000円の差**。施設AとFも職員1人あたりの利用者数が同じ(3.6人)で、給食の回数が1回分異なっているだけなので、Fの月額利用料は、**25000 - 2000 = 23000円**

【別解】給食の回数が1回のC、D、E、Fの職員1人あたりの利用者数を算出すると、

C…16 ÷ 4 = 4人/1職員 → 利用料 **20000円**
 D…24 ÷ 6 = 4人/1職員 → 利用料 **20000円**
 E…15 ÷ 5 = 3人/1職員 → 利用料 **24000円**
 F…18 ÷ 5 = 3.6人/1職員

C、D **4人** > F **3.6人** > E **3人**なので、利用料はC、Dの**20000円**より高く、Eの**24000円**より安いと推測できる。あてはまる選択肢は**23000円**のみ。

166 【81,750円】

【平日のアルコール飲料注文数と売上】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
生ビール(杯)	90	60	90	80	100
酎ハイ(杯)	40	35	40	35	45
日本酒(杯)	30	15	45	40	35
売上合計(円)	72,500	49,750	80,750	71,500	?

月曜日と金曜日を比べると、差は以下の通りで、すべて金曜日が多い。

生ビール…100 - 90 = **10杯**

酎ハイ…45 - 40 = **5杯**

日本酒…35 - 30 = **5杯**

この差はちょうど水曜日と木曜日の差に等しくなっている。

生ビール…90 - 80 = **10杯**

酎ハイ…40 - 35 = **5杯**

日本酒…45 - 40 = **5杯**

水曜日と木曜日の売上金額の差は、80750 - 71500 = **9250円**。よって、月曜日の売上金額72500円に**9250円**を足した**81750円**が金曜日の売上になると推測できる。

【別解】各アルコール飲料の注文数の差と売上合計の差から各飲料の値段を算出する。

・月曜日と水曜日は日本酒と売上合計だけが異なる。差は45 - 30 = 15杯で80750 - 72500 = 8250円なので、

日本酒1杯…**8250 ÷ 15 = 550円**

・酎ハイが同じ火曜日と木曜日を比べる。

火曜日の生ビールと酎ハイの売上は、

49750 - 550 × 15 = 41500円

木曜日の生ビールと酎ハイの売上は、

71500 - 550 × 40 = 49500円

49500 - 41500 = 8000円

8000円の差は生ビールの80 - 60 = 20杯分にあたるので、

生ビール1杯…**8000 ÷ 20 = 400円**

・月曜日の酎ハイ40杯は、72500 - 90 × 400 - 30 × 550 = 20000円なので、

酎ハイ1杯…**20000 ÷ 40 = 500円**

よって金曜日の売上は、

100 × 400 + 45 × 500 + 35 × 550 =

40000 + 22500 + 19250 = **81750円**

167 【土地S】

【?】の項目がなく、割安な土地を選ぶという特殊な問題。

「割安 = 相対的に安いこと」は、同じ条件の中で安いという意味でとらえる。同じ条件内で比べて割安なものを探す。

【A地区一戸建て用候補地情報】

土地名	P	Q	R	S	T	U
土地面積 (m ²)	100	150	200	100	150	200
駅からの所要時間(徒歩・分)	5	5	5	10	10	10
価格 (万円)	2,500	3,750	5,000	2,000	3,150	4,200

・駅からの所要時間が5分のP、Q、Rの1m²あたりの価格は、

$$P \cdots 2500 \div 100 = 25 \text{万円}$$

$$Q \cdots 3750 \div 150 = 25 \text{万円}$$

$$R \cdots 5000 \div 200 = 25 \text{万円}$$

駅からの所要時間が5分のP、Q、Rの中では割安といえる候補地はない。

・駅からの所要時間が10分のS、T、Uの1m²あたりの価格は、

$$S \cdots 2000 \div 100 = 20 \text{万円}$$

$$T \cdots 3150 \div 150 = 21 \text{万円}$$

$$U \cdots 4200 \div 200 = 21 \text{万円}$$

駅からの所要時間が10分のS、T、Uの中ではSが割安といえる。よって、Sが相対的に割安だと判断できる。

168 【25,500円】

【実験用品見積金額】

納入先	A	B	C	D	E	F
手袋(10枚) (組)	3	2	1	2	1	1
手袋(50枚) (組)	0	0	0	0	0	1
手袋(100枚) (組)	1	2	3	1	3	1
ワイプ(500枚) (組)	2	0	1	2	0	1
ワイプ(2,500枚) (組)	0	0	0	0	0	1
ワイプ(5,000枚) (組)	1	0	2	4	0	3
見積金額 (円)	10,200	4,400	19,000	28,000	6,200	?

BとEから、手袋10枚1組(x)と手袋100枚1組(y)の単価を求める。

$$B \cdots 2x + 2y = 4400 \cdots ①$$

$$E \cdots x + 3y = 6200 \rightarrow 2x + 6y = 12400 \cdots ②$$

$$② - ① \text{より、} 4y = 8000 \rightarrow y = 2000 \text{円}$$

$$E \text{の} x + 3y = 6200 \text{円より} \rightarrow x = 200 \text{円}$$

10枚1組が200円、100枚1組が2000円なので、手袋50枚1組1000円(割引なし)。次に、AとCから、ワイプ500枚1組(a)とワイプ5000枚1組(b)の単価を求める。

$$A \cdots 200 \times 3 + 2000 \times 1 + 2a + b = 10200$$

$$\rightarrow 2a + b = 7600 \cdots ③$$

$$C \cdots 200 \times 1 + 2000 \times 3 + a + 2b = 19000$$

$$\rightarrow a + 2b = 12800 \rightarrow 2a + 4b = 25600 \cdots ④$$

$$④ - ③ \text{より、} 3b = 18000 \rightarrow b = 6000 \text{円}$$

$$2a + 6000 = 7600 \rightarrow a = 800 \text{円}$$

ワイプは、500枚1組が800円で、5000枚1組が6000円なので、枚数が増えると割引があると推測できる。ここから2500枚1組の値段の範囲を推測する。割引率が高いワイプ5000枚1組の値段を2500枚1組に適用すると、最も安くて6000÷2=3000円。ワイプ5000枚1組の値段を2500枚1組に適用すると、最も高くて800×5=4000円。
3000<ワイプ2500枚1組<4000

Fの見積金額は、表の項目で上から順に(200+1000+2000+800+ワイプ2500枚1組)×1+6000×3

$$= 22000 + \text{ワイプ} 2500 \text{枚} 1 \text{組}$$

ワイプ2500枚1組は、3000~4000円なので、Fの見積金額は、
22000+3000~4000→25000~26000円の範囲に収まる。選択肢では25500円。

【別解1】Fは、手袋が160枚、ワイプが18000枚。これに最も近いのはDで、手袋が120枚、ワイプが21000枚。選択肢ではDの28000円に近い25500円か26280円が正解だと推測できる。表内の見積金額も他の選択肢も下二桁が00なので、25500円を選ぶ。

【別解2】手袋とワイプの1枚あたり単価を大まかに算出する方法で適切な選択肢を探す。

BとEから手袋1枚あたりを算出すると、

$$B : 4400 \div 220 = 20 \text{円}$$

$$E : 6200 \div 310 = 20 \text{円} \rightarrow \text{手袋} 1 \text{枚は} 20 \text{円。}$$

次にワイプの1枚あたりの単価を算出する。

$$① A : \{10200 - (20 \times 130)\} \div 6000 \div$$

$$1.26. \text{ CとDから算出すると} ② \text{約} 1.219.$$

Fは手袋160枚、ワイプ18000枚なので、

$$① 20 \times 160 + 1.26 \times 18000 = 25880 \text{円。}$$

② $20 \times 160 + 1.219 \times 18000 = 25142$ 円。
 いずれの場合も最も近い選択肢は25500円。

169 【5.0万人】

【A駅時刻別乗客者数とX駅方面電車本数一覧】

時刻	6:00~	7:00~	8:00~	9:00~	10:00~	11:00~
A駅乗客者数(万人)	2.8	7.0	7.4	?	5.3	4.9
普通5両編成(本)	7	0	0	0	0	0
普通7両編成(本)	0	11	13	9	12	10
準急行8両編成(本)	6	8	8	1	0	0
快速12両編成(本)	0	5	5	6	6	6

12両編成が6本の10:00~と11:00~のA駅乗客者数の差は、 $5.3 - 4.9 = 0.4$ 万人。
 10:00~と11:00~の7両編成の差は $12 - 10 = 2$ 本。よって7両編成1本あたり乗客数は $0.4 \div 2 = 0.2$ 万人と推測できる。

次に10:00~の7両編成は $0.2 \times 12 = 2.4$ 万人で、残りの $5.3 - 2.4 = 2.9$ 万が12両編成の乗客者となる。12両編成1本あたり乗客数は $2.9 \text{万} \div 6 = 0.483 \dots$ 万人と推測できる。

次に8両編成を7:00~で算出する。
 7両編成 $\dots 0.2 \text{万} \times 11 = 2.2$ 万人
 12両編成 $\dots 0.48 \text{万} \times 5 = 2.4$ 万人
 8両編成 $\dots 7.0 \text{万} - 2.2 \text{万} - 2.4 \text{万} = 2.4$ 万人
 8両編成1本あたり $\dots 2.4 \text{万} \div 8 = 0.3$ 万人
 よって、9:00~のA駅乗客者数は、7両編成が $0.2 \text{万} \times 9 = 1.8$ 万人、12両編成が $0.48 \text{万} \times 6 \div 2.9$ 万人、8両編成が 0.3 万人で、
 $1.8 \text{万} + 2.9 \text{万} + 0.3 \text{万} = 5.0$ 万人

170 【136件】

【1年間の契約件数】

	Pさん	Qさん	Rさん	Sさん	Tさん	Uさん
出勤数(日)	220	228	224	225	215	226
担当顧客数(人)	390	320	390	347	364	320
新規顧客数(人)	53	82	41	73	56	72
契約件数(件)	131	146	119	142	128	?

同じ担当顧客数のPとRに注目する。新規顧客数の差は $53 - 41 = 12$ 人。同様に契約件数も $131 - 119 = 12$ 件となっている。よって、新規顧客は1人1件ずつ契約すると推測できる。次に、担当顧客の1人あたりの契約率は、

$P \dots (131 \text{件} - 53 \text{件}) \div 390 \text{人} = 0.2$
 $R \dots (119 \text{件} - 41 \text{件}) \div 390 \text{人} = 0.2$
 →担当顧客1人について契約率は0.2。

契約件数 = 担当顧客数 $\times 0.2$ + 新規顧客数
 よってUの契約件数は、

$320 \times 0.2 + 72 = 136$ 件

【即解】新規顧客について1件ずつ契約すると推測すれば、担当顧客数が同じ320人のQとUは新規顧客数の差 $(82 - 72 = 10)$ だけ契約件数が違うと考えられる。Uの契約件数は、
 $146 - 10 = 136$ 件

171 【155秒】

【躯体分解の所要時間】

	機種A	機種B	機種C	機種D	機種E
洗濯容量(kg)	10	9	8	7	8
接着箇所数(カ所)	2	1	3	0	1
ビス止め箇所数(カ所)	35	28	40	18	12
所要時間(秒)	420	315	505	180	?

接着箇所数が0のDは、ビス止め箇所数が18個で180秒かかっているの、ビス止め1カ所あたり $180 \div 18 = 10$ 秒。Bはビス止め28箇所、280秒になるので、残りは $315 - 280 = 35$ 秒。接着箇所が1カ所なので、接着箇所1カ所あたり35秒と推測できる。よって、Eはビス止め12カ所、接着箇所が1カ所、合計で155秒。

172 【60,000円】

【東北ツアープラン表】

	ツアーA	ツアーB	ツアーC	ツアーD	ツアーE	ツアーF
Gホテル宿泊数(泊)	1	2	1	3	2	3
食事回数(回)	1	2	2	3	1	5
最少催行人数(人)	20	20	10	10	20	10
最大募集人数(人)	30	25	30	20	25	20
旅行代金(円)	38,000	48,000	39,000	58,000	47,000	?

Bの48000円とEの47000円は、食事回数が1回異なるだけで他項目は同じ。よって食事1回は $48000 - 47000 = 1000$ 円と推測できる。DとFは、食事回数が異なるだけで他項目

は同じ。Dの58000円よりもFは食事回数が2回多いだけなので、Fの旅行代金は、

$$58000 + 1000 \times 2 = 60000 \text{円}$$

※最少催行人数や最大募集人数は関係がない。

173 【2,680円】

【製品ごとの価格】

	製品P	製品Q	製品R	製品S	製品T	製品U
放電容量 (mAh)	1,000	2,500	5,000	10,000	12,000	30,000
厚さ (mm)	0.4	0.5	0.7	1	2.4	2.8
価格 (円)	2,230	2,480	?	2,880	3,000	3,250

+250
?
+120
+250

放電容量と価格の増加分に着目する。

P → Q…放電容量 $2500 \div 1000 = 2.5$ 倍

価格 $2480 - 2230 = 250$ 円

S → T…放電容量 $12000 \div 10000 = 1.2$ 倍

価格 $3000 - 2880 = 120$ 円

T → U…放電容量 $30000 \div 12000 = 2.5$ 倍

価格 $3250 - 3000 = 250$ 円

価格の増加分は、**放電容量の倍率** × 100円。

Q → Rの放電容量の変化は、 $5000 \div 2500 = 2$ 倍なので**200円**増える。

$$2480 + 200 = 2680 \text{円}$$

※放電容量の倍率 × 100円は隣り合う製品同士の関係。S10000はP1000の10倍だが、価格は $10 \times 100 = 1000$ 円増えてはいない。

174 【15個】

【各条件でのコロナー数】

	実験①	実験②	実験③	実験④	実験⑤	実験⑥
時間 (時間)	3	3	6	6	9	9
室温 (°C)	25	25	25	25	25	25
湿度 (%)	40	80	40	80	40	80
肥料量 (g)	2.0	4.0	3.0	2.5	3.5	3.0
コロナー数(個)	9	6	18	?	33	24

コロナー数と他項目を比べると、**時間が長いほどコロナー数が増える**と推測できる。次に時間が同じ①と②、⑤と⑥を比べると、**湿度が高いほどコロナー数は減る**と推測できる。また、**肥料量はコロナー数とは関係がない**ことも推測できる。よって次の推測ができる。

- ④は同じ湿度の②より時間が長いので**②の6個より多い**(時間が長い→コロナーが増える)。
 - ④は同じ時間の③より湿度が高いので**③の18個より少ない**(湿度が高い→コロナーが減る)。
- 選択肢であてはまるのは**15個**。

175 【6,080円】

【商品別落札価格】

	商品P	商品Q	商品R	商品S	商品T
開始価格 (円)	100	2,980	100	1,980	3,980
入札件数 (件)	3	7	10	4	6
落札価格 (円)	700	5,780	5,600	2,980	?

開始価格と落札価格の差を計算すると、

P… $700 - 100 = 600$ ←入札3件

S… $2980 - 1980 = 1000$ ←入札4件

PとSの差は $1000 - 600 = 400$ 円、これは4回目の入札によるものと推測できる。

4回目が400円増加なので、**1回目で100円、2回目で200円、3回目で300円**…と推測できる。確認すると、

P 3回… $100 + 100 + 200 + 300 = 700$

S 4回… $1980 + 100 + 200 + 300 + 400 = 2980$

←推測の通りなので、**6回入札のTは、**

$$3980 + 100 + 200 + 300 + 400 + 500 + 600 = 6080 \text{円}$$

※開始・落札価格の差 (P: 600 S:1000

R: 5500)から以下のように気がつけば法則性に早くたどりつけるが、難易度は高い。

P: $1 + 2 + 3 = 6 \rightarrow 600$ 円

S: $1 + 2 + 3 + 4 = 10 \rightarrow 1000$ 円

R: $1 \sim 10$ を足すと $55 \rightarrow 5500$ 円

※表の空欄推測は、難しいと感じる受検者が多い検査です。合格のためには速く解く勘を養うことが大切です。本番では、わからない問題・時間がかかる問題は、当て推量でかまわないので、制限時間が終わる前に必ず回答していくようにしましょう。5択なので平均20%は正答できます。検査の前半の方が難易度が低いので、解ける問題は確実に正答していくことも大切です。

3

表の空欄推測② ▶本冊98～115ページ

176 【40%】

【社内旅行の参加率と降水確率】

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
降水確率 (%)	30	80	75	10	50	20
平均気温 (°C)	20	22	15	18	20	19
参加率 (%)	35	15	20	45	25	?

降水確率が高いほど参加率が低いことがわかる。2020年の降水確率20%は、2018年10%と2015年30%の間なので、2020年の参加率は、2018年の45%と2015年の35%の間にあると推測できる。

よってあてはまる選択肢は40%。

177 【1,060万円】

【バーゲン期間売上予測】

高級カバン名	P	Q	R	S	T
通常時売上高 (万円/月)	1,200	700	500	800	800
バーゲン値引率 (%)	80	75	60	50	75
バーゲン期間予測売上高 (万円)	1,500	930	830	1,600	?

通常時売上高、バーゲン値引率、バーゲン期間予測売上高の関係性を見つける。通常時売上高をバーゲン値引率で割ると、

$$P \cdots 1200 \div 0.8 = 1500$$

→バーゲン期間予測売上高と同じ。

よってTのバーゲン期間予測売上高は、

$$800 \div 0.75 = 1066.66 \text{円} \cdots$$

よってあてはまる選択肢は1060万円。

※Q、R、Sで計算してもよい。

178 【835,000円】

【ボーナスの支給額】

	Pさん	Qさん	Rさん	Sさん
年齢 (歳)	25	31	38	42
基本給 (円/月)	256,000	286,000	302,000	334,000
職務手当 (円/月)	10,000	15,000	20,000	20,000
欠勤数 (日)	0	1	0	0
ボーナス支給額 (円)	640,000	715,000	755,000	?

ボーナスが基本給の何カ月分かを算出すると、

$$P \cdots 640 \div 256 = 2.5$$

※割られる数640000と割る数256000で、同じ数の000はカットして計算してよい。

QやRで計算してもよい。

基本給×2.5と推測できる。よって

$$S \cdots 334000 \times 2.5 = 835000 \text{円}$$

179 【8,000円】

【レンタルプラン料金表】

	Pプラン	Qプラン	Rプラン	Sプラン	Tプラン	Uプラン
子ども用ウェア (着)	1	0	2	0	1	1
大人用ウェア (着)	0	1	1	1	1	1
スキーセット (組)	0	0	0	1	1	1
スノーボードセット (組)	0	0	0	0	0	1
料金 (円)	3,000	5,000	11,000	?	11,000	16,000

Sと他の項目を比べると、Tと子ども用ウェア1着の差であることがわかる。Pは子どもウェア1着で3000円なので、Sの料金は、 $11000 - 3000 = 8000 \text{円}$

180 【6,000円】

【フルーツギフト価格表】

	ギフトA	ギフトB	ギフトC	ギフトD	ギフトE	ギフトF
リンゴ (個)	10	0	0	0	0	5
ミカン (個)	0	10	0	0	0	5
モモ (個)	0	0	10	0	0	0
カキ (個)	0	0	0	10	0	0
ナシ (個)	0	0	0	0	10	0
贈答用箱 (個)	1	1	1	1	1	1
価格 (円)	7,000	5,000	9,500	7,500	9,000	?

Fはリンゴ5個(Aの1/2)、ミカン5個(Bの1/2)で、 $(A + B) \div 2 = F$ になっていることがわかる。よってFの価格は、

$$(7000 + 5000) \div 2 = 6000 \text{円}$$

181 【0.5%】

【採用者数データ】

	前々年度	前年度	今年度	来年度
内定枠人数 (人)	20	30	15	25
応募人数 (人)	12,500	16,000	12,000	10,000
一次筆記試験合格者数 (人)	100	150	75	-
二次口述面接合格者数 (人)	40	60	30	?

【?】を求めてから合格率を求める。二次口述面接合格者数は、内定枠人数の2倍になっている。

【?】 = $25 \times 2 = 50$ 人

来年度の応募人数は10000人なので、
 $50 \div 10000 = 0.005 \rightarrow 0.5\%$

182 【240万円/年】

【クライアント別利用料金一覧】

	P社	Q社	R社	S社	T社	U社
従業員数 (人)	380	636	1,233	918	1,412	833
利用料金 (万円/年)	120	240	480	240	480	?

Uは833人でQとSの間の人数であることに着目する。Q社が636人で240万円。S社が918人で240万円。どちらも240万円なので、U社の利用料金も240万円と推測できる。
 ※例えば、500人以下が120万円、501~1000人が240万円、1001~1500人が480万円といった料金設定が考えられる。

183 【10,400枚】

【DVDレンタル数の推移】

	2010年	2011年	2012年	2013年
洋画 (枚)	36,900	35,600	39,900	39,500
邦画 (枚)	26,000	26,100	25,400	24,700
アニメ (枚)	3,800	5,300	7,400	?

洋画、邦画、アニメの間に相関関係は見られない。アニメの年ごとの増加倍率を計算する。
 $5300 \div 3800 \div 1.395 \rightarrow$ 約1.4倍
 $7400 \div 5300 \div 1.396 \rightarrow$ 約1.4倍
 →毎年約1.4倍増加している。
 2013年… $7400 \times 1.4 = 10360 \rightarrow$ 約10400枚

184 【1,700万円】

【社内表彰報奨金】

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
目標達成賞 (人)	120	115	130	100	125	120
永年勤続表彰 (人)	130	126	120	110	94	110
報奨金総額 (万円)	1,900	1,835	1,850	1,600	1,565	?

目標達成賞の報奨金をx万円、永年勤続表彰の報奨金をy万円とすると、

2015年… $120x + 130y = 1900$

2018年… $100x + 110y = 1600$

この連立方程式を解いて、 $x = 5$ 、 $y = 10$ 。

2020年… $120 \times 5 + 110 \times 10 = 1700$ 万円

185 【5,880円】

【シリーズ書籍の定価】

版型	タイトル	定価総額 (円)
全頁カラー大型版	魚たちの美と生態の大図鑑 (上・下)	11,600
	世界遺産大全 (全6巻)	34,800
	お仕事の舞台裏 (全8巻)	19,360
単行本	アジアの食と文化 (全6巻)	14,520
	交通の歴史 (全12巻)	29,040
文庫版	時代の語り部シリーズ (全8巻)	?
	植物の秘密 (上・下)	1,470

同じ版型の1巻あたりの価格を求める。上・下は2巻として計算する。
 全頁カラー大型版は、1巻あたり「魚たちの美と〜」… $11600 \div 2 = 5800$ 円
 「世界遺産大全」… $34800 \div 6 = 5800$ 円
 単行本も同様で、1巻あたり2420円。
 文庫版の「時代の語り部シリーズ」8巻は、「植物の秘密」2巻の4倍なので、
 $1470 \times 4 = 5880$ 円

186 【4,500円】

【売り尽くしセール価格表】

開店までの日数	30日前	24日前	12日前	7日前	3日前	最終日
ソファ (円)	18,000	17,000	15,000	13,000	10,000	6,000
テーブル (円)	13,000	12,000	10,000	8,000	7,000	4,000
テレビ台 (円)	16,000	15,000	13,000	11,000	8,000	5,000
椅子 (円)	12,000	10,000	8,000	7,500	6,500	3,500
食器棚 (円)	15,000	14,000	12,000	10,000	7,500	?

「30日前」の価格を高い順に並べ替えると、ソファ→テレビ台→食器棚→テーブル→椅子となる。この順番は何日たっても変わっていないので、食器棚の価格は、テレビ台5000円とテーブル4000円の間にありと推測できる。選択肢では4500円。

187 【840万円】

セミナー数×平均参加者数が予算額の近似値(おおよその値)になっていることに注目する。

【セミナー予算データ】

年	2015	2016	2017	2018	2019	2020
予算額 (万円)	904.5	822.15	1,056.3	600.6	900.9	?
セミナー数 (コマ)	30	32	35	20	30	28
平均参加者数 (人/セミナー)	30.5	25	28	29	30	30
担当職員数 (人)	15	14	15	16	15	13
平均セミナー日数 (日/コマ)	8	7	7.5	6	8	8.5

セミナー数×平均参加者数=予算額

2015年… $30 \times 30.5 = 915 \rightarrow 904.5$ 万円

2016年… $32 \times 25 = 800 \rightarrow 822.15$ 万円

2017年… $35 \times 28 = 980 \rightarrow 1056.3$ 万円

2018年… $20 \times 29 = 580 \rightarrow 600.6$ 万円

2019年… $30 \times 30 = 900 \rightarrow 900.9$ 万円

2020年… $28 \times 30 = 840$

選択肢では**840万円**。

【即解】すべての年を計算する必要はない。表の数値を見て計算しやすい年だけを暗算や概算で求める。2018年が $20 \times 30 = 600$ 、2019年が $30 \times 30 = 900$ で、予算額と近いことが推測できれば解ける。

188 【90万円】

【都心マンション賃貸料金表】

マンション名	O	P	Q	R	S	T
賃貸料金(万円/月)	40	60	80	42	100	?
共益費 (万円/月)	5	11	11	6	18	13
専有面積 (m ²)	86.0	86.0	100.0	86.0	100.0	100.0
共用部分面積 (m ²)	20	24	24	10	18	18
階数 (階)	2	8	8	3	15	10

専有面積が86m²のO、P、Rを比較すると、階数が上がるほど料金も上がっていることがわかる。専有面積が100m²の**Tは10階**で、同じ専有面積100m²の**Q8階とS15階の間**にある。Tの賃貸料金もQ80万円とS100万円の間と推測できる。選択肢では**90万円**。

189 【41km/L】

【エンジン出力データ】

エンジン番号	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
排気量(cc)	50	50	80	50	80	80	90	125	125	240	125	250
燃費(km/L)	70	75	39	82	41	42	?	40	44	37	55	41
出力 (馬力:PS)	3	4	6	7	9	10	10	10	15	15	22	22

出力が同じFとH、IとJ、KとLに注目する。すべて排気量大きいほど燃費が悪く(値が低く)なっていることがわかる。出力10のGの排気量は90ccで、同じ出力10のFとHの排気量の間にある。燃費も**F42とH40の間**と推測できる。選択肢では**41km/L**。

190 【791本】

【Xドリンク月別データ】

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
工場	受注数(本)	857	728	881	864	753	732
	生産数(本)	838	738	900	890	769	730
	入荷数(本)	823	769	881	890	758	734
倉庫	出荷数(本)	615	738	947	891	726	821
	在庫数(本)	882	913	847	846	878	?
店舗	売上数(本)	632	720	959	900	686	796

一般的に、在庫数は、先月の在庫数+今月の入荷数-今月の出荷数と考えられる。5月(先月)と6月(今月)で確認すると、 $882 + 769 - 738 = 913$ ←成立する。9月の在庫数+10月の入荷数-10月の出荷数=10月の在庫数となるので、 $878 + 734 - 821 = 791$ 本

191 【(100、2、90)】

【新品種Aの発芽率】

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目
播種(はしゅ)～発芽平均気温(°C)	21.3	15.4	13.9	18.7	23.4	19.8
播種前かん水時間(分)	50	180	220	150	30	?
土壌のpHレベル(pH)	6.5	7.0	7.0	7.0	6.5	?
発芽率(%)	92	86	83	88	94	?

発芽率の最高は5回目の94%で平均気温も23.4°Cで最高、最低は3回目の83%で平均気温も13.9°Cで最低。

平均気温が高いほど発芽率が高いと推測できる。

6回目の気温は**19.8°C**で、1回目**21.3°C**と4回目**18.7°C**の間にある。

発芽率も1回目**92%**と4回目**88%**の間と推測できるので、発芽率は**90%**。

選択肢の(100、2、90)があてはまる。

192 【13万人】

【野球場別データ】

	野球場 A	野球場 B	野球場 C	野球場 D	野球場 E	野球場 F
応募者数 (万人)	10	8	10	12	11	?
チケット販売数 (万枚)	2	2	4	3.5	3.5	4
売店の数 (店)	20	40	40	15	35	20
チケット代金 (円)	2,800	4,700	5,800	3,300	4,700	3,300

チケット代金が4700円のBとEを比べると、**チケット販売数が多いほど応募者数も多いと推測できる**。Fの販売数**4万枚**はチケット代金と同じDの**3.5万枚**より多い。よってFの応募者数はDの**12万人**より多いと推測できる。
 選択肢では**13万人**。

193 【900人】

【主要バス停3カ所の利用者数】

	停留所P	停留所Q	停留所R
6時～10時 (人)	780	870	960
10時～14時 (人)	460	390	320
14時～18時 (人)	550	600	650
18時～22時 (人)	680	790	?

同じ時間帯の利用者数の推移に着目する。どの時間帯でも、**P→Q→Rの順に同じ人数分ずつ増減していることがわかる**。

6時～10時…90人ずつ増えている
 10時～14時…70人ずつ減っている
 14時～18時…50人ずつ増えている
 18時～22時では、**Q - P = 790 - 680 = 110人**ずつ増えると推測できる。
 よってRの18時～22時の利用者数は、**790 + 110 = 900人**

194 【1,461店】

【契約状況】

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
問合せ件数 (件)	1,250	2,582	3,832	6,414	10,246	16,660
総契約店舗数 (店)	112	225	337	562	899	?
店頭販売店 (%)	10	20	30	40	50	60
オンライン専門店 (%)	90	80	70	60	50	40

2015年と2016年の総契約店舗数の合計が2017年の総契約店舗数になっている。

112 + 225 = 337

同様に、2018年、2019年の総契約店舗数も前2年の合計になっている。

225 + 337 = 562

337 + 562 = 899

2020年の総契約店舗数も、**前2年(2018年と2019年)の合計と推測できる**。

562 + 899 = 1461店

※問合せ件数も同じ法則で推移している。

195 【710万円】

【チラシ効果分析表】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
チラシ配布枚数 (千枚)	40	50	60	40	50	60
季節限定メニュー数 (種類)	10	8	12	12	10	8
Mサイズ平均価格(円)	2,000	2,000	2,000	2,200	2,200	2,200
従業員数 (人)	10	13	11	12	14	13
総売上高 (万円)	643	692	738	669	?	750

4月→5月→6月は、チラシ配布枚数が**40→50→60**と推移しており、総売上高も月ごとに増えていることがわかる。7月→8月→9月もチラシ配布枚数が**40→50→60**と推移しているので、8月の総売上高は**7月の669万円と9月の750万円の間**にあると推測できる。選択肢では**710万円**。

【即解】8月はチラシ配布枚数が5月と同数で、Mサイズ平均価格が200円高いので、総売上高は5月の692万円より高い**710万円**。

196 【7,000本】

【冷却グッズ売上数】

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
冷感タオル (枚)	5,127	5,203	5,176	4,896	4,328	3,503	4,274
ハンディファン (個)	6,239	6,007	5,891	5,402	5,122	4,867	4,830
冷却スプレー (本)	8,634	8,794	8,921	9,107	9,174	8,618	?
ネックファン (個)	-	-	-	598	1,376	3,013	3,895

個別項目の推移に法則は見つけられないので、合計を考える。全グッズの合計売上数を概算してみると、**どの年も約20000**であることがわかる。よって2021年の冷却スプレーは、

$$20000 - (4274 + 4830 + 3895) = 7001$$

選択肢では7000本。

【即解】時間の足りない本番では、多少は荒い推測でも、「考えられる最も近い値」を即座に選ぶテクニックも重要になる。冷却スプレーは、どの年も8000本以上は売れている。選択肢で8000本以上はないので、最も多い7000本を選ぶ。

※ネックファンの売上個数が増えた分、冷却スプレーが減るという大体の傾向から推測してもよい。

197 【678個】

【下半期売上表】

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
シュークリーム(個)	339	248	286	349	512	624
パイ(個)	70	78	82	64	52	60
プリン(個)	132	156	164	143	167	181
タルト(個)	35	23	35	24	30	40
ケーキ(個)	?	496	572	698	1,024	1,248
その他(個)	9	13	8	21	15	16

ケーキの個数が、どの項目と連動しているのかを見る。ケーキはシュークリームの2倍売られていることがわかる

$$8月 \cdots 496 \div 248 = 2$$

$$9月 \cdots 572 \div 286 = 2$$

10月～12月も同様。

よって7月のケーキの個数は、

$$339 \times 2 = 678 \text{ 個}$$

198 【53,500件】

【上半期ダウンロード数の推移】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
アプリA(件)	60,500	45,000	47,500	34,500	27,000	21,500
アプリB(件)	43,500	49,500	56,000	36,500	31,000	27,500
アプリC(件)	22,500	23,500	25,500	29,500	37,500	?
		+1000	+2000	+4000	+8000	?

アプリCの増加数に着目する。

4月→5月→6月→7月→8月の順に、増加数が1000→2000→4000→8000と倍増していることがわかる。

8月→9月は8000×2=16000の増加と推

測できるので、

$$37500 + 16000 = 53500 \text{ 件}$$

199 【243千円】

【はちみつ売上と販売数】

	3月	4月	5月	6月	7月
売上(千円)	225	198	?	207	207
百花はちみつ(本)	80	90	85	80	75
アカシアはちみつ(本)	86	60	94	74	78
平均気温(°C)	14.0	17.4	22.7	24.4	28.7

売上は一般的に考えると、

売上=百花はちみつ1本の値段×本数

+アカシアはちみつ1本の値段×本数

と推測できる。百花またはアカシアの値段を出すため、表中の同じ数字を探す。3月の百花と6月の百花の本数が同じ80本なので、3月と6月のアカシアの差からアカシア1本の値段を求めることができる。

アカシアの本数の差…86-74=12本

売上の差…225-207=18千円

アカシア1本の値段…18÷12=1.5千円

次に、3月の売上からアカシアの売上を引いて百花の売上を求める。

$$225 - 1.5 \times 86 = 96 \text{ 千円}$$

百花1本…96÷80=1.2千円

よって5月の売上高は、

$$1.2 \times 85 + 1.5 \times 94 = 243 \text{ 千円}$$

【別解】百花1本をx千円、アカシア1本をy千円とする連立方程式でも同様に解ける。

200 【565.6万円】

【各店舗の売上状況：1カ月平均】

店舗名	P	Q	R	S	T
売上金額(万円)	700	896	784	644	742
買取枚数(枚)	35,000	42,000	50,400	28,000	39,200
買取平均価格(円)	50	30	25	55	45
店員数(人)	3	5	2	4	3
売上利益(万円)	525	770	658	490	?

一般的に考えると、

売上利益=売上金額-買取枚数×買取平均価格

と推測できる。Pで確認すると、

$$700000 - 35000 \times 50 = 525000 \text{ 円}$$

Q、R、Sも同様に成立している。
よってTの売上利益は、
 $7420000 - 39200 \times 45 = 5656000$ 円

201 【160百万円】

【収支報告】

	4月	5月	6月	7月	8月
収入(百万円)	118	107	140	158	?
支出(百万円)	98	77	100	108	100
	↑差20	↑差30	↑差40	↑差50	↑差?

収入-支出が毎月10ずつ増えている。

4月… $118 - 98 = 20$

5月… $107 - 77 = 30$

6月… $140 - 100 = 40$

7月… $158 - 108 = 50$

8月… $[?] - 100 = 60$ と推測できるので、
 $100 + 60 = 160$ 百万円

※同月の収入と支出の下1桁が同じ値であることもヒントになっている。

202 【8,100万円】

【年間出荷額と出荷数】

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
出荷額(万円)	2,000	3,850	4,800	5,460	6,720	?
出荷本数(万本)	20	35	40	42	48	54
従業員数(人)	70	82	69	75	80	81

出荷本数の伸びに比べて出荷額の伸びが大きいのので、年ごとに単価が高くなっていることが推測できる。単価を調べると、

2010年… $2000 \div 20 = 100$ 円/本

2011年… $3850 \div 35 = 110$ 円/本

2012年… $4800 \div 40 = 120$ 円/本

2013年130円、2004年140円で、年々10円ずつ上がっていることがわかる。

2015年の単価は、150円/本と推測できる。
 150×54 万 = 8100万円

203 【58%】

ソーラー発電装置設置台数(以下台数)は少ない順に $D < A < B = C$ 。節電目標達成率

【節電目標達成率】

	Aモール	Bモール	Cモール	Dモール	Eモール
正社員数(人)	230	120	360	400	100
ソーラー発電装置設置台数(台)	18	20	20	15	17
年間日照率(%)	60	70	75	50	50
節電目標達成率(%)	61	69	85	56	?

(以下達成率)は低い順に $D < A < B < C$ 。台数が多いほど達成率が高い傾向にある。さらに台数が同じBとCを比べると、日照率が高いほど達成率が高いと推測できる。Eの台数17と日照率50はAより低いので、Eの達成率はAの61%より低いと推測できる。あてはまる選択肢は58%のみ。

204 【2,032百本】

【地区別歯ブラシ販売本数】

	J地区	K地区	L地区	M地区
コンビニ店舗数(店)	423	310	504	425
ドラッグストア店舗数(店)	66	45	20	58
スーパー店舗数(店)	158	170	76	175
歯ブラシ販売本数(百本/月)	2,007	1,620	1,820	?

店舗の合計数と歯ブラシ販売本数を比べると、
J… $2007 \div (423 + 66 + 158) = 3.10$ …

K… $1620 \div (310 + 45 + 170) = 3.08$ …

L… $1820 \div (504 + 20 + 76) = 3.03$ …

店舗数合計の3倍強が歯ブラシ販売本数になっていることがわかる。

Mの店舗数合計… $425 + 58 + 175 = 658$

658を3倍すると1974なので1974以上と推測できる。3.1倍すると2039.8。選択肢の中で最も近いのは2032百本。

※ちなみに、どの地区も歯ブラシ販売本数=コンビニ店舗数×3+ドラッグストア店舗数×4+スーパー店舗数×3になっている。

$425 \times 3 + 58 \times 4 + 175 \times 3 = 2032$ 百本

【即解】以下のように推測して、選択肢の中から最も近い値を選んでよい。

店舗数合計はMが658でJが647。Mの販売本数はJの2007より少し多いと推測して、選択肢の2032百本を選ぶ。

205 【6本】

【通信機器の接続に必要なとなるケーブル数】

接続する通信機器の数	1	2	3	4	5
ケーブル	0	1	3	?	10

機器とケーブルをつないでみると、

○…機器数1だと接続しないのでケーブル0

○—○…機器数2でケーブル1本



…機器数3でケーブル3本



…機器数4でケーブル6本

【別解】異なる4点を結ぶ線分は何本か」と同じ意味。線分は4点のうちの2点を選ぶ組み合わせの数になるので、

$${}^4C_2 = \frac{4 \times 3}{2 \times 1} = 6 \text{本}$$

206 【44.0万円】

【新築賃貸物件の賃貸料】

	物件P	物件Q	物件R	物件S	物件T	物件U
賃貸料(万円)	31.8	18.6	29.5	58.8	28.1	?
床面積 (m ²)	100	70	120	200	100	140
駅徒歩 (分)	2	10	5	12	9	8
公園徒歩(分)	10	15	7	5	3	2
m ² 単価 (円)	3200	2800	2500	3000	2900	3200

選択肢の値が離れているので、概算で見当をつける。賃貸料に最も影響するのは、「床面積×m²単価」だと推測できる。Uとm²単価が同じ3200円であるPの床面積は100m²。UはPの1.4倍の広さなので、賃貸料も1.4倍だと推測する。

$$31.8 \times 1.4 = 44.52 \text{万円}$$

選択肢では44.0万円。

【別解】一般的に考えて、賃貸料に影響するのは、「床面積」「m²単価」「駅徒歩」ではないかと推測する。まず床面積×m²単価を計算する。

$$P \cdots 100 \times 3200 = 320000 \text{円}$$

$$P \text{の賃貸料} \rightarrow 318000 \text{円 (駅徒歩2分)}$$

$$Q \cdots 70 \times 2800 = 196000 \text{円}$$

$$Q \text{の賃貸料} \rightarrow 186000 \text{円 (駅徒歩10分)}$$

$$R \cdots 120 \times 2500 = 300000 \text{円}$$

$$R \text{の賃貸料} \rightarrow 295000 \text{円 (駅徒歩5分)}$$

賃貸料は、「床面積×m²単価」から「駅徒歩×1000」を引いた額となっている。よって物件Uの販売価格は、

$$140 \times 3200 - 8 \times 1000 = 44.0 \text{万円}$$

207 【2,145台】

【在庫一掃セール割引率と売上台数】

割引率	10%	20%	30%	40%	50%
売上台数 (台)	1,465	1,612	1,773	1,950	?
来客数 (人)	2,624	2,328	2,542	2,499	2,635

割引率が高くなるほど売上台数が増えている。1612 ÷ 1465 = 1.100…、1773 ÷ 1612 = 1.099…、1950 ÷ 1773 = 1.099…と、約1.1倍で推移しているの、【?】は、

$$1950 \times 1.1 = 2145 \text{台}$$

【別解】何台増えているかを見ると、

$$1612 - 1465 = 147 \text{台増}$$

$$1773 - 1612 = 161 \text{台増}$$

$$1950 - 1773 = 177 \text{台増}$$

↖ 14台増

↖ 16台増

約15台ずつ増えていて、40%→50%の場合も約15台増になると推測できる。

$$1950 + 177 + 15 = 2142 \text{台}$$

選択肢では2145台。

※14台→16台と2台増えているので、次は18台増えると考えて、1950 + 177 + 18 = 2145台としても正答できる。

表の空欄推測は「推測できる最も近い選択肢」を選ぶテストなので、ほとんどの問題は正確な数値まで求める必要はない。

208 【226 百円】

【ユニフォーム見積書】

	店舗A	店舗B	店舗C	店舗D	店舗E	店舗F
エプロン (枚)	3	6	0	1	25	2
シャツ (枚)	3	2	10	1	25	2
帽子 (枚)	5	1	10	1	0	10
小計 (百円)	288	150	540	84	400	452
値引き額 (百円)	86.4	30	270	8.4	200	?
見積金額 (百円)	201.6	120	270	75.6	200	

値引き額が大きいCとEは小計も大きく、
値引き額が小さいBとDは小計も小さい。
値引き率（値引き額÷小計）を求める。

値引き率は、値引き額が少ない順に

D… $8.4 \div 84 = 0.1 \rightarrow 10\%$ 引き

B… $30 \div 150 = 0.2 \rightarrow 20\%$ 引き

A… $86.4 \div 288 = 0.3 \rightarrow 30\%$ 引き

E… $200 \div 400 = 0.5 \rightarrow 50\%$ 引き

C… $270 \div 540 = 0.5 \rightarrow 50\%$ 引き

小計が400円以上の場合は値引き額が50%
だと推測できる。よってFの値引き額は、
 $452 \times 0.5 = 226$ 百円

209 【27,200万円】

【LED照明の出荷個数と出荷額】

	2010年	2013年	2016年	2019年	2022年
出荷個数(万個)	80	85	90	70	85
出荷額(万円)	48,000	42,500	37,800	25,200	?
従業員数(人)	128	119	105	104	93

出荷個数が増えるにつれて出荷額も増えるという関係になっていない。また、年ごとに規則的に増減しているわけでもないの、他の要因があると推測する。従業員数と出荷額も相関関係がないので、**出荷個数と出荷額の関係**だけを考える。

そこで、出荷額を出荷個数で割って、1万個あたりの価格を算出してみる。

出荷額÷出荷個数(万個) = 1万個あたりの価格

2010年… $48000 \div 80 = 600$ 万円

2013年… $42500 \div 85 = 500$ 万円

2016年… $37800 \div 90 = 420$ 万円

2019年… $25200 \div 70 = 360$ 万円

1万個あたりの価格は100→80→60と20万円ずつ下がっている。よって2022年の価格は、2019年の360万円から60-20=40万円下がった320万円になると推測される。出荷額は、

$320 \times 85 = 27200$ 万円

※難易度が高く、解くのに時間がかかる問題。
1分くらい考え、解けそうにないと感じた場

合、当て推量で回答して次へ進むこともテクニックの1つ。1つの問題に時間をかけすぎないことを意識するとよい。

210 【15.7万円】

【テニス用品見積書】

	Pチーム	Qチーム	Rチーム	Sチーム	Tチーム	Uチーム
ラケット①(本)	8	4	0	8	8	4
ラケット②(本)	0	4	8	0	0	4
ボール30個入り①(袋)	1	1	1	0	0	0
ボール30個入り②(袋)	0	0	0	1	1	1
ラケットケース6本用①(個)	2	2	0	2	0	0
ラケットケース6本用②(個)	0	0	0	0	2	2
ラケットケース6本用③(個)	0	0	2	0	0	0
見積金額(万円)	11.4	13.4	18.4	12.5	13.7	?

PとQ、TとUは、それぞれラケット①と②の本数が違うだけであることに着目する。

P…ラケット①が8本

Q…ラケット①が4本+ラケット②が4本
見積金額は、 $13.4 - 11.4 = 2$ で、Qが2万円高い。

QはPよりラケット①が4本少ないが、ラケット②が4本多いことで、見積金額が2万円高くなっている。

TとUの関係でも、UはTよりラケット①が4本少ないが、ラケット②が4本多い。

よって、Uの見積金額はTの13.7万円より2万円高くなることが推測できる。

Uの見積金額は、
 $13.7 + 2 = 15.7$ 万円

※「表の空欄推測」の練習問題と模擬テストは、実際のテストと同じく、先に進むほど難しくなっています。

一般企業で6割(21問)程度、人気企業で7割以上(25問)が合格点の目安です(企業ごとに合格点は異なります)。制限時間内で合格点に届くようになるまで、繰り返し挑戦してみましょう。

1

1【A】

「挫折」「失敗」で長文を検索すると、11行目「勝負事において常に勝ち続けるのは不可能である。勝つ日もあれば、負ける日もある。勝ったり負けたり繰り返したと思えば落ち込むこともない。もちろん、強い相手と対戦して挫折を味わったり、失敗続きでスランプに陥ったり、どうしてもなく辛い経験もたくさんある」とある。

→文脈の論理から明らかに正しい。または正しい内容を含んでいる。

2【B】

「大人」と「子ども」の関係が出ている箇所を検索する。

17行目に「自分の欲求を抑えて大人が喜ぶことを優先する子どものことで、ほめられ続けて挫折も失敗もなく成長した結果、自分の意思が育たず、他人の指示がなければトラブル対処の方法もわからなくなる」とある。

文意からも競争社会に適應できる能力があるとはいえない。

→文脈の論理から明らかに間違っている。または間違った内容を含んでいる。

3【C】

「冷静さ」で検索すると長文のどこにも冷静さに該当する語句は見当たらない。

→問題文の内容だけからでは、設問文は論理的に導けない。

4【C】

「順位付け」については第1段落に書かれている。

「ずいぶん前に、小学校の運動会で徒競走の順位付けをしないという教育方針について世論が沸いたことがあった。昨今では棒倒しなど勝負のつく種目がなくなって、順位のつか

ない種目が増えてきているらしい。保護者からの要望も多いというが、すべての子どもたちに(見た目)平等で、公平にすべしという考えからなのだろう。しかし、価値観が多様化し、個性を伸ばすことが求められるこの時代に、それは逆行することになるのではないか」とある。

「順位付けを行うことは間違っている」とは本文には書かれていない。

→問題文の内容だけからでは、設問文は論理的に導けない。

2

1【A】

「長安」で検索する。

18行目「建築物をアイキャッチとする大規模な景観づくりは、中国の長安のそれを模倣した平城京や平安京」とあり、長安では都市計画に人工物をアイキャッチとして用いられていたことがわかる。

→文脈の論理から明らかに正しい。または正しい内容を含んでいる。

2【B】

「バロック都市計画」で検索する。

8行目「17世紀バロック時代に入ると、～放射状に道路を張り巡らせ、アイキャッチとなる建築物や広場、噴水や彫刻などがランドマークとして印象的に配置された。この概念を『バロック都市計画』と呼び、ローマで確立し各都市で展開されていった」とある。

19世紀後半からではない。

→文脈の論理から明らかに間違っている。または間違った内容を含んでいる。

3【C】

「透視図技法」については、7行目「ルネサンス時代初期から透視図技法による遠近感のある

均整のとれた構造が盛んに取り入れられた」とあるが、現在についてはどこにも書かれていない。

→問題文の内容だけからでは、設問文は論理的に導けない。

4 [C]

設問の考えは本文には書かれてない。

→問題文の内容だけからでは、設問文は論理的に導けない。

3

1 [A]

「**考えることや苦勞**」で検索すると、4行目「自分で何も**考えず**、**苦勞**しないで成功するためにマニュアルに従い、自発的に何かをやるうという活力が感じられない」とある。

→文脈の論理から明らかに正しい。または正しい内容を含んでいる。

2 [B]

「**軽視**」で検索すると、8行目「マニュアル自体を**軽視**するような風潮もあるらしい。『型通り、ばか正直にやらなくても大丈夫だろう』『少しくらい手抜きしても構わないだろう』という意識から、確認不足やいいかげんな作業が増えている」とある。

「マニュアル依存をよしとしない姿勢から」の軽視ではないことがわかる。

→文脈の論理から明らかに間違っている。または間違った内容を含んでいる。

3 [C]

12行目「マニュアルとは、個人の技量に依存せず、誰でも同様に良質な業務ができるように手順やルールなどをまとめたものである」とあるが、「基礎だけでなく、応用までを網羅したマニュアルがあれば、ミスは起こらない」とは、どこにも書かれていない。

→問題文の内容だけからでは、設問文は論理的に導けない。

4 [C]

「マニュアルは不要になる」とは、本文には書かれてない。

→問題文の内容だけからでは、設問文は論理的に導けない。

4

1 [B]

「**理解することはできない**」で検索すると、4行目「『キリスト教徒でない人には、それらの文化や美術作品を本当に**理解することはできないのでは？**』と、疑問を抱く人がいるかもしれません。でも私は、そうは思いません」とある。

→文脈の論理から明らかに間違っている。または間違った内容を含んでいる。

2 [A]

「**思い違い**」で検索すると、11行目「キリスト教美術をより深く理解するためには、『**受胎告知**』や『**東方の三博士**』など、**基礎的な知識は必要**でしょう。知らなければ勝手な**思い違い**をしてしまうこともあります」とある。

→文脈の論理から明らかに正しい。または正しい内容を含んでいる。

3 [C]

本文のどこにも書かれていないので導けない。

→問題文の内容だけからでは、設問文は論理的に導けない。

4 [C]

本文のどこにも書かれていないので導けない。

→問題文の内容だけからでは、設問文は論理的に導けない。

※「論理的読解」は、本文の記載を基準に選択肢を判断しましょう。

本文に記載があればA、誤っていればB、記載がなければCを選びます。

5

1【B】「一人っ子は独立心、自立心が強いという研究結果がある。」

10行目に「一人っ子の方が一人っ子ではない子に比べて、独立心、自立性が強いという研究結果もある」とある。

本文に記載はされているが、趣旨ではないのでB。

2【A】「一人っ子はわがままであるという固定観念のある面接官に出会ったら、入社を考え直したほうがよい。」

最後の14行目「一人っ子はわがままでという固定観念を持つ面接官に出会ったら、入社することを再検討したほうがよい」とある。

これが趣旨なのでA。

3【B】「一人っ子はわがままで思い込んでいる本人自身が一人っ子であるケースがある。」
5行目に「そう思い込んでいる本人が一人っ子だったりする」とある。

本文に記載はあるが、趣旨ではないのでB。

4【C】

「一人っ子＝わがままという固定観念は危険なので持つべきでない。」

「危険なので持つべきではない」とは本文に書かれていないのでC。

3行目に「思い込みは非常に厄介だ」とあるので、Bと迷うかもしれないが、「危険なので持つべきでない」とまではいっていない。

※このように、長文に書かれていない内容を含む選択肢は、「C この文章とは関係ないことが書かれている」を選択する。

「趣旨判定」のC「この文章とは関係ないことが書かれている」は誤解しやすい選択肢。

「関係ないことが書かれている」というよりも、「長文に書かれていない内容を含む」または「長文と違う内容が書かれている」という意味だと

捉えて回答するとよい。

6

1【C】「緊張感に襲われるのは、事前の準備が足りないためである。」

6行目「緊張をほぐすには綿密な準備が必要である」に続けて、9行目に「それでも緊張感に襲われることがあるかもしれない」とある。

つまり、「事前の準備をしていても緊張感に襲われることがある」ということを述べている。

「緊張感に襲われるのは、事前の準備が足りないためである」とは本文には書かれていない。よって、C。

2【A】「緊張感言葉にして相手に伝えることで和らぐものだ。」

この文章の趣旨は、13行目の「緊張している」と口にすることで緊張がほぐれる」ということなのでA。

3【C】「面接官は寛容なので、応募者の緊張を理解して助けてくれる。」

15行目に「寛容な面接官」という言葉はあるが、「面接官は寛容なので、応募者の緊張を理解して助けてくれる」とまでは、本文には書かれていないのでC。

4【B】「緊張のしすぎは目標達成の妨げになることがある。」

4行目にある「過剰な緊張感心身にマイナスの影響を及ぼし、思わしくない結果を生み出す」の言い換えなので、長文に書かれている内容といえる。

しかし、筆者が一番訴えたいこととはいえないのでB。

7

1【B】「最近の若者は対人経験の不足に伴って、視線耐性が低下している。」

「視線耐性の低下」については、12行目に書かれているが、筆者が一番訴えたいこととはいえないのでB。

2【A】「面接では、面接官と目線を合わせる事が大切だ。」
7行目「最も重要視するのは『目を見て話せるかどうか』である」。

15行目「面接中には面接官と目線を合わせるようにしてほしい」

以上より、趣旨だといえるのでA。

3【C】「人と人とのコミュニケーションには視線が不可欠である。」

4行目「中でも視線は大きな役割を果たしており、視線の向け方次第で会話を円滑に進めることもできれば、打ち切る方向にもっていくこともできる」とはあるが、「視線が不可欠」とは本文には書かれていないのでC。

4【C】「面接官の目を凝視するのはやめたほうがよい。」

16行目「にらみつけるように凝視し続ける必要はない」とは書かれているが、「凝視するのはやめたほうがよい」とは本文には書かれていないのでC。

8

1【B】「自己PRにはインパクトのあるエピソードはなくてもよい。」

11行目「しかし、自己PRに派手なエピソードが必要だろうか～不要である」とある。
本文に書かれているが趣旨ではないのでB。

2【A】「学業についてのエピソードが自己PRに最適である。」

15行目「学業についての話こそ自己PRに適している」、21行目「ぜひ安心して学業をPRしてほしい」とある。

これが本文の趣旨なのでA。

3【C】「新型コロナウイルス禍が、自己PRできない学生を輩出した。」

「自己PRできない学生」については、本文には

書かれていないのでC。

4【B】「自己PRに必要なとなるのは、人柄や能力、価値観がうかがえるエピソードである。」
企業が必要としているのは、13行目に「人柄や能力、価値観がうかがえるエピソード」だと書かれている。

しかし、筆者が一番訴えたいこととはいえないのでB。

※「趣旨判定」は、以下の手順で解くことをおすすめします。

- ①長文の趣旨を記憶するよう集中して速読する。
- ②内容が頭にあるうちに4つの設問文を読み、長文に書かれていない内容を含む設問文はCを選択する。
- ③残った設問文が趣旨か否かを判定する。
一方で、「4つの設問文を読んでから長文を読む方が素早く判断できる」という方もいます。
どちらの方法でも、自分の解きやすい解法を決めて本番に臨みましょう。

1

1 [C] "a hundred pounds" を検索する。
7行目：Working at a restaurant is a popular choice among British students. They can sometimes earn over a hundred pounds per night in tips from serving customers. (レストランでの仕事は、イギリスの学生の間で人気の選択肢です。時には、彼らは顧客にサービスを提供することで、一晩に100ポンド以上のチップを稼ぐこともあります) 正解はCの「飲食店で働く」。

2 [B] "international students" を検索すると、10行目に以下の記載がある。
job opportunities for international students are usually limited to on-campus

positions, like working in the library (留学生のための仕事の機会は通常、図書館での勤務など、キャンパス内のポジションに制限されており)

よってB「キャンパス内の図書館で」が正解。

3 [D] "enough money" で文章を探すと、言い換えている"sufficient funds"が見つかる。

2行目：Those without sufficient funds for their studies often look for summer jobs to save for the next academic year. (学業に十分な資金がない人は、来年度に備えて夏の仕事を探すことがよくあります。)とある。これにより正解はDの「夏は仕事をして過ごす」。

①【和訳例】イギリスの大学生は夏の数カ月をさまざまな方法で過ごします。学業に十分な資金がない人は、来年度に備えて夏の仕事を探すことがよくあります。多くの学生は、親からの経済的な援助に頼らず、自立することを選択します。

レストランでの仕事は、イギリスの学生の間で人気の選択肢です。時には、彼らは顧客にサービスを提供することで、一晩に100ポンド以上のチップを稼ぐこともあります。しかし、留学生のための仕事の機会は通常、図書館での勤務など、キャンパス内のポジションに制限されており、通常は最低賃金よりわずかに高い給与が支払われます。

一部の学生にとって、海外の集中プログラムは夏を最大限に活用する魅力的な選択肢です。これらのプログラムには、イタリア美術史、カリブ海の海洋生物学、中国言語と文化、エジプト考古学など、さまざまなユニークでエキサイティングなプログラムが含まれています。これらのプログラムは通常の授業よりも実践的な経験を提供することがよくあります。

学位を早期に取得したい意欲的な学生は、卒業に向けて追加の単位を取得するために夏のコースに登録することができます。通常の学士号プログラムは3年間を想定していますが、夏期講習を活用することで、2年半またはそれ以下で卒業することも可能です。

1 学生が一晩で100ポンド以上稼ぐ方法はありますか？

- A 図書館で働く
- B キャンパス内の仕事
- C 飲食店で働く
- D 最低賃金より少し高い賃金で働く
- E 魅力的な集中プログラムに参加する

2 留学生は通常、どこで働くことができますか？

- A キャンパスの外で
- B キャンパス内の図書館で
- C レストランで
- D 大学で海外集中プログラムの講師として
- E レストランで郷土料理の料理人として

3 イギリスの大学生は、勉強を続けるのに十分なお金がない場合は…

- A 親に経済的に依存している
- B 奨学金試験に合格しようとする
- C 2年半で卒業しようとする
- D 夏は仕事をして過ごす
- E 海外集中プログラムを受講する

2

1 【E】文章の趣旨を問う問題。本文の最初の行から読むとよい。3行目にWe assume your preparations for your trip to Tibet are well underway. (チベットへの出発の準備は順調に進んでいると思います) とあるので、チベツツアー参加者宛に数日前に送付されていると推測でき、Eが正しい。他の選択肢は以下の理由で明らかに間違い。

- A 参加者宛なのでメルマガではない
- B 政府からではなくチベツ探検家によって送られている
- C 参加者は準備を進めているので、申し込んだ当日ではない
- D 参加者に事前にチベツの気候を伝えていいる。到着当日には送付していない。

2 【B】"environment"で検索する。

7行目にTibet is known for its harsh and

challenging natural environment. (チベツは過酷で挑戦的な自然環境で知られている) とあり、その後詳細が記されている。

Bのnatural environmentが正解。

なお、Aについては、文章にはチベツに未踏 (unexplored) の地が多いとは書かれていないので、文章からは判断ができない。

3 【C】アドバイスを文章から探す。

18行目: it is essential to come prepared, especially with appropriate clothing such as hats, thin long-sleeved shirts, sunglasses, and sunscreen. (特に帽子・薄手の長袖シャツ・サングラスなどの服装や日焼け止めなど、しっかりとご用意ください)

日焼け止めを持参するように言っているのでC。

②【和訳例】

チベツへの出発の準備は順調に進んでいると思います。

チベツは過酷で挑戦的な自然環境で知られているため、健康と旅の準備が不可欠であることについてお知らせいたします。

まず、空気は非常に乾燥しており、この時期の湿度レベルは通常約25%です。さらに、チベツでは夏と冬を同じ日に経験すると言われるほど、1日の気温差が大きいです。また、標高3600m以上では、日差しが非常に強く、酸素濃度は東京の3分の2しかありません。

以上の点を考慮し、特に帽子・薄手の長袖シャツ・サングラスなどの服装や日焼け止めなど、しっかりとご用意ください。

同時に、ほとんどの時間持ち歩く必要があるため、荷物は最小限に抑えるようにしてください。

敬具

チベツ探検家

1 この通知が送信されている可能性が高いのは…

- A メルマガによって
- B チベツ政府によって
- C 参加者が旅行に申し込んだ日に
- D チベツ到着後、ツアーガイドより

E 出発の数日前に

2 チベツの環境はなぜこれほどまでに厳しいのか。

- A 未踏の土地が多いから
- B 自然環境ゆえに
- C 住んでいる人が少ないから
- D 地方自治体の努力が足りないから
- E 過度の開発のため

3 次のうち、チベツ探検家からの正しいアドバイスはどれか？

- A 心臓疾患のある参加者は、ツアーバスにとどまる必要がある。
- B 参加者全員が健康診断を受ける必要がある。
- C 参加者は、日焼けから身を守るために役立つものを持参するべきだ。
- D 参加者はできるだけ多くの服を持っていく必要がある。
- E 参加者は、酸素ボンベを装備する必要がある。

3

1 【C】 ホテルで提供しているサービスを探す。16行目に If you would like to **exercise** at the hotel, we have a swimming pool, a fitness gym, and ten tennis courts, all available for free. (ホテルで運動したい場合、当ホテルには無料でご利用いただけるプール、フィットネスジム、テニスコート10面があります) とあり、**exercise** を do some physical activities で、言い換えているCが正解。

2 【B】 "tour" と "included" で検索する。1行目に Our three-day **tour** package **includes** transportation from Sydney Central Station to the hotel, hotel accommodation, breakfast every day except the first, and dinner every day except the last.

(当社の3日間ツアーパッケージには、シドニー中央駅からホテルまでの交通費、ホテル宿泊費、初日以外の毎朝の朝食費、最終日以外の毎晩の夕食費が含まれています) とある。含まれないのはBの「ホテルから観光地までの交通費」。

3 【C】 "tennis" で文章を検索する。19行目に以下の記載がある。There is no need to reserve anything in advance except for the **tennis** courts. (テニスコート以外は事前予約が不要です。) つまりテニスコートは予約が必要となる。よって答えはC「事前にテニスコートを予約する」。

◎【和訳例】

当社の3日間ツアーパッケージには、シドニー中央駅からホテルまでの交通費、ホテル宿泊費、初日以外の毎朝の朝食費、最終日以外の毎朝の夕食費が含まれています。朝食後、夕食までは自由時間となります。

また、オプションツアーもご用意していますので、ご興味のある方は詳細をお問い合わせください。ツアーに参加を希望される場合は、前日までに予約していただければと思います。

自分で観光するのも素晴らしいアイデアです。この地域には多くの観光名所があります。レンタカーをご利用いただくことも可能です。ホテル周辺の電車やバスの時刻表についての情報が必要な場合は、お気軽にお問い合わせいただければ幸いです。

ホテルで運動したい場合、当ホテルには無料でご利用いただけるプール、フィットネスジム、テニスコート10面があります。テニスコート以外は事前予約が不要です。テニスをする場合は、コートの利用可能状況についてフロントデスクのスタッフにお問い合わせください。

1 ホテルで楽しめるサービスは次のうちどれか？

- A 無料の映画を見る
- B マッサージを受ける
- C 運動をする
- D ゴルフをする
- E アーケードゲームで遊ぶ

2 ツアーに含まれないのはどれか？

- A シドニー中央駅からホテルまでの交通費
- B ホテルから観光地までの交通費
- C ホテルの料金
- D 2日目の朝食の料金
- E 2日目の夕食の料金

3 もしホテルでテニスをしたい場合、どうすればよいか？

- A 前払いをする
- B ツアー会社に事前に尋ねる
- C 事前にテニスコートを予約する
- D ツアー会社に利用可能なことを知らせる
- E テニスシューズを持ち込む

4

1 [D] "bingo"を文章から探す。

23行目にWe have already distributed bingo sheets at the reception desk.

If you did not receive one, please approach a staff member wearing a badge. (ビンゴシートはすでに受付で配布しました。お持ちでない方はバッジをつけたスタッフにお声がけください) とあるので、答えはD「スタッフに話しかける」。

2 [E] 19行目に記載されている文がヒントになる。

these prizes include our latest products: a handy cleaner, a DVD player, a digital camera, and more (景品はハンドィクリーナーやDVDプレイヤー、デジタルカメラなど我が社の最新商品です) がヒントとなる。

この会社はEの家電メーカーと想定できる。難しい単語があっても、DVDやcameraなど簡単な単語から答えを導ける。

3 [D] 10行目のthere are some seats available at the back of the room (部屋の奥にはいくつかの座席がございます)、12行目のyou can find alcoholic beverages at the bar counter, conveniently located near the seating area. (バーカウンターではアルコール飲料をご用意しております。カウンターは座席エリアの近くにありますが)

以上の情報により、アルコール飲料はバーカウンターにあり、そのバーカウンターは部屋の奥の座席エリアで手に入ることがわかる。正解はD「部屋の奥で」。

④【和訳例】 ご列席の皆様、10周年記念パーティーへようこそ！本日は司会を務めさせていただきます。

まず、社長からのメッセージをお伝えします。

「皆様のご協力のおかげで、当社はここまで成長することができました。感謝の気持ちを込めて、このパーティーを開催いたします。皆様楽しんでいただければ幸いです。」

次に、このパーティー会場について説明させていただきます。立食形式の食事会ですが、部屋の奥にはいくつかの座席がございます。お座りになりたい方はご自由にお使いください。食事は両側の壁に面したテーブルで提供されます。バーカウンターではアルコール飲料をご用意しております。カウンターは座席エリアの近くにあり、ご希望に応じてバーテンダーが飲み物をご用意します。

パーティーの途中で、ビンゴゲームを行います。先着20名様にビンゴ大会の景品をご用意しております。景品はハンドィクリーナーやDVDプレイヤー、デジタルカメラなど我が社の最新商品です。お見逃しなく！

ビンゴシートはすでに受付で配布しました。お持ちでない方はバッジをつけたスタッフにお声がけください。

皆様、パーティーをお楽しみください。ご来場いただきありがとうございます。ありがとうございました。

1 ビンゴシートを持っていない場合はどうすればよいか？

- A 受付で参加費を支払う
- B 他の参加者に尋ねる
- C 部屋の中を探る
- D スタッフに話しかける
- E バーでバーテンダーに聞く

2 彼らはどのようなビジネスをしていると考えられるか？

- A 食品メーカー
- B 飲料メーカー
- C 家庭用家具の販売業者
- D ゲーム会社
- E 家電メーカー

3 お酒はどこで手に入るか？

- A 壁際のテーブルの上
- B 部屋の真ん中で
- C 受付近くのカウンターにて
- D 部屋の奥で
- E 出口の近くで

1

1 [B] "common food" (日常の食べ物) で検索をする。

8行目に cheese was not always a **common everyday food** until the modern era. (チーズは近代まで日常の食べ物ではなかった) とある。つまり、チーズが日常の食べ物になったのは近代からで、古代からではないので B。

2 [C] チーズがどの動物から作られてきたかに関する記述はどこにもない。文章からは判断できないので C。設問文の goat (ヤギ) と cow (牛) がわからない場合でも、動物の名前だという推測をして回答をする。

3 [A] 9行目に in ancient Greece, cheese was offered as a sacrifice to the gods (古代ギリシャでは、チーズは神々への供物として使用され) とある。文章と一致するので A。本文の sacrifice (供物) が、設問文では sacred offering (神聖なお供物) に言い換えられている。

①【和訳例】

次の文を読み、それに続く各設問文に最も適した説明を選びなさい。

チーズは、栄養価が高いが長期保存や持ち運びには向かない動物の乳を摂取するための代替手段として発明されたと考えられている。多くの証拠が示しているように、人々が紀元前からチーズを食べていたことがわかっている。

しかし、**チーズは近代まで日常の食べ物ではなかった**。例えば、**古代ギリシャでは、チーズは神々への供物として使用され**、古代ローマでは、チーズは上流階級の味覚を喜ばせる贅沢な珍味であった。古代ローマ人は、特に今日のフランスを含む植民地にチーズを広める上で大きな役割を果たした。

日本では、明治維新後に近代的なヨーロッパスタイルのチーズが導入されたが、その人気が高まったのは、第二次世界大戦後、人々の生活様式が西洋化され、生活水準が向上したときであった。

A: 本文に含まれる情報または主張により、設問に書かれている内容は明らかに正しい、または論理的に導くことができる。

B: 本文に含まれる情報または主張により、設問に書かれている内容は明らかに誤っている、または逆のことを述べている。

C: 追加の情報がなければ、設問に書かれている内容が正しいか間違っているか、または論理的に導けるかどうかを判断できない。

1 チーズは古代から日常の食べ物であった

2 古代では牛ではなくヤギのミルクでチーズを作るのが一般的だった。

3 古代ギリシャでは、神聖なお供え物としてチーズを神々に捧げた。

2

1 【A】設問の"spending time with family"で検索をする。11行目にpeople typically spend it with their families. (人々は通常、これらの休暇を家族と過ごす)が見つかる。設問文は正しいのでA。

2 【C】高速道路に関する記載はどこにもない。本文からは判断できないのでC。本文に書かれているかいないかが判断の基準になる。

※実際に韓国の旧正月で高速道路が混雑するという事実を知っていたとしても、Aを選ぶと誤答になるので注意しよう。自分の知識や常識で推測して回答せず、文章に記載があるかどうかだけで判断することが重要になる。

3 【B】"solar calendar"がキーワード。1行目にIn Korea, they celebrate the 'New Year' twice because they follow

both the solar calendar and the traditional lunar calendar (韓国では、韓国人が太陽暦と伝統的な太陰暦を参照するため、「新年」は2回祝われる)と記載がある。設問文は「韓国人は太陽暦だけを参照するため、新年を2回祝う」だが、「韓国人は太陽暦と太陰暦を参照するため、新年を2回祝う」が正しい。

設問文は正しくないのでB。

②【和訳例】

次の文を読み、それに続く各設問文に最も適した説明を選びなさい。

韓国では、韓国人が太陽暦と伝統的な太陰暦(他の多くのアジア諸国で一般的に使われる)を参照するため、「新年」は2回祝われる。

旧正月の日付は、太陽ではなく月の周期に基づく旧暦に基づいているため、毎年異なる。通常は1月の終わりか2月の初め頃である。韓国では、お祝いのために3日間の旧正月の休暇がある。人々は通常、これらの休暇を家族と過ごす。また、愛する人たちと一緒に特別な食事や挨拶を交わすという習慣もある。

一方、太陽正月の祝日は1日のみ。この日も営業しているお店があり、興味深いことに、多くの日本人観光客が熱心に買い物を楽しんでいる様子が見られる。

A：本文に含まれる情報または主張により、設問に書かれている内容は明らかに正しい、または論理的に導くことができる。

B：本文に含まれる情報または主張により、設問に書かれている内容は明らかに誤っている、または逆のことを述べている。

C：追加の情報があれば、設問に書かれている内容が正しいか間違っているか、または論理的に導けるかどうかを判断できない。

1 家族と過ごすことは、韓国では旧正月を祝う典型的な方法である。

2 韓国では旧正月休暇では、高速道路が大混雑する。

3 韓国人は太陽暦だけを参照するため、新年を2回祝う。

3

1 [B] "fresh water" で検索して該当箇所を探す。

5行目にある以下の文章と設問文を照らし合わせる。

Many books suggest that a portion of the water should be replaced with **fresh water** every week. However, if you have a good filtration system that keeps the water circulating well, it does not tend to become overly dirty. (多くの本では、毎週ある一定の水を捨てて、新しい水と交換する必要があると説明している。しかし、優れたろ過装置で水がうまく循環していれば、水はそれほど汚れない)

筆者は、毎週水の入れ替えをする必要はないと述べている。明らかに誤っているのでB。

※「さらに、頻繁な水の交換は…」以降の文もヒントになる。

2 [A] "food"に関する記載を探す。

18行目にFurthermore, be mindful not to overfeed the fish, as leftover **food** is a significant source of water pollution. (さらに、**食べ残しは水質汚染の主な原因となるため、魚に餌を与えすぎないこと**)とある。設問文と一致するのでA。

3 [C] "yellowish"と"two weeks"を検索する。16行目にTherefore, in reality, it is better to consider changing the water only when it starts to look **yellowish**.

(従って、実際には、水が黄色くなり始めたときにのみ水を交換することを検討する必要がある)と書いてあるが、それが2週間とはどこにも述べていない。文章からはわからないので正解はC。

Cを選ぶ判断基準をしっかりと理解しよう。

◎【和訳例】

次の文を読み、それに続く各設問文に最も適した説明を選びなさい。

私の経験に基づくと、熱帯魚(淡水魚)を飼うことについては、ある種の誤解があるようだ。

多くの本では、毎週ある一定の水を捨てて、新しい水と交換する必要があると説明している。しかし、優れたろ過装置で水がうまく循環していれば、水はそれほど汚れない。

さらに、頻繁な水の交換は、アンモニアなどの有害物質を分解するのに役立つ細菌の成長を妨げる可能性がある。その結果、本来の意図とは反対に、透明な水でも魚たちにとっては汚染された環境になってしまうことがある。

従って、実際には、水が黄色くなり始めたときにのみ水を交換することを検討する必要がある。さらに、食べ残しは水質汚染の主な原因となるため、魚に餌を与えすぎないこと。

A: 本文に含まれる情報または主張により、設問に書かれている内容は明らかに正しい、または論理的に導くことができる。

B: 本文に含まれる情報または主張により、設問に書かれている内容は明らかに誤っている、または逆のことを述べている。

C: 追加の情報がなければ、設問に書かれている内容が正しいか間違っているか、または論理的に導けるかどうかを判断できない。

1 毎週ある一定の水を捨てて、新しい水を水槽に注ぐ必要がある。

2 魚に与えるエサの量に気をつけることが大切である。

3 熱帯魚がいる水槽の水は、2週間経つと黄色くなる。

4

1 【C】 "Catherine de Medicis" に関する記載を探す。

11行目にLater, in the 16th century, an Italian, **Catherine de Medicis**, married a French King and brought renowned Italian chefs to France. (のちに、16世紀にイタリア人のカトリーヌ・ド・メディシスがフランスの王と結婚し、著名なイタリアのシェフたちを連れてきた) とあるが、カトリーヌ・ド・メディシスが中国料理を愛用したかどうかの記載はない。さらに詳しい情報がないと判断ができないので、Cが答えになる。

2 【A】 "Chinese", "influence", "cuisine"で検索すると、6行目にItaly, the dominant Mediterranean culture of that time, absorbed **Chinese influences** and blended them with Oriental cultures to

create its unique **cuisine**. (当時、最も有力な地中海文化であったイタリアは、中国文化を主に受け入れ、東洋文化と融合させて独自の料理スタイルを発展させた) とある。

これにより、イタリア料理が中国料理に影響を受けたことがわかるのでA。

3 【C】 "criteria" (基準)、"court cuisine" (宮廷料理) で文章を探してもどこにも書いていない。本文に「世界三大料理は、宮廷料理であったか否か〜で選ばれている」という記載はないので答えはC。

※「本文に記載があるかどうか」で判断をする。歴史的な事実や、一般的に正しいことでも、本文に述べられていなければCを選ぶ。

④【和訳例】

次の文を読み、それに続く各設問文に最も適した説明を選びなさい。

世界の三大料理と言われているのは中国料理、トルコ料理、フランス料理である。

歴史的に言えば、中国料理はシルクロードを経て地中海地方に伝わり、トルコはルートの要所として重要な役割を果たした。そして、当時、最も有力な地中海文化であったイタリアは、中国文化を主に受け入れ、東洋文化と融合させて独自の料理スタイルを発展させた。

のちに、16世紀にイタリア人のカトリーヌ・ド・メディシスがフランスの王と結婚し、著名なイタリアのシェフたちを連れてきた。これにより、優れたフランス料理が発展し、今日の人々に楽しまれているのである。

A：本文に含まれる情報または主張により、設問に書かれている内容は明らかに正しい、または論理的に導くことができる。

B：本文に含まれる情報または主張により、設問に書かれている内容は明らかに誤っている、または逆のことを述べている。

C：追加の情報がなければ、設問に書かれている内容が正しいか間違っているか、または論理的に導けるかどうかを判断できない。

1 中国料理はカトリーヌ・ド・メディシスが愛用した。

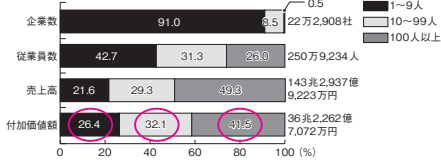
2 イタリア料理は、中国料理に影響を受けた。

3 世界三大料理は、宮廷料理（王室で提供された料理）であったか否かということが基準で選ばれている。

100%とすると平成16年の84532kmは
106%に相当する。よって、平成15年の自
 転車歩行者道は、
 $84532 \div 1.06 = 79747.1 \dots \rightarrow 79747\text{km}$

⑤ [0.7倍]

【飲食サービスの従業員規模別構成比】



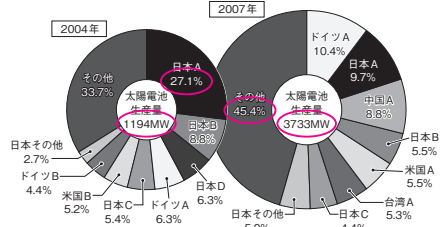
従業員100人以上の付加価値額は1~99人の
 何倍かを求める。従業員100人以上の付加価
 値額は**41.5%**。従業員1~99人の付加価値
 額は、グラフの「■1~9人」と「□10~99人」
 の合計で、
 $26.4 + 32.1 = 58.5\%$

$41.5 \div 58.5 = 0.70 \dots \rightarrow$ **約0.7倍**

【即解】従業員100人以上が約**42%**で、従業
 員1~99人は残る**58%**なので、 $42 \div 58 =$
 $0.72 \dots \rightarrow$ **約0.7倍**

⑥ [6.3X]

【世界の太陽電池主要メーカーのシェア】



2004年の「日本A」の生産量をXとおくと、
 2007年の「その他」を除く生産量の合計はど
 のように表されるか。2004年の「日本A」の
 生産量は、

$1194 \times 0.271 = 323.574\text{KW}$

2007年の「その他」を除く生産量の合計は、
 $3733 \times (1 - 0.454) = 3733 \times 0.546$

$= 2038.218\text{KW}$

これをXで表すと、

$2038.218 \div 323.574 = 6.299 \dots \rightarrow 6.3X$

【即解】選択肢の数値が大きく離れているので、
 概算でよい。

2004年の「日本A」の生産量…

$1200 \times 0.3 = 360$

2007年の「その他」を除く生産量の合計…

$3700 \times 0.5 = 1850$

1850は**360**の約5倍 $\rightarrow 6.3X$

⑦ [1,170万円]

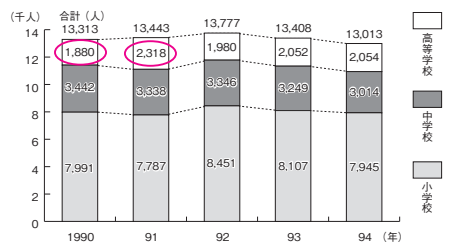
【A社の財務報告書の推移】

時期	暦年	社員数 (人)	売上高 (万円)	固定費 (万円)	利益 (万円)	製造減価率 (%)
↑ 高度成長期 ↓	1955年	311	28,691	24,852	2,605	41.1
	1960年	320	30,598	31,330	5,817	37.8
	1965年	323	65,141	49,335	10,951	36.2
	1970年	324	112,357	92,582	21,052	34.2
	1973年	326	165,860	116,992	33,942	30.1
↑ その後 ↓	1975年	331	273,152	166,032	49,522	30.0
	1980年	354	349,686	238,126	67,891	26.8
	1985年	379	444,846	289,489	84,103	25.7
	1990年	412	521,757	331,595	108,944	24.1

1985年の社員1人あたりの売上高を求める。
 1985年の売上高は**444846**万円で、社員数
 は**379**人なので、
 $444846 \div 379 = 1173 \dots \rightarrow$ **約1170万円**

⑧ [0.81倍]

【海外から帰国した子供たち】



1990年の高等学校の帰国子女数は**1880**人、
 1991年は**2318**人なので、
 $1880 \div 2318 = 0.811 \dots \rightarrow$ **約0.81倍**

⑨ 【イギリス】

1989年～1993年にかけて、失業率の増加

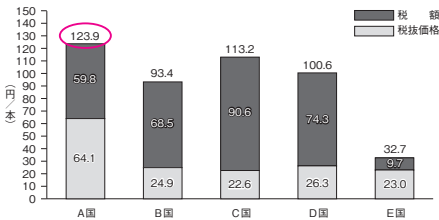
率が最も高い国を求め。選択肢の5カ国の1989年と1993年を見比べて、ほぼ横ばいの日本や1ポイント前後しか増加していないアメリカ、ドイツは候補から外す。残ったカナダとイギリスだけを計算する。
 カナダ：11.2 ÷ 7.5 = 1.49倍
 イギリス：10.4 ÷ 6.3 = 1.65倍
 よって、最も増加率が高い国はイギリス。

【失業率の国際比較】

国名	1989年	1990年	1991年	1992年	1993年
日本	2.3	2.1	2.1	2.2	2.5
アメリカ	5.3	5.5	6.7	7.4	6.8
カナダ	7.5	8.1	10.3	11.3	11.2
イギリス	6.3	5.8	8.1	9.8	10.4
ドイツ	7.9	7.2	6.3	6.6	8.2

⑩ 【0.83ドル】

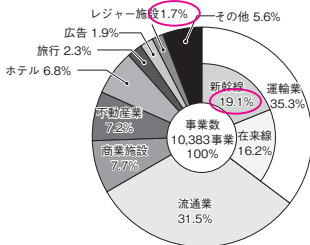
【各国タバコ価格比較 (1ドル=150円で換算)】



表の縦軸は1本あたりの円建て価格。A国のタバコ1本のドル建ての価格(税込み)を求め。A国は税込みで123.9円。
 1ドル = 150円で換算すると
 $123.9 \div 150 = 0.826 \dots \rightarrow 0.83$ ドル

⑪ 【19.1X/1.7】

【鉄道会社の事業数の状況】

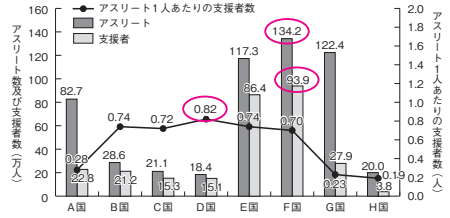


レジャー施設の事業数をXとすると、新幹線の事業数はどのように表されるか。数でなく

割合で求めればよい。レジャー施設は1.7%、新幹線は19.1%なので、新幹線はレジャー施設の事業数の19.1/1.7に相当する。レジャー施設をXとおくので、これをXにかける。
 $19.1/1.7 \times X = 19.1X/1.7$

⑫ 【19.7万人】

【アスリート1人あたりの支援者数】



D国のアスリート1人あたりの支援者数(以下支援者率)は、折れ線グラフより0.82人。F国の支援者は93.9万人なので、D国と同様の支援者率(0.82)になるには、アスリート数が $93.9 \text{万} \div 0.82 = 114.51 \text{万} \dots$
 \rightarrow 約114.5万人になればよい。
 F国のアスリート人数は134.2万人なので、
 $134.2 \text{万} - 114.5 \text{万} = 19.7 \text{万人}$

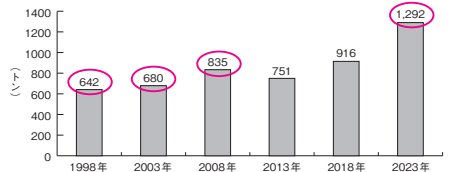
※間違いやすい問題。式で整理すると以下のようになる。

支援者数 ÷ アスリート数 = 支援者率
 支援者率0.82になるためのF国のアスリート数をXとすると、
 $93.9 \div X = 0.82$

求めたXと、F国のアスリート数の差が答え。

⑬ 【0】

【Y県のうめ収穫量の推移】



・2023年のY県のうめ収穫量は、2008年と比べおよそ2.01倍である。 \rightarrow 2023年は

1292で2008年は835。2倍ではない…×
 ・5年前と比べて150トン以上増加しているのは2018年と2023年のみである。

→2008年も、 $835 - 680 = 155$ トン増加している…×

・Y県のうめ収穫量が650トンを下回った年はない。→1998年は642トン…×

・2003年と2023年のうめ収穫量の比は、およそ5:8である。→2003年は680トン、2023年は1292トンで、 $680 : 1292$ 。 $680 \div 5 = 136$ 、 $1292 \div 136 = 9.5$ で、5:9.5になる…×

※ $680 \times 8/5 = 1088$ で、1292と離れた数なので×と考えてもよい。また、およそ2倍なので×と判断してもよい。正しく説明しているものは0個。

14 [E]

【運輸業種別実態調査の対象事業所数】

(単位: 所)

産業	企業規模	規模計	3,000人以上	1,000人以上 3,000人未満	500人以上 1,000人未満	100人以上 500人未満	50人以上 100人未満
1	運輸業計	10,005	1,537	1,250	1,201	4,232	1,785
2	倉庫業	40	0	A 15	8	6	11
3	運輸サービス業	E 806	140	111	C 109	221	225
4	鉄道業	BD 4,702	526	548	588	D 2,085	955
5	道路旅客運送業	1,914	455	255	204	686	314
6	道路貨物運送業	D 1,084	132	132	148	D 590	162
7	水運業	B 534	183	99	47	176	29
8	航空運輸業	925	101	90	97	548	89

「規模計」は各業種の事業所数の合計を表す。

・A…倉庫業では1000人以上3000人未満が最も多い【15】なので×

・B…鉄道業の規模計【4702】が水運業の規模計【534】より多いので×(正しくは約1/8.8倍)

・C…運輸サービス業で数が一番少ないのは、500人以上1000人未満【109】なので×

・D…鉄道業規模計【4702】に占める、100人以上500人未満【2085】の割合は50%に満たないが、道路貨物運送業の規模計【1084】に占める100人以上500人未満【590】の割合は50%を超えている。

鉄道業の割合の方が低いので×

・E…運輸サービス業の3,000人以上規模の

割合は $E : 140 \div 806 = 0.173 \dots \rightarrow$ 約17%
 (この時点で最も近いと判断しEを選択する)。
 他項目は、以下の通り17%とはいえない。

鉄道 $526 \div 4702 = 0.111 \dots \rightarrow$ 約11%

道路旅客運送 $455 \div 1914 = 0.237 \dots \rightarrow$ 約24%

道路貨物運送 $132 \div 1084 = 0.121 \dots \rightarrow$ 約12%

水運 $183 \div 534 = 0.342 \dots \rightarrow$ 約34%

航空運輸 $101 \div 925 = 0.109 \dots \rightarrow$ 約11%

【即解】E: $17\% \div 1/6$ なので、「3000人以上」を6倍して「規模計」と比較すると速い。

※「正しい選択肢を選ぶ」形式は、回答に時間がかかる問題が多い。回答目安の30秒を超えたら当て推量で選んで、次の問題へ進むほうが高得点につながる。

15 [50%]

【地区別小学校教員の男女比】

(単位: 人)

地区名	女性	男性
P地区	9,638	4,373
Q地区	7,894	5,014
R地区	4,007	1,987
S地区	3,996	1,698
T地区	1,902	983

T地区の男性教員数はR地区の男性教員数の何%かを求める。T地区の男性教員数は983

人で、R地区の男性教員数は1987人なので、 $983 \div 1987 = 0.494 \dots \rightarrow$ 約50%

【即解】選択肢が離れているので概算でもよい。1000人:2000人として約50%を選ぶ。

16 [1つ]

5つの年齢階層合計の有効求職者数の平成22~27年の6年間の平均を1とおくと、有効求職者数が0.85~1.15までの間にあてはまる年はいくつあるか。最初に、有効求職者数の6年間の平均を求める。

$(83183 + 85429 + 84148 + 74463 + 61021 + 43733) \div 6 = 71996.16 \dots$

→ 約71996人

これを1とおいたときの、0.85倍と1.15倍

の値を求めると、

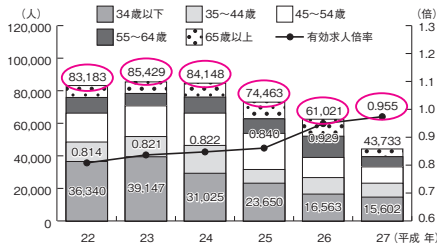
$$71996 \times 0.85 = 61196.6 \text{人}$$

$$71996 \times 1.15 = 82795.4 \text{人}$$

この間に入る年は、平成25年の**74463**人だけ。

よって答えは**1つ**。

【年齢階層別の有効求職者数】



17 [13.7%]

【電子計算器・同付属装置製造業の事業所数、従業員数、製造品出荷額】

年	事業所数 (件)	従業員数 (人)	製造品出荷額 (百万円)
1996	1,852	145,024	5,149,880
1997	1,813	152,990	6,007,903
1998	1,921	154,258	6,596,755
1999	1,955	160,723	7,632,118
2000	2,030	166,637	8,354,873
2001	2,041	164,852	8,760,751
2002	1,901	162,658	8,301,355
2003	1,776	160,238	8,296,638
2004	1,600	150,464	8,222,902
2005	1,569	146,665	8,358,646

従業員 1 人あたりの製造品出荷額(百万円)において、2005年は2000年と比較しておよそ何%増加したか。

従業員 1 人あたりの製造品出荷額 = 製造品出荷額 ÷ 従業員数

$$2000 \text{年} : 8354873 \div 166637 = 50.138 \dots$$

→ **約 50.14**

$$2005 \text{年} : 8358646 \div 146665 = 56.991 \dots$$

→ **約 56.99**

$$2005 \text{年} \div 2000 \text{年} = 56.99 \div 50.14$$

$$= 1.1366 \dots \rightarrow \text{約 } 113.7\%$$

増加分は、 $113.7 - 100 = 13.7\%$ 。

18 [E]

・A…比率が問われているので、ロス量ではなく割合のまま計算してよい。

$$\text{果実類 } 19.1\% \div \text{きのこ類 } 2.4\% = 7.95 \dots$$

→ 約 8.0 倍なので **×**

・B…年ごとの内訳はわからないので **×**

$$\text{C} \dots \text{前年度食品ロス量} = 105797 \div 1.072 = 98691.23 \dots$$

→ およそ 98691t なので **×**

・D…調査対象は家庭の食品ロス量。日本全体ではないので **×**

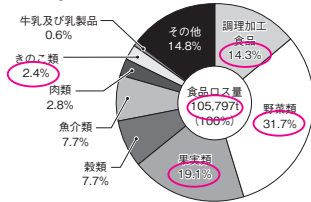
・E…食品ロス量が多い順に野菜類 31.7%、果実類 19.1%、調理加工食品 14.3%。

$31.7 + 19.1 + 14.3 = 65.1\%$ で、それ以外は $100 - 65.1 = 34.9\%$ 。

$$65.1 : 34.9 \div 65 : 35 = 13 : 7 \text{ で } \textcircled{\text{O}}$$

よって正しいのは **E**。

【家庭の食品ロス内訳】



19 [28%]

【各国の名目 GDP の推移と将来推測】

(単位: 百万 US ドル)

年次	L国	M国	N国	O国	P国	Q国
1965	253,163	331,251	1,377,262	398,140	12,616	174,459
1975	279,495	415,318	1,668,333	445,871	15,768	208,206
1985	337,898	509,722	2,101,851	466,805	19,753	221,191
1995	497,147	610,862	2,583,901	491,835	22,796	258,096
2005	642,580	717,803	3,117,842	509,041	26,690	281,344
2015	856,154	828,843	3,691,579	523,749	30,967	296,962
2035	1,564,159	1,062,068	4,671,252	541,784	41,342	344,825

2015 年次から 2035 年次にかけての、M 国の推測名目 GDP 増加率は何か。

2015 年は **828843**、2035 年は **1062068** より

$$1062068 \div 828843 = 1.281 \dots \rightarrow \text{約 } 128\%$$

増加分は $128 - 100 = 28\%$ 。

【即解】概算する。 $1060000 \div 830000$

$$= 106 \div 83 = 1.277$$

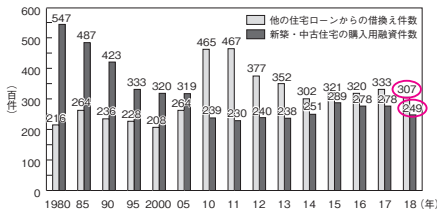
20 [44.8%]

新築・中古住宅の購入用融資件数は **249** 件で、2018 年の合計融資件数は $307 + 249 =$

556 件なので、

$$249 \div 556 = 0.4478 \dots \rightarrow \text{約 } 44.8\%$$

【個人向け住宅ローンの融資件数】



21 【448千円】

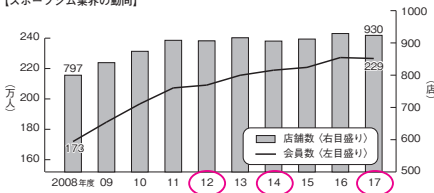
【資金・産業別常用労働者1人平均月間現金給与額(事業所規模30人以上)】(単位:千円)

年次	現金給与総額	建設業	製造業	電気・ガス業 ¹⁾	運輸業 ²⁾	卸売・小売業、飲食店	金融業、保険業 ³⁾	サービス業 ⁴⁾
昭和60年	317	306	300	427	344	273	408	338
平成2年	370	402	352	517	413	309	490	380
平成7年	409	451	391	584	454	336	541	413
平成10年	416	458	408	606	430	345	535	422
前年比 ⁵⁾ (%)	-1.4	-2.2	-1.1	0.8	-0.8	-3.3	-3.5	-0.1

平成10年の建設業の前年比は-2.2%で、**458千円**。平成11年に-2.2%が適用されると、平成10年**458千円**の $100 - 2.2 = 97.8\%$ になるので、 $458 \times 0.978 = 447.9 \dots \rightarrow$ **約448千円**

22 【2012年度、2014年度、2017年度】

【スポーツジム業界の動向】



すべての選択肢に「**2012年度**」があるので、**2012年**は減少していると判断できる。店舗数(棒グラフ)が前年度より減少している年は、他に、**2014年度、2017年度**。

※グラフから直接読み取る問題も出題される。

23 【1,140円】

2022年において、来店者1人あたりの購入額(税抜)を求める。販売実績の**税抜収入**を**来店者数**で割る。どちらも単位が100万円なので、そのまま割り算をする。

$172202 \div 151 = 1140.4 \dots \rightarrow$ **約1140円**

【飲食料点小売業の店舗数と販売実績】

年	営業時間と店舗数(店)				販売実績		
	合計	12時間未満	12時間以上24時間未満	24時間	来店者数(100万人)	売上	税抜収入(100万円)
2004	4,547	2,380	2,136	31	237	259,652	
2007	4,188	2,294	1,823	71	224	243,351	
2010	4,133	2,745	1,295	93	243	261,994	
2013	3,894	2,369	1,400	125	229	252,985	
2016	3,086	2,040	908	138	215	238,122	
2019	2,139	1,415	582	142	181	189,426	
2022	2,023	1,329	503	191	151	172,202	

24 【4.6倍】

【ケーブルテレビの契約者数シェア】

(単位:百世帯、%)

ケーブルテレビ合計	O社	P社	Q社	R社	S社	T社
18090.3	9119.1	3109.6	1602.4	1787.8	1947.5	523.9
100.0	50.4	17.2	8.9	9.9	10.8	2.9
大分県	746.0	513.8	199.7	-	-	32.5
シェア	100.0	68.9	26.8	-	-	4.4
長崎県	764.3	404.0	296.0	-	-	64.3
シェア	100.0	52.9	38.7	-	-	8.4
福岡県	6416.1	3724.0	-	1013.4	760.9	917.8
シェア	100.0	58.0	-	15.8	11.9	14.3
佐賀県	347.2	188.0	159.2	-	-	-
シェア	100.0	54.1	45.9	-	-	-
熊本県	2618.8	1057.0	-	589.0	419.7	553.1
シェア	100.0	40.4	-	22.5	16.0	21.1
鹿児島県	4033.9	1682.0	1268.1	-	607.2	476.6
シェア	100.0	41.7	31.4	-	15.1	11.8
宮崎県	836.7	374.6	338.4	-	-	123.7
シェア	100.0	44.8	40.4	-	-	14.8
沖縄県	457.2	299.7	157.5	-	-	-
シェア	100.0	65.6	34.4	-	-	-
山口県	1870.1	876.0	690.7	-	-	303.4
シェア	100.0	46.8	36.9	-	-	16.2

長崎県のP社のシェア**38.7%**でT社は**8.4%**。
 $38.7 \div 8.4 = 4.60 \dots \rightarrow$ **約4.6倍**

25 【892人】

【洗濯の仕方の各過程での知識】

洗濯機の使用方	総数(人)	(a)	(b)	(a+b)	(c)	(d)	(c+d)
		十分に知っている(%)	知っている(%)	知っている(小計)(%)	知らない(%)	知らない(小計)(%)	知らない(小計)(%)
洗濯機の使い方	2,281	19.7	59.2	78.9	18.5	2.6	21.1
男性	1,195	18.1	55.6	73.7	21.8	4.5	26.3
女性	1,086	20.9	62.1	83.0	15.8	1.2	17.0
洗剤の選び方	2,014	20.1	53.9	74.0	20.1	6.0	26.0
男性	1,025	16.7	46.7	63.4	25.8	10.8	36.6
女性	989	22.8	59.6	82.4	15.5	2.1	17.6
汚れチェックと手洗い	1,862	18.0	60.2	78.1	18.1	3.8	21.9
男性	825	14.2	51.2	65.3	27.0	7.6	34.7
女性	1,037	21.0	67.3	88.3	11.0	0.7	11.7
洗濯表示の見方	1,862	29.5	45.4	75.0	17.3	7.7	25.0
男性	825	13.3	39.0	52.4	31.3	16.4	47.6
女性	1,037	42.4	50.5	93.0	6.2	0.9	7.0
干し方	2,071	12.5	49.2	61.8	30.5	7.7	38.2
男性	973	8.0	39.4	47.4	38.8	13.8	52.6
女性	1,098	16.1	57.1	73.2	23.9	2.9	26.8

対象者(洗濯表示の見方:女性の総数)は**1037人**。「知っている」(a+b)は**93.0%**で「知らない」は**7.0%**で、差は $93 - 7 = 86\%$
 $1037 \times 0.86 = 891.82 \rightarrow$ **約892人**
【即解】概算して、 $1000 \times 0.86 = 860$

26 [2,139]

[Y高等学校の支出決算]

(単位：千円)

年	合 計					
	教育研究費	人件費	設備費	管理費	その他	
2015	2,857,115	337,336	2,141,078	358,156	(X)	18,406
2016	3,149,825	413,864	2,296,347	419,658	2,174	17,782
2017	3,242,020	406,902	2,303,722	507,413	6,092	17,891
2018	3,403,027	425,648	2,368,624	587,429	5,927	15,399
2019	3,528,399	416,871	2,435,019	657,093	5,766	13,650

表中のXに入る値を求める。X以外の横軸の数値は出ているので、引き算をすればよい。

$$X = 2857115 - (337336 + 2141078 + 358156 + 18406) = 2139$$

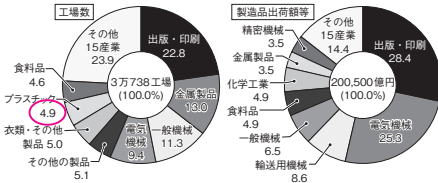
[即解] 本問は整数の計算であること、選択肢にある一の位の値がすべて異なることから、一の位だけを推測すればよい。

$$6 + 8 + 6 + 6 = 26$$

[2857115]の15から6を引くと、15 - 6 = 9。選択肢では2139。

27 [100X/4.9]

[工場数、製造品出荷額等の産業中分類別構成比 (従業員数4人以上工場)]



プラスチックの工場数をXとおくと、全工場数はどのように表されるか。プラスチックの工場数は4.9%、全工場数は100%なので、工場数全体はプラスチックの工場数の100/4.9。プラスチックの工場数をXとおくので、100/4.9にXにかけて、100X/4.9。

28 [6.8%]

[D国における職業別パートタイム労働者数の推移]

(単位：千人)

年	職業計	管理職	専門職	専門・技術職	事務職	警備	販売	工場機械	その他		
2001	5,777	261	341	456	1,104	199	973	970	226	1,108	
2002	5,932	315	361	417	1,114	191	1,051	1,013	200	1,126	
2003	6,004	344	354	436	1,125	207	1,103	1,018	199	1,091	
2004	6,152	338	389	475	1,131	199	1,129	1,047	204	1,122	
2005	6,183	376	427	463	1,112	185	1,125	1,057	229	1,116	
2006	6,410	359	424	509	1,167	177	1,224	1,125	228	1,101	
2007	6,554	351	438	569	1,179	188	1,269	1,177	232	1,091	
男	1,302	97	123	102	96	103	164	216	103	258	
女	5,252	254	315	467	1,083	85	1,105	961	129	833	
増加率	2001-07	13.4%	34.5%	28.4%	24.8%	(X)	-5.5%	30.4%	21.3%	2.7%	-1.5%

D国におけるパートタイムの2001年~07年にかけての事務職増加率(X)を求める。2001年の事務職は1104千人で2007年は1179千人なので、

$$1179 \div 1104 = 1.0679 \dots \rightarrow \text{約} 106.8\% \\ \text{増加分は } 106.8 - 100 = 6.8\%.$$

[別解] $(1179 - 1104) \div 1104 = 0.0679 \dots \rightarrow \text{約} 6.8\%$

29 [4.3%]

[世帯構造にみた世帯の児童数別世帯数と平均児童数]

世帯構造	総数	児童数				平均児童数
		1人	2人	3人	4人以上	
推計数(単位：千世帯)						
世帯総数	23,683	5,573	11,358	5,679	1,073	1.77
単身世帯	135	135	-	-	-	1.00
核家族世帯	16,372	4,036	8,218	3,391	727	1.73
三世帯世帯	6,580	1,212	2,930	1,136	301	1.90
その他の世帯	596	189	211	151	44	1.68
構成割合(単位：%)						
世帯総数	100.0	23.5	48.0	24.0	4.5	-
単身世帯	100.0	100.0	-	-	-	-
核家族世帯	100.0	24.7	50.2	20.7	4.4	-
三世帯世帯	100.0	18.4	44.5	32.5	4.6	-
その他の世帯	100.0	31.8	35.4	25.4	7.4	-

児童数が4人の三世帯世帯が284千世帯のとき、三世帯世帯におけるその構成割合はおおよそ何%か。三世帯世帯総数6580千世帯のうち284千世帯の割合は、

$$284 \div 6580 = 0.0431 \dots \rightarrow \text{約} 4.3\%$$

※6割以上(18問以上)正答すれば合格圏内です。時間配分を意識して取り組んでください。制限時間内に全問回答ができないという場合は、以下を意識して繰り返し練習してみましょう。

[時間内に合格点を取るコツ]

- ・ 図表内で回答に必要な情報(数値)を見つけてメモしたら他の数値は見なくてよい
- ・ 解ける問題でも復習する。簡単な問題をより速く解けるようにしておくことで、他の難しい問題に取り込む時間が増える
- ・ 文章選択型は後ろの選択肢から検討していく
- ・ 1問について約30秒が経過したら、正解の見込みがある選択肢の中から選んで回答する

4章

【模擬テスト】四則逆算 ▶ 本冊186~191ページ

1 [219]

$$11 \times 23 = \square + 34$$

←左辺を計算して、+34を左辺へ(-34)

$$253 - 34 = 219 = \square$$

【別解】選択肢の一の位がすべて異なるので、

11 × 23 - 34の一の位だけを計算して、

$$1 \times 3 - 4 = 3 - 4$$

3は十の位を入れて13として計算する。

13 - 4 = 9で一の位は9なので219。

2 [567]

$$12 + 17 + 34 = \square \div 9$$

←左辺を計算して、÷9を左辺に(×9)

$$63 \times 9 = 567 = \square$$

【別解】一の位だけを計算して、

$$2 + 7 + 4 = 13$$

3 × 9 = 27で一の位は7なので567。

3 [26/3]

$$10 = \square \times 15/13$$

←×15/13を左辺へ(÷15/13)

$$10 \div \frac{15}{13} = 10 \times \frac{13}{15} = \frac{26}{3} = \square$$

4 [1079]

$$\square + 896 = 1975 \leftarrow +896 \text{ を右辺へ } (-896)$$

$$\square = 1975 - 896 = 1079$$

【即解】概算して、2000 - 900 = 1100。最も近い選択肢は1079。

5 [11]

$$60 + 72 = \square \times 12$$

←左辺を計算して、×12を左辺へ(÷12)

$$132 \div 12 = 11 = \square$$

6 [10]

$$0.025 \times \square = 0.5 \times 0.5 \leftarrow \text{右辺を計算して、} \\ 0.025 \times \text{を右辺へ } (\div 0.025)$$

$$\square = 0.25 \div 0.025 = 10$$

7 [30]

$$(12 + \square) \times 13 = 546 \leftarrow \times 13 \text{ を右辺へ } (\div 13)$$

$$12 + \square = 546 \div 13$$

←右辺を計算して、12+を右辺へ(-12)

$$\square = 42 - 12 = 30$$

8 [23]

$$19 + 43 + \square = 85$$

←19 + 43 + を右辺へ(-19 - 43)

$$\square = 85 - 19 - 43 = 23$$

※左辺の19 + 43 = 62を先に計算して、

$$\square = 85 - 62 = 23 \text{ としてもよい。}$$

9 [224]

$$16/15 \times 42 = \square \div 5 \leftarrow \div 5 \text{ を左辺へ } (\times 5)$$

$$\frac{16}{15} \times 42 \times \frac{14}{13} \times \frac{1}{5} = \square \leftarrow \text{約分}$$

$$16 \times 14 = 224 = \square$$

10 [2]

$$21/16 \div 21/32 = \square \leftarrow \text{分数を逆数にして}$$

かける(÷21/32は×32/21になる)

$$\frac{1}{1} \frac{21}{16} \times \frac{32}{21} = 2 = \square$$

11 [25]

$$0.32 \times \square = 2.08 \div 0.26 \leftarrow \text{右辺を計算して、}$$

$$0.32 \times \text{を右辺へ } (\div 0.32)$$

$$\square = 8 \div 0.32 = 25$$

12 [324]

$$\square \div 12 + 21 = 48 \leftarrow +21 \text{ を右辺へ } (-21)$$

※計算ミスに注意。×より先に+-を移す。

$$\square \div 12 = 48 - 21$$

←右辺を計算して、 $\div 12$ を右辺へ(×12)

$$27 \times 12 = 324 = \square$$

【別解】一の位だけを計算。(8-1)×2=14

で一の位が4なので、324。

13 [50]

$$0.46 + 0.28 = 37 \div \square$$

←左辺を計算して、 $37 \div$ をそのまま左辺へ

$$37 \div 0.74 = 50 = \square$$

14 [6]

$$75 \times \square = 3000 \times 0.15$$

←右辺を計算して、 $75 \times$ を右辺へ(÷75)

$$\square = 450 \div 75 = 6$$

15 [1/36]

$$1/18 + \square = 1/12$$

← $1/18 +$ を右辺へ(-1/18)

$$\square = \frac{1}{12} - \frac{1}{18} = \frac{3}{36} - \frac{2}{36} = \frac{1}{36}$$

16 [70]

$$56 - 101 = 25 - \square$$

←左辺を計算して、 $25 -$ をそのまま左辺へ

$$25 - (-45) = 25 + 45 = 70 = \square$$

17 [18]

$$72 \div 81 = 16 \div \square \leftarrow 72 \div 81 \text{ が割り切れないので、} 16 \div \text{をそのまま左辺へ}$$

$$16 \div (72 \div 81) = 16 \div 72 \times 81 = 18 = \square$$

←かっこをはずすと $\div 81$ は $\times 81$ になる

【別解1】 $72/81 = 16/\square$

$$72 \div 16 = 4.5 \leftarrow 72 \text{ は } 16 \text{ の } 4.5 \text{ 倍}$$

$$81 \div 4.5 = 18 \leftarrow 81 \text{ は } \square \text{ の } 4.5 \text{ 倍}$$

【別解2】 $72 : 81 = 16 : \square$

←内項(81、16)の積=外項(72、 \square)の積

$$81 \times 16 = 1296 = 72 \times \square$$

$$\square = 1296 \div 72 = 18$$

18 [3.5]

$$12 \times \square + 28 \times \square = 140$$

← 12 と 28 をカッコでくくる

$$(12 + 28) \times \square = 140 \leftarrow 12 + 28 = 40$$

$$40 \times \square = 140 \leftarrow \text{左辺の } 40 \times \text{を右辺へ(} \div 40 \text{)}$$

$$\square = 140 \div 40 = 3.5$$

19 [0.7]

$$0.56 \div \square = 0.8 \leftarrow 0.56 \div \text{をそのまま右辺へ}$$

$$\square = 0.56 \div 0.8 = 0.7$$

20 [4000]

$$25 \div 0.25 = 0.025 \times \square \leftarrow \text{左辺を計算して、}$$

$$0.025 \times \text{を左辺へ(} \div 0.025 \text{)}$$

$$100 \div 0.025 = 4000 = \square$$

21 [3/20]

$$\square \times \square = 0.0225$$

225を素因数分解すると「 $3 \times 3 \times 5 \times 5$ 」=

「 15×15 」。 $0.0225 = 0.15 \times 0.15$ 。

$$0.15 = 15/100 = 3/20$$

【即解】電卓で $0.0225\sqrt{\quad}$ と入力して0.15。

22 [12]

$$480 \text{ の } \square \% = 57.6 \leftarrow \text{「の } \square \% \text{」は「} \times \square \% \text{」}$$

$$480 \times \square \% = 57.6 \leftarrow 480 \times \text{を右辺へ(} \div 480 \text{)}$$

$$\square \% = 57.6 \div 480 = 0.12 \rightarrow 12\%$$

23 [0.8]

$$64 \div \square - 32 = 48 \leftarrow -32 \text{ を右辺へ(} + 32 \text{)}$$

$$64 \div \square = 48 + 32$$

←右辺を計算して、 $64 \div$ をそのまま右辺へ

$$\square = 64 \div 80 = 0.8$$

24 [0.78]

$$3/10 + 12/25 = \square \leftarrow \text{小数にして計算する}$$

$$\frac{3}{10} = 3 \div 10 = 0.3, \quad \frac{12}{25} = 12 \div 25 = 0.48$$

← 12/25は4倍して48/100なので0.48

$$0.3 + 0.48 = 0.78 = \square$$

【別解】通分して計算する。

$$\frac{3}{10} + \frac{12}{25} = \frac{3 \times 5 + 12 \times 2}{50} = \frac{15 + 24}{50} = \frac{39}{50}$$

$$39 \div 50 = 0.78$$

㉔ [4845.64]

$$4970 - \square = 124.36$$

← 4970 - をそのまま右辺へ

$$\square = 4970 - 124.36 = 4845.64$$

【即解】概算で5000から□を引くと120なので、□は約4880→選択肢では4845.64

㉕ [4]

$$12 \times 11/13 = \square \div 13/33$$

← ÷ 13/33 を左辺へ(× 13/33)

$$4. \quad 12 \times \frac{11}{13} \times \frac{13}{33} = 4 = \square$$

㉖ [31.5]

$$\square \times 16/9 = 56 \leftarrow \times 16/9 \text{ を右辺へ} (\div 16/9)$$

$$\square = 56 \div \frac{16}{9} = 56 \times \frac{9}{16} = \frac{63}{2} = 31.5$$

㉗ [3]

$$\square \times 0.15 = 27 \div 60$$

← 右辺を計算して、× 0.15 を右辺へ(÷ 0.15)

$$\square = 0.45 \div 0.15 = 3$$

【即解】□ × 0.15 = 0.45の時点で、□を3と暗算する。

㉘ [60]

$$5250 - \square \times 35 = 3150$$

← 5250 - をそのまま右辺へ

$$\square \times 35 = 5250 - 3150$$

← 右辺を計算して、× 35 を右辺へ(÷ 35)

$$\square = 2100 \div 35 = 60$$

㉙ [25]

11/50 = 5.5 ÷ □ ← 5.5 ÷ をそのまま左辺へ

$$5.5 \div \frac{11}{50} = \frac{55}{10} \times \frac{50}{11} = 25 = \square$$

【別解】11/50 = 5.5/□

11は5.5の2倍なので、50も□の2倍

$$\square = 50 \times 0.5 = 25$$

㉚ [0.2025]

1/10 + 1/16 + 1/25 = □ ← 小数にして計算

$$1/10 = 0.1 \quad 1/16 = 1 \div 16 = 0.0625$$

$$1/25 = 0.04$$

$$0.1 + 0.0625 + 0.04 = 0.2025 = \square$$

㉛ [500]

122の□% = 610 ← 「の□%」は×□%

122 × □% = 610 ← 122 × を右辺へ(÷ 122)

$$\square \% = 610 \div 122 = 5 \rightarrow 500\%$$

㉜ [70/3]

21 = 0.9 × □ ← 選択肢が分数なので、0.9を分数にして左辺へ(÷ 9/10)

$$21 \div \frac{9}{10} = 21 \times \frac{10}{9} = 7 \times \frac{10}{3} = \frac{70}{3} = \square$$

㉝ [14.88]

$$12 = \square \div 31/25$$

← ÷ 31/25 を左辺へ(× 31/25)

$$12 \times \frac{31}{25} = 12 \times 31 \div 25 = 14.88 = \square$$

㉞ [1/50]

□ ÷ 1/10 = 16 ÷ 80 ← 分数にして計算

$$\square \div \frac{1}{10} = 16/80$$

← ÷ 1/10 を右辺へ(× 1/10)

$$\square = \frac{16}{80} \times \frac{1}{10} = \frac{1}{50}$$

36 [1/1000]

$$0.059 \div \square = 59 \leftarrow 0.059 \div \text{をそのまま右辺へ}$$

$$\square = 0.059 \div 59 = 0.001 = 1/1000$$

37 [1/3]

$$1/24 \div \square = 1/16 + 1/16$$

\leftarrow 右辺を計算して、 $1/24 \div$ をそのまま右辺へ

$$\square = \frac{1}{24} \div \frac{1}{8} = \frac{1}{3 \cdot 24} \times 8 = \frac{1}{3}$$

38 [1/80]

$$\square \div 1/10 = 0.125$$

$\leftarrow \div 1/10$ を右辺へ($\times 1/10$)

$$\square = 0.125 \times 1/10 = 0.0125 = 1/80$$

[即解] $0.125 = 1/8$ なので、 $1/8 \times 1/10$ 。

※分母が8の分数を小数にすると、

$$1/8 = 0.125$$

$$3/8 = 0.375$$

$$5/8 = 0.625$$

$$7/8 = 0.875$$

39 [0.072]

$$12/5 + 12/25 = 40 \times \square \leftarrow \text{左辺を小数に}$$

$$12 \div 5 = 2.4, 12 \div 25 = 0.48$$

$$2.4 + 0.48 = 2.88 = 40 \times \square$$

$\leftarrow 40 \times$ を左辺へ($\div 40$)

$$2.88 \div 40 = 0.072 = \square$$

※左辺を分数のまま通分して計算してもよい。

40 [8/3]

$$1/20 + 0.7 = 2 \div \square \leftarrow \text{左辺を分数にして計算}$$

$$\frac{1}{20} + \frac{7}{10} = \frac{1}{20} + \frac{14}{20} = \frac{15}{20} = \frac{3}{4}$$

$$\frac{3}{4} = 2 \div \square \leftarrow 2 \div \text{をそのまま左辺へ}$$

$$2 \div \frac{3}{4} = 2 \times \frac{4}{3} = \frac{8}{3} = \square$$

41 [0.995]

$$2/25 + 7/40 = 1.25 - \square$$

\leftarrow 左辺を小数にして計算

$$\frac{2}{25} = 2 \div 25 = 0.08, \frac{7}{40} = 7 \div 40 = 0.175$$

$$0.08 + 0.175 = 1.25 - \square$$

\leftarrow 左辺を計算して、 $1.25 -$ をそのまま左辺へ

$$\square = 1.25 - 0.255 = 0.995$$

42 [87.5]

$$7/8 = \square \% \leftarrow \text{分数を割り算にして計算}$$

$$7 \div 8 = 0.875 \rightarrow 87.5\%$$

43 [4]

$$\square + 256 = \square \times 65 \leftarrow \square + \text{を右辺に} (-\square)$$

$$256 = \square \times 65 - \square \leftarrow \square \text{は} \square \times 1$$

$$256 = \square \times 65 - \square \times 1$$

$\leftarrow 65$ と 1 をカッコでくくる

$$256 = \square \times (65 - 1) = \square \times 64$$

$\leftarrow \times 64$ を左辺へ($\div 64$)

$$256 \div 64 = 4 = \square$$

[即解] 両辺から \square を引いて、 $256 \div 64$ 。

44 [4]

$$10 \times \square \div 16 = 240 \div 12 \div 8 \leftarrow \text{右辺を計算}$$

$$10 \times \square \div 16 = 2.5$$

$\leftarrow 10 \times$ と $\div 16$ を右辺へ($\div 10$ 、 $\times 16$)

$$\square = 2.5 \div 10 \times 16 = 4$$

[別解] 両辺を分数にして、分母をそろえる。

先に右辺の $240 \div 12 = 20$ を計算する。

$$(10 \times \square) \div 16 = 20 \div 8 \leftarrow \text{割り算を分数に}$$

$$\frac{10 \times \square}{16} = \frac{20}{8} \leftarrow \text{右辺を2倍して分子を16に}$$

$$\frac{10 \times \square}{16} = \frac{40}{16} \leftarrow \text{分子は同じ。} \square = 4$$

45 [9]

$$(53 - 37) \times 5 = (\square + 1) (\square - 1)$$

\leftarrow 公式を使って展開する

$$(53 - 37) \times 5 = \square^2 - 1 \leftarrow \text{左辺を計算}$$

$$80 = \square^2 - 1 \leftarrow -1 \text{を左辺へ} (+1)$$

$$80 + 1 = \square^2$$

$$81 = \square^2$$

$$\square = \pm 9$$

選択肢では9。

46 [11]

$$21 - 110 \div \square = 11 \leftarrow 21 - \text{をそのまま右辺へ}$$

$$110 \div \square = 21 - 11 \leftarrow 110 \div \text{をそのまま右辺へ}$$

$$\square = 110 \div (21 - 11) = 110 \div 10 = 11$$

【即解】21から110÷□を引くと11になるので、

$$110 \div \square = 21 - 11 = 10.$$

$$\text{よって} \square = 110 \div 10 = 11.$$

47 [5.2]

$$16 \times (\square - 3.25) = 13 \div 5/12$$

←16×を右辺へ(÷16)

$$\square - 3.25 = 13 \div 5/12 \div 16 \leftarrow \text{右辺を計算}$$

$$13 \div 5/12 \div 16 = 13 \times 12 \div 5 \div 16 = 1.95$$

$$\square - 3.25 = 1.95 \leftarrow -3.25 \text{を右辺へ}(+3.25)$$

$$\square = 1.95 + 3.25 = 5.2$$

48 [120]

$$1/8 + 1/10 = 13 \div \square + 14 \div \square$$

←左辺を小数にして、右辺の13と14をかくでくくる

$$0.125 + 0.1 = (13 + 14) \div \square \leftarrow \text{計算する}$$

$$0.225 = 27 \div \square \leftarrow 27 \div \text{をそのまま左辺へ}$$

$$27 \div 0.225 = 120$$

【別解1】左辺を通分して計算する。

$$1/8 + 1/10 = (13 + 14) \div \square$$

$$5/40 + 4/40 = 27 \div \square$$

$$9/40 = 27 \div \square \rightarrow 9/40 = 27/\square$$

←分子を27にそろえるために左辺を3倍

$$\frac{27}{120} = \frac{27}{\square}$$

$$\square = 120$$

【別解2】9/40 = 27 ÷ □ → 9 : 40 = 27 : □

内項(40、27)の積=外項(9、□)の積より、

$$40 \times 27 = 9 \times \square$$

$$40 \times 27 \div 9 = 120 = \square$$

49 [1/6]

$$41 \div \square \div 12 = 4.1 \times 5 \leftarrow \text{右辺を計算}$$

$$41 \div \square \div 12 = 20.5$$

←後ろの÷12を先に右辺へ(×12)。

$$41 \div \square = 20.5 \times 12 \leftarrow \text{右辺を計算}$$

$$41 \div \square = 246 \leftarrow 41 \div \text{をそのまま右辺へ}$$

$$\square = 41 \div 246 = \frac{41}{6 \times 246} = \frac{1}{6}$$

【別解】式を分数にする。

$$41 \div \square \div 12 = 4.1 \times 5 \leftarrow \text{右辺を計算}$$

$$41 \div \square \div 12 = 20.5 \leftarrow \text{両辺を分数にする}$$

$$\frac{41}{\square \times 12} = \frac{41}{2}$$

←分子が同じなので、分母も同じと考える。

$$\square \times 12 = 2$$

$$\square = 2 \div 12 = 2/12 = 1/6$$

50 [555]

$$1165 - (\square + 440) = 78 + 92$$

←右辺を計算して、1165 - をそのまま右辺へ

$$\square + 440 = 1165 - 170$$

←右辺を計算して、+440を右辺へ(-440)

$$\square = 995 - 440 = 555$$

【即解】選択肢が離れているので、概算できる。

$$1200 - (\square + 450) = 200$$

1200から(□+450)を引くと200になるので、□は550。近い選択肢は555。

または、次のように概算してもよい。

$$1170 - (\square + 450) = 80 + 90$$

$$1170 - (\square + 450) = 170$$

1170から(□+450)を引くと170になるので、□は550。近い選択肢は555。

※制限時間内に6割以上(30問以上)を正答することが合格の目安です。本冊49ページに記載の

【□=(=□)の式にする方法】をマスターしておくことで、格段にスピードアップが図れます。

4章

【模擬テスト】表の空欄推測 ▶本冊192～201ページ

1 [1,499枚]

【ステッカー売上枚数】

	第1回	第2回	第3回	第4回
ステッカー売上枚数(枚)	781	957	1,029	?
チケット売上枚数(枚)	4,686	5,742	6,174	8,994

ステッカー売上枚数とチケット売上枚数との関係を割り出せばよい。

チケット÷ステッカーを計算すると、

$$\text{第1回} \cdots 4686 \div 781 = 6$$

$$\text{第2回} \cdots 5742 \div 957 = 6$$

$$\text{第3回} \cdots 6174 \div 1029 = 6$$

チケットはステッカーの6倍になっている。

第4回のチケットは、 $8994 \div 6 = 1499$ 枚

※実際の検査では、第1回で6倍とわかったら、すぐ第4回の計算に移ってよい。

2 [256着]

【夏商品販売数】

	1週目	2週目	3週目	4週目	5週目
水鉄砲(個)	324	410	586	390	580
家庭用プール(個)	246	366	195	225	198
水着(着)	625	500	400	320	?

水着の販売数の推移(前週との違い)を見る。

$$2 \text{ 週目} \cdots 500 \div 625 = 0.8$$

$$3 \text{ 週目} \cdots 400 \div 500 = 0.8$$

4週目、5週目も同様で、前週の80%になっている。よって5週目は、

$$320 \times 0.8 = 256 \text{ 着}$$

3 [467,040万円]

【A町町税歳入内訳】

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
人口(人)	124,324	123,485	124,521	123,542	124,584
町民税(万円)	361,520	372,040	402,160	448,520	?
固定資産税(万円)	90,380	93,010	100,540	112,130	116,760
町たばこ税(万円)	40,540	42,180	40,970	42,770	43,630
軽自動車税(万円)	11,100	12,200	8,820	4,590	4,060
入湯税(万円)	4,730	5,060	6,290	5,670	7,200

町民税と固定資産税が毎年増えている。町民税と固定資産税の関係を割り出せばよい。

$$2015 \text{ 年} \cdots 361520 \div 90380 = 4$$

$$2016 \text{ 年} \cdots 372040 \div 93010 = 4$$

2017年、2018年も同様で、町民税は固定資産税の4倍になっている。

よって2019年の固定資産税は

$$116760 \times 4 = 467040 \text{ 万円}$$

4 [5,327千t]

【B県産業廃棄物排出量】

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
汚泥(千t)	5,930	5,823	5,786	5,424	5,390	?
動物のふん尿(千t)	2,279	2,309	2,251	2,256	1,568	1,440
がれき類(千t)	469	497	501	899	924	989
木くず(千t)	210	223	301	296	336	359
その他(千t)	125	284	388	590	892	946

汚泥の量は年々少なくなっている。2015年も2014年より少なくなると推測できる。2014年より少ない選択肢は、5327千tのみ。

5 [90人]

【時間帯別の来館者数】

	P館	Q館	R館	S館	T館
10～12時(人)	40	50	80	60	30
12～14時(人)	50	50	60	60	60
14～16時(人)	60	70	40	60	70
16～18時(人)	100	80	70	70	?

時間帯による推移に法則性が見られないので、館ごとの来館者数を合計してみる。

$$P \text{ 館} \cdots 40 + 50 + 60 + 100 = 250 \text{ 人}$$

$$Q \text{ 館} \cdots 50 + 50 + 70 + 80 = 250 \text{ 人}$$

R館、S館も同様で、どの館も来館者数の合計が250人となっている。よってT館の16～18時の来館者数は、

$$250 - (30 + 60 + 70) = 90 \text{ 人}$$

6 [79,500円]

J、K、L3社の各周辺機器の個数の合計は15個ずつになる。さらに、M社の周辺機器の個数はすべて5個ずつになっている。

【PC周辺機器見積書】

	J社	K社	L社	M社
マウス (個)	5	10	0	5
キーボード (個)	0	10	5	5
ヘッドセット (個)	0	0	15	5
USBメモリ (個)	10	5	0	5
モバイルバッテリー (個)	10	0	5	5
見積金額 (円)	76,000	79,500	83,000	?

M社の個数は3社合計の3分の1なので、見積金額も3社合計の3分の1になる。

J、K、L3社の合計見積金額は

$$76000 + 79500 + 83000 = 238500 \text{円}$$

M社の見積金額は

$$238500 \div 3 = 79500 \text{円}$$

※行の平均から【?】を推測する問題。3社の横行を合計するとすべて15(3社の平均が5)に気がつくかどうか問われている。【?】のある列が他の列の平均というのは玉手箱では頻出。

⑦ 【750億円】

【売上実績】

	店舗P	店舗Q	店舗R	店舗S	店舗T
防寒着売上 (億円)	890	700	850	820	?
総売上 (億円)	5,000	3,800	4,100	4,200	3,800
立地別平均気温 (°C)	6	11	6	8	9.5
従業員数 (人)	125	98	132	102	113

総売上上の順番はP S R Qだが、防寒着売上上の順番はP R S Qになっている。総売上が低いRの方がSより防寒着売上が高いのは、S(8°C)よりR(6°C)の平均気温が低いからだと考えられる。平均気温が低いほど防寒着売上が高くなる(平均気温が高いほど防寒着売上が低くなる)。Tの総売上はQと同じ3800で、平均気温はQ: 11°Cより低い9.5°Cなので、防寒着売上はQの700より高くなる。またTの総売上はSより低く、平均気温はS: 8°Cより高い9.5°Cなので、防寒着売上はSの820より低くなる。選択肢では750億円。

⑧ 【1,616個】

ドリンクの多い曜日はフライドチキンが少ないことに着目する。

【曜日別売上個数】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
ドリンク (杯)	1,721	1,196	1,687	1,301	1,384
フライドチキン (個)	1,279	1,804	1,313	1,699	?
フライドポテト (個)	2,489	2,306	2,121	2,532	2,297
ハンバーガー (個)	2,983	3,021	2,854	2,965	2,843

ドリンク+フライドチキンを計算すると、

$$\text{月曜日} \cdots 1721 + 1279 = 3000$$

$$\text{火曜日} \cdots 1196 + 1804 = 3000$$

水曜日、木曜日と同様で、ドリンクとフライドチキンの合計は3000とわかる。

よって金曜日のフライドチキンは

$$3000 - 1384 = 1616 \text{個}$$

※ドリンクとフライドチキンの下1桁の合計が10になっていることもヒントになっている。

⑨ 【76,800円】

【Kさんの月収データ】

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
平均月収 (円)	40,000	100,800	79,200	27,600	?
平均月間勤務時間 (時間)	50	120	90	30	80

各年の時給を計算すると、

$$1 \text{年目} \cdots 40000 \div 50 = 800 \text{円}$$

$$2 \text{年目} \cdots 100800 \div 120 = 840 \text{円}$$

$$3 \text{年目} \cdots 79200 \div 90 = 880 \text{円}$$

$$4 \text{年目} \cdots 27600 \div 30 = 920 \text{円}$$

毎年40円ずつ時給が上がっていると推測できる。

$$5 \text{年目の時給} = 920 + 40 = 960 \text{円}$$

80時間働くので、5年目の平均月収は、

$$960 \times 80 = 76800 \text{円}$$

⑩ 【3,631個】

【マグカップ出荷数】

	P工場	Q工場	R工場	S工場	T工場
製作数 (個)	3,400	5,000	3,000	3,700	3,900
出荷数 (個)	3,332	4,900	2,940	3,626	-
販売可能数 (個)	3,165	4,655	2,793	3,445	?

製作数のうちどれだけが販売可能数となるのかを計算すると

$$P \text{工場} \cdots 3165 \div 3400 = 0.930 \cdots$$

$$Q \text{工場} \cdots 4655 \div 5000 = 0.931$$

R工場、S工場も同様で、製作数の約**93%**が販売可能数だとわかる。よってT工場の販売可能数は、

$$3900 \times 0.93 = 3627 \text{ 個}$$

選択肢では**3631**個。

11【135千円】

【価格改定案】

PCのモデル	改定前の価格(千円)	改定後の価格(千円)	(参考)競合X社同クラスの価格(千円)
モデルA	800	675	750
モデルB	600	495	550
モデルC	400	315	350
モデルD	300	225	250
モデルE	200	?	150

改定後の価格が、「改定前の価格(改定前)」と「競合X社同クラスの価格(競合価格)」のどちらと相関があるのかを見る。

$$A \cdots \text{改定後} 675 \div \text{改定前} 800 = 0.843 \cdots$$

$$A \cdots \text{改定後} 675 \div \text{競合価格} 750 = 0.9$$

端数の出ない計算結果の**0.9**で確認する。

$$B \cdots 550 \times 0.9 = 495 \leftarrow \text{表の数値と一致}$$

$$C \cdots 350 \times 0.9 = 315 \leftarrow \text{表の数値と一致}$$

競合価格 \times 0.9 = 改定後の価格

と判明する。よってEの改定後の価格は、

$$150 \times 0.9 = 135 \text{ 千円}$$

※選択肢の数値も仮説の検証のヒントになる。

改定前の価格の8割強が改定後の価格だとすると、【?】が $200 \times 0.8 = 160$ 千円以上になってしまい、あてはまる選択肢がない。

12【134,790枚】

【チケット売上枚数】

コンサート	第1回	第2回	第3回	第4回
ファンクラブ会員数(人)	20,486	20,742	21,965	22,465
チケット売上枚数(枚)	122,916	124,452	131,790	?

ファンクラブ会員数が増えるほど、チケット売上枚数も増えている。

$$\text{第1回} \cdots 122916 \div 20486 = 6$$

$$\text{第2回} \cdots 124452 \div 20742 = 6$$

$$\text{第3回} \cdots 131790 \div 21965 = 6$$

ファンクラブ会員数とチケット売上枚数は、

比例関係になっていることがわかる。会員1人あたり**6枚**のチケットに相当しているので、第4回の売上枚数は

$$22465 \times 6 = 134790 \text{ 枚}$$

13【1,380円】

【野菜箱別発送料金】

	野菜箱 L	野菜箱 M	野菜箱 N	野菜箱 O	野菜箱 P	野菜箱 Q
重さ(kg)	15	11	14	13	9	12
距離(km)	148	88	123	115	78	102
発送料金(円)	1,490	1,380	1,490	1,380	1,270	?

発送料金が最も安いP(1270)は、重さ(9)と距離(78)の値が最小。

最も高いL(1490)とN(1490)は、重さ(15、14)と距離(148、123)の値も大きい。

重さと距離によって発送料金が決まっていることがわかる。Qの重さ(12)と距離(102)はどちらもM(11、88)とO(13、115)の間にある。MとOが1380円なので、Qの発送料金も**1380円**と推測できる。

14【198万円】

【防火扉設置工事見積金額】

	Pビル	Qビル	Rビル	Sビル	Tビル	Uビル
防火扉設置箇所(カ所)	10	3	2	20	15	8
小計(万円)	1,000	90	200	1,600	1,275	360
出精値引額(万円)	550	49.5	110	880	701.25	?
見積金額(万円)	450	40.5	90	720	573.75	

小計と出精値引額の関係性を見つける。

$$P \cdots 550 \div 1000 = 0.55$$

$$Q \cdots 49.5 \div 90 = 0.55$$

出精値引額は、小計 **\times 55%**で算出されていることがわかる。よってUの出精値引額は、

$$360 \times 0.55 = 198 \text{ 万円}$$

※出精値引とは見積もりの際の特別値引のこと。

15【15人】

2018年度は2019年度より初級クラスが1クラス多いが、指導コーチ数は2人多い。

よって、初級には1クラスに**2人**のコーチが

【水泳教室のクラス数・指導コーチ数】

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
初級 (クラス)	4	3	4	5	4
中級 (クラス)	6	4	5	6	6
上級 (クラス)	5	5	5	6	6
指導コーチ数(人)	19	?	18	22	20

つくと推測できる。

2018年度の初級に $5 \times 2 = 10$ 人のコーチがつくので、残りは $22 - 10 = 12$ 人

中級6クラス、上級6クラスより中級と上級は1クラスあたりコーチが1人。(4人と5人)

よって2016年度のコーチ数は、

$$3 \times 2 + 4 + 5 = 15 \text{人}$$

【別解】クラス合計とコーチ数の関係を見る。

2015年度… $4 + 6 + 5 = 15 \rightarrow$ コーチ数192017年度… $4 + 5 + 5 = 14 \rightarrow$ コーチ数182018年度… $5 + 6 + 6 = 17 \rightarrow$ コーチ数22

クラス合計とコーチ数の差が初級クラス数と同じなので、初級だけ1クラスあたり2人のコーチがつくと推測できる。

よって2016年度のコーチ数は

$$3 \times 2 + 4 + 5 = 15 \text{人}$$

⑩ 【1,650円】

【駐車料金一覧】

	1時間まで	3時間まで	5時間まで	6時間まで	8時間まで
利用料金(円)	300	870	1,400	?	2,120

1時間あたり300円とすると、3時間900円、5時間1500円になるが、表ではそれよりも安い3時間870円、5時間1400円になっているので、駐車時間が長くなるほど時間あたりの料金が安くなると推測できる。よって「6時間まで」は、「5時間までの1400円」+300円=1700円より安くなるはず。選択肢では1650円だけが該当する。

【別解】1時間300円で計算すると、3時間、5時間、8時間はそれぞれ30円、100円、280円が「300円×時間」から引かれている。

$$3 \text{時間} : 30 = 10 + 20$$

$$5 \text{時間} : 100 = 10 + 20 + 30 + 40$$

$$8 \text{時間} : 280 = 10 + 20 + 30 + 40 + 50 + 60 + 70$$

駐車時間が1時間増えるごとに引かれる額が

10円ずつ増えていくと推測できる。よって

$$6 \text{時間までの利用料金は、} 300 \times 6 - (10 + 20 + 30 + 40 + 50) = 1650 \text{円}$$

※試験では速くおおまかな数値を求めることが大切。本問では、 $1400 + 300 = 1700$ 円より高くなることはないと推測して1650円を選ぶのが好ましい。

⑪ 【400万円】

【販売促進成果一覧】

	こどもの日	ハロウィン	クリスマス	年末年始	バレンタイン
ポップ枚数(枚)	25	20	32	18	20
広告配布数(千枚)	22	19	25	22	23
平均値引率(%)	11	9	15	13	13
販促人員数(人)	12	9	12	9	15
売上高(万円)	390	360	420	390	?

広告配布数が22千枚のこどもの日と年末年始は、売上高も390万円と同じであることに着目する。広告配布数と売上高の関係を見る。

ハロウィン：広告配布数19→売上高360

こどもの日：広告配布数22→売上高390

クリスマス：広告配布数25→売上高420

広告配布数が1(千枚)増えるごとに、売上高が10(万円)増えると推測できる。

22千枚→390万円なので、バレンタインは、23千枚→ $390 + 10 = 400$ 万円

【別解】バレンタインは、値引率が同じ年末年始(売上高390万円)よりポップ枚数も広告配布数も多いので売上高も390万円より多い。(どの条件が売上に影響したとしても、390万円より多くなると推測する)

またクリスマス(420万円)より広告配布数が少なく値引率も低いので売上高も420万円より低いと推測できる。

選択肢で390万円と420万円の間にあるのは400万円のみ。

18 [5,590円]

【グルメイベント屋外施設候補地】

	施設J	施設K	施設L	施設M	施設N
収容人数 (人)	7,800	2,423	2,400	2,316	1,990
最寄り駅からの距離(分)	5	1	7	15	15
駐車場 (台)	300	150	200	80	371
会場使用料 (千円)	4,360	1,260	1,860	1,165	800
入場券予定価格 (円)	?	5,200	7,750	5,030	4,020
建築面積 (m ²)	81,000	9,300	28,320	8,300	7,600

入場券予定価格に影響するのは、「1人あたりの会場使用料(=会場使用料÷収容人数)」ではないかと推測できる。

K…126千円÷2423=0.520千円…**520円**

Kの入場券予定価格 → **520円**

L…1860千円÷2400=0.775千円…**775円**

Lの入場券予定価格 → **775円**

入場券予定価格は会場使用料÷収容人数×10だとわかる。よってJの入場券予定価格は、**4360000÷7800×10=5589.7…**

選択肢では**5590円**。

※問われている項目(入場券予定価格)に影響のありそうな項目に絞って考えることが大切。

19 [150万円]

【販売促進費比較】

支店名	P	Q	R	S	T	U
新規契約件数(件)	75	450	1,040	840	1,170	700
支店従業員数(人)	38	86	102	56	153	94
営業部員数(人)	5	15	13	8	18	10
販売促進費(万円)	80	125	160	185	145	?

営業部員1人あたりの新規契約件数を求める。

P…75÷5=**15**件(販売促進費**80**)

Q…450÷15=**30**件(販売促進費**125**)

R…1040÷13=**80**件(販売促進費**160**)

S…840÷8=**105**件(販売促進費**185**)

T…1170÷18=**65**件(販売促進費**145**)

営業部員1人あたりの契約件数の順位は、少ないほうから順位PQRSTで販売促進費の順位と同じ。営業部員1人あたりの契約件数が多い支店ほど販売促進費も多いと推測できる。

Uの営業部員1人あたりの契約数は700÷10=**70**でT:**65**とR:**80**の間なので、販売

促進費もT:**145**とR:**160**の間だと推測できる。選択肢では**150**万円。

20 [3,840,000円]

【発注予定表】

	人数(人)	社章(個)	名刺A(組)	名刺B(組)	名札(枚)	社員証(枚)	支払い予定金額(円)
役員	15	15	15		15	15	87,000
商品部	200	200		400	200	200	1,360,000
管理部	400	400	400		400	400	2,320,000
開発部	800	800		800	800	800	?
研修部	500	500			500	500	1,400,000
契約社員	120			120	120		276,000
パート従業員	120				120		36,000
アルバイト	220				220		66,000
合計	2,375	1,915	415	1,320	2,375	1,915	-

【開発部】の項目を見ると、名刺B以外は【商品部】の4倍になっている(名刺Bは2倍)。

【商品部】の支払い予定金額を4倍すると、

1360000×4=5440000円

これには名刺B:400組を4倍した1600組が含まれているので、名刺Bを1600-800=**800**組分だけ引く必要がある。

名刺Bに着目して表を見ると、【契約社員】と【パート従業員】の違いは名刺B【120組】があるかどうかだけで、支払い予定金額の差は、

276000-36000=240000円

名刺Bは1組…**240000÷120=2000円**

よって、開発部の支払い予定金額は、

5440000-800×2000=3840000円

※模擬テスト「計数」が終了しました。

これで、玉手箱で最も難しい「表の空欄推測」を合計100問解いたことになりました。

頑張ってきた自分を褒めてあげましょう！

本当にお疲れ様でした。

本書の問題を制限時間内で解けるようになっておけば、本番のテストでも合格できるはずですよ。志望企業の内定獲得を願っております。

4章

【模擬テスト】論理的読解 ▶本冊202～217ページ

A→文脈の論理から明らかに正しい。または正しい内容を含んでいる。

B→文脈の論理から明らかに間違っている。または間違った内容を含んでいる。

C→問題文の内容だけからでは、設問文は論理的に導けない。

問1

1 [C]

第四の壁を破られることに対して、観客の側がどう思っているかということは本文には書かれていない。

2 [A]

「フィクションへの同意」についての記述を検索する。

4行目「フィクションであることへの『同意』が舞台と客席を異なる空間に隔てて～概念上存在するこの境界を『第四の壁』という」とあるので、「第四の壁」＝「フィクションへの同意」ということがわかる。

さらに9行目に「上演中に観客と俳優が第四の壁（フィクションへの同意）の存在を意識することはないに等しい」とある。

3 [B]

5行目に「概念上存在するこの境界を『第四の壁』という。概念自体はシェイクスピアの時代以前に発生していたが、第四の壁という呼称は19世紀に発生した」とある。

シェイクスピアの時代の演劇人が「第四の壁」を破ろうとしていたとはいえない。

4 [C]

「第四の壁という呼称が生まれたことで、第四の壁を破る手法も始まった」という意味内容は、問題文のどこにも書かれていない。

問2

1 [A]

「教養」で検索すると、10行目に「歌を詠むことが第一の教養とされ、～理想的な基礎教育科目と見なされたのだ」とある。

2 [A]

「源氏物語」で検索すると、14行目に「『源氏物語』に由来する和歌を作れば、この大長編を読破した証拠として自慢げに示せる」とあるので、読破は名誉あることだったといえる。

3 [C]

「日本文化の多様化に、和歌は大きな影響を及ぼした」とは、本文には書かれていない。

4 [C]

4行目に「武士の時代（鎌倉・室町時代）である中世社会に移り、～和歌を詠み親しむ階層が広がり」とはあるが、武士だけでなく一般庶民へも和歌の世界が拡大したとは、どこにも書かれていない。

問3

1 [A]

「砂漠化が始まる」という内容で検索すると、10行目に「砂漠化が最初に起こるのは砂漠の中でも周辺でもない。砂漠からかなり離れた半乾燥地や半湿潤地の農地から始まるのである」とある。

2 [C]

「砂漠化が進む周辺地域で流砂や砂嵐を見ることはあまりない」とは本文には書かれていない。

3 [B]

4行目に「主に乾燥地域における」とあるので、世界中すべての地域で起こりうる現象ではない。

4 [B]

「**現存量**」で検索すると、16行目に「**現存量**はほとんど変化しなくても、より乾燥した環境に適応した植物へと種組成が質的に変化することもある」とある。

問4

1 [A]

「**自文化を見つめなおせる**」で検索する。
17行目に「少し離れた立場から**自文化を見つめなおせる**『鏡』を手に入れることも、文化人類学の重要な役割の1つ」とある。

2 [B]

「**エミック**」と「**エティック**」で検索する。
13行目に「異文化の理解には、『**エミック**』だけでなく『**エティック**』も併せた両方の視点をバランスよく扱うことが大切」とある。

3 [A]

「**違和感**」で検索する。
15行目に「対象集団への**エミック**な見方が身についてしまい、自分が暮らしていた日本社会の方が異文化に思えて違和感を抱くことがあります」とある。

違和感を抱くのは、研究対象を外側から観察・分析するエティックな視点から日本社会を見るためだとわかる。

4 [C]

エミックによる分析が科学的かどうかということは、どこにも書かれていない。

問5

1 [C]

13行目に「他とは違う生き方を選んだ人々は、その価値観を容易には認められなかったのだ」とはあるが、設問の「今も昔も、自分と異なる生き方を選択した人の価値観」について認めるか否かは、本文には書かれていない。

2 [A]

「**結婚**」「**非婚**」で検索する。

18行目に「今日の日本社会においては～社会的コンセンサスが『結婚する、しないは個人の自由である』と変容してきた」とある。

3 [C]

「多様な価値観は、社会的コンセンサスが変化することによって生まれている」というようなことは、どこにも書かれていない。

4 [B]

7行目：「昔から『結婚して子を作る』というライフスタイルにこだわらない人々は一定数存在していた。まるで新しい価値観のように扱われているが、自らの価値観のもとに他とは違う生き方を選択した人々も確実にいた」

21行目：「今まで黙殺されがちであったライフスタイルや価値観が表面化してきたにすぎない」とある。

これらにより、新しい価値観が生まれたわけではないとわかる。

問6

1 [A]

「**基礎化粧品**」「**短期**」「**長期**」で検索する。

14行目に「**基礎化粧品**を数日使っただけでは効果が実感できなくても、半年間ほど使用を継続すれば肌質が驚くほど改善する～**短期的**な使用では違和感がなくても、**長い間**使用するうちに発疹などの皮膚疾患が生じることも起こりうる」とある。

2 [B]

「**テスターや試供品**」で検索する。

7行目：「**テスターや試供品**で自分の『肌合う』かどうか試してからの購入であれば、～しかし、それはあくまでも一時的かつ**短期的**なものであることは否めない」、

12行目：「**テスターや試供品**による短期間の『**お試し使用**』では、実際に購入することになる製品とは使用する期間の条件が違ってくる」以上より、「基礎化粧品の実態（現実的効果）がよくわかる」とはいえない。

3 [B]

「肌の細胞」で検索する。

10行目に「基礎化粧品のような商品で効果を得るまでには、肌の角質層の細胞が入れ替わる一定の時間をふまえて、継続的な使用が必要とされる」とある。

細胞が入れ替わる時間は一定であり、基礎化粧品で変化するものではないことがわかる。

4 [A]

16行目に「短期的な使用では違和感がなくても、長い間使用するうちに発疹などの皮膚疾患が生じることも起こりうる」とある。

問7

1 [A]

「性淘汰」「雄間競争」「配偶者選択」で検索する。

11行目に「繁殖競争に有利であれば進化が起こりうるという、性淘汰(セクシャル・セレクション)のしくみを発見する。つまり、同じ自然環境にあっても、繁殖における社会的環境は雌雄で異なる。『オスとは小配偶子をたくさん作る性、メスとは大配偶子を少しだけ作る性』であるという繁殖戦略の違いが、数が少ない卵を作るメスの獲得にオス同士が争い(雄間競争)、大量の精子を作るオスたちの中から好みの個体をメスが選ぶ(配偶者選択)というふうに、雌雄で異なる社会的環境をもたらし、それが進化に結びつく」とあり、雄間競争と配偶者選択が性淘汰をもたらす環境として挙げられていることがわかる。

2 [A]

「配偶子」で検索する。

14行目「『オスとは小配偶子をたくさん作る性、メスとは大配偶子を少しだけ作る性』であるという繁殖戦略の違いが、～雌雄で異なる社会的環境をもたらし、それが進化に結びつく」とあり、文脈からこれが性淘汰が起こる理由であることがわかる。

3 [B]

「カブトムシ」で検索する。

4行目「カブトムシの角はオスにはあるのにメスにはない。長くて重たい角を持つオスは飛ぶときに不便…」とあるので、生存上有利な理由とはいえない。

4 [C]

繁殖上で有利な形状や性質と、生存上の有利さを比較する記述は本文にはない。

問8

1 [C]

17行目に「もともと企業は自社名の宣伝やイメージアップの戦略として、スポーツや音楽、芸術などの文化行事やイベントを支援・後援していた」とあるが、自社ロゴを作成したことで支援や後援をしやすくなったとは、どこにも書かれていない。

2 [C]

企業が文化行事やイベントの内容に興味を持ったから支援・後援を行うとは本文には書かれていない。

3 [B]

6行目に「高級ブランドのロゴは、その商品の値札と同じような役割を果たす」、また12行目に「ロゴのイメージ定着によってブランド名そのものが商品に付加価値を与える」とある。ブランドロゴが商品に値札と同じような付加価値を与えるのであって、「商品の価格を示す」のではない。

4 [A]

26行目に「ブランド化によって、前例と同様に、その企業に興味や関心のなかった人々へアピールする機会を創出できる」とある。

※同じ長文で4問(4画面)続くので、1問目で長文を読みながら内容を記憶するようにすると、2問目で降も回答しやすくなっていきます。

問1

❶【A】「状況に応じたパターンの使い分けと一つのパターンの掘り下げのうち、自分に合った方法を選ぶとよい。」

12行目「やってきたことの幅が広くて、弁が立つ人であれば、多くの自己PRのネタをもち、その場その場で臨機応変にアピールを変えるのは有効だし、可能だろう。逆に、どうしても自分が大学でやってきた研究に沿った仕事をやっていきたい、というような人は、自己PRのもち数は一つだけでよい。」

これが趣旨なのでA。

❷【C】「やってきたことの幅が狭い人は同じパターンで自己PRするしかない。」

12行目「やってきたことの幅が広くて、弁が立つ人であれば、多くの自己PRのネタをもち、その場その場で臨機応変にアピールを変えるのは有効だ」とは書かれているが、逆に「幅が狭い人は同じパターンで自己PRするしかない」とは、どこにも書かれていないのでC。

❸【B】「演奏家がファンをもつ方法には、複数のパターンがある。」

第一段落に書いてある内容だが、趣旨ではないのでB。

❹【B】「一つのパターンを洗練させることは、自己PRにおいて強みとなる。」

7行目「自己PRのレポーターも、一つのパターンをどの企業でも使い回す場合と、逆に多くのパターンを企業や選考段階で使い分けていく場合がある。前者の強みは、場数を踏むほどに洗練されていき、インパクトが加わっていくことだ」とある。

本文に書かれている内容だが、趣旨ではないのでB。

問2

❶【B】「本選考ではインターン選考とは違う長所を見せることが大切である。」

最後の文「自己分析や志望動機をブラッシュアップして、本選考ではインターン選考より優れたアピールとなるようにしたい」という内容の言い換え。

ただし趣旨とはいえないのでB。

❷【B】「本選考は入社後に活躍できる人材かどうかを判断するためのものだ。」

10行目に「本選考は、入社後に活躍してくれる人材かどうか、社風に合うかどうかを判断するために行われる」とある。

本文に書かれている内容といえるが、趣旨ではないのでB。

❸【A】「インターン選考の落選で本選考への応募を諦める必要はない。」

12行目の「インターンの選考に落ちたからといって、本選考への応募を諦めるのはもったいない。～インターンの結果にこだわらずに、受けたい企業を受けるのが正解である」という趣旨に沿っている内容なのでA。

❹【C】「インターン選考に落ちるのは、入社への熱意が正しく伝わっていないからである。」

インターン選考に落ちる理由については、本文のどこにも書かれていないのでC。

問3

❶【C】「志望度を評価基準にする企業には入社すべきでない。」

12行目に「志望度を評価基準としている企業は、わたしからすると現実が見えていないと言わざるを得ない」はあるが、「入社すべきでない」とは書かれていないのでC。

❷【B】「入社選考で重視すべき要素は、志望

度のほかにもたくさんある。」

14行目に「入社選考においては、能力、仕事への適性、企業風土との相性など重視すべき要素はいくらでもあるはず」とあるように、本文に書かれている内容といえる。

しかし、趣旨とはいえないのでB。

3【C】「志望度は重視しない企業や採用担当者が増えている。」

「増えている」とは本文のどこにも書かれていないのでC。

4【A】「現在、志望度は適切な評価基準とはいえない。」

5行目「志望度ははたして適切な評価方法といえるのだろうか。わたしにはそう思えない」、14行目「現代はもはや志望度の高低で採用を決められる時代ではないのだ」が趣旨になっている。

同様の内容なのでA。

問4

1【B】「格差社会になった原因の一つに投票率の低さがある。」

8行目「投票率が低いからこそ、～固定された格差社会が成立してしまう」とあるが、趣旨ではないのでB。

2【C】「日本経済も政治が変われば持ち直すだろう。」

政治が変われば日本経済が持ち直すとは、本文には書かれていないのでC。

3【A】「よりよい社会にするために選挙に行くべきである。」

筆者は、全体を通じて何よりも選挙に行くべきだということを主張しているのでA。

4【C】「入社選考では、応募者が選挙に行ったかどうかを重視すべきだ。」

本文のどこにも書かれていないのでC。

問5

1【A】「面接官は入社後に育てられる資質で

はなく、育ちにくい資質を重視すべきだ」

17行目「面接で重視すべきなのは、『やり抜く力』や『自己認識力』など、入社後の経験では育ちにくい資質の有無なのだ」という趣旨と一致しているのでA。

2【C】「会社に入らなければ、コミュニケーション能力は育てることができない。」

11行目に「そもそもコミュニケーション能力は入社後の経験によって高めることができる能力である」と書かれている。

しかし、「会社に入らなければコミュニケーション能力は育てることができない」とは、本文には書かれていないのでC。

3【B】「面接で緊張しない人はいないだろう。」

8行目「そんな特殊な状況下では誰でも緊張するものであり」とあるので、本文に書かれている内容といえるが、趣旨ではないのでB。

4【B】「コミュニケーション能力の有無だけで採用を決めるのは間違っている。」

15行目「コミュニケーション能力という今後育てられる資質を面接時に持っていないことを理由に不合格にするのは間違いだといえる」とあるが、趣旨ではないのでB。

問6

1【C】「大企業のメリットだけに注目する就活は失敗する。」

8行目「メリットばかりに注目してしているよなのだ」とはあるが、その結果、就活に失敗するとまではどこにも書かれていないのでC。

2【B】「大企業と中小企業の優劣は一概には判断がつかない。」

9行目「企業の規模を比較して優劣を決めるのは難しい」を言い換えた表現。

しかし、筆者が一番訴えたいこととはいえないのでB。

3【A】「企業選択は、自らが重要視する条件が実現できるのはどこか、という視点で臨め

ばよい。]

16行目の「自分の重きを置く条件が～選択すればよいのである」を言い換えており、趣旨といえるのでA。

4【C】「自分にとって譲れない条件とは、自身の資質を捉えなければ見えてこない。」
本文に「譲れない条件」と「自身の資質」の直接の関係を示す部分はないのでC。

問7

1【A】「面接では笑顔にこだわらず自分の得意な表情で勝負すればよい。」

13行目～末尾までに「笑顔が難しければ、～自分の得意な武器を磨いてほしい」とある。趣旨にそった内容なのでA。

2【C】「笑顔の作り方をいくら練習しても、『笑顔の呪縛』からは逃れられない。」
笑顔の練習と「笑顔の呪縛」の関係は、本文には書かれていない。よってC。

3【B】「熱意あふれる眼差しは相手によい印象を与える。」

12行目「入社への意欲を語る時～相手によい印象を残すはずである」とあるように、本文に書かれている。

しかし、筆者が一番訴えたいこととはいえないのでB。

4【C】「面接では、自分の人となりや魅力を表現する表情が最も大切なことである。」
面接で最も大切なことが自分の人となりや魅力を表現する表情であるとは、本文のどこにも書かれていない。よってC。

問8

1【B】「逆質問の目的の一つは、会社のことを知ってもらうためである。」

5行目「理由の一つはもちろん応募者の疑問に答えることで、自分の会社についての理解を深めてほしいからである」とあるが、趣旨ではないのでB。

2【C】「福利厚生についての逆質問をすると不合格になることもある。」

15行目「ただし、給与や福利厚生など、待遇面の質問ばかりするのも控えたほうがよい」とあるが、不合格になるとは本文には書かれていない。

よってC。

3【B】「面接官は逆質問で応募者の熱意をはかっている。」

6行目に「もうひとつの理由は、応募者の入社意欲をはかるためである」とあるように、本文に書かれている内容なのでB。

4【A】「逆質問は応募者が入社意欲を伝えるチャンスである。」

10行目に「逆質問は応募者が自らの入社意欲の高さをアピールする、またとないチャンスともいえる」とあり、ここが趣旨になっているのでA。

※同じ長文で4問(1画面)、1問目で長文を読みながら内容を記憶するようにすると、2問目以降も回答しやすくなっていきます。

また、設問文に「AとCが1つ以上」とあるので、3問目までにA(またはC)がない場合には、4問目は読まなくてもA(またはC)と判断することで、速く回答できます。

4章

【模擬テスト】英語／長文読解 ▶本冊226～233ページ

問1

❶ [D] "kitchen floor" で検索する。

13行目の The kitchen is well-designed with **marble flooring**, a glass-topped island, and a high-quality oven.

(キッチン、大理石の床、ガラス張りのアイランド、高品質のオープンが機能的に配置されています)より、床は大理石でできているのでDが正解。

❷ [C] 1行目の以下の記載がヒントになる。

Are you interested in living in a luxurious home away from the city but still want the **convenience of city life**? (都市生活の利便性を損なうことなく、都市から離れた贅沢な家に住むことに興味がありますか?)

よって正しい選択肢はC。

❸ [B] "(shopping) mall" で検索する。

5行目の以下の文から位置関係を判断する。

there is a medical center with advanced facilities right across the street from the **mall** in case you or your family need medical care. (あなたやあなたの家族が医療ケアが必要な場合、モールの通りの向かいには最新の設備を備えた医療センターがあります)

つまり、ショッピングモールは医療センターの通りの向かい側にある。正解はB。

難易度は高めの問題だが、本文の **across the street** (通りの向かい側) が選択肢で **On the opposite side of the street** (通りの反対側) に言い換えられていることがわかれば正解することができる。

問1 【和訳例】

都市生活の利便性を損なうことなく、都市から離れた贅沢な家に住むことに興味がありますか？

川沿いの美しい4ベッドルームの木造住宅は、あなたにぴったりのお家かもしれません。市内中心部まで車でわずか30分、大型ショッピングモールまで10分です。あなたやあなたの家族が医療ケアが必要な場合、モールの通りの向かいには最新の設備を備えた医療センターがあります。

この家には、各ベッドルームにバスルームとウォークインクローゼットを備えてあります。広々としたリビングルームには、石造りの暖炉、書斎、ゲームルームがあります。キッチンは、大理石の床、ガラス張りのアイランド、高品質のオープンが機能的に配置されています。家は川の絶景と素晴らしい自然の景色に囲まれており、長い一日の後に安らぎの隠れ家を提供してくれます。川に面したウッドデッキからは、夕日を眺めることができます。

❶ キッチンの床は何からできているか？

- A 木
- B 岩
- C ガラス
- D 大理石
- E タイル

❷ この家に惹かれるのは誰か？

- A 都会暮らしを諦めたくない人
- B 遠隔地に住みたい人
- C 都市生活の利便さを保ちながら都市の外に住みたい人
- D 通勤に30分以上運転したくない人
- E 都会に住むのにあまりお金をかけたくない人

❸ ショッピングモールはどこにあるか？

- A 家と街の間
- B 医療センターの通りの向かい側
- C 家から街の反対側
- D 医療センターの隣
- E 家と医療センターの間

問2

1 [E] 文章の趣旨を問う問題は、初めの一文をまず読み、それでも分からなければ最後の一文を読むとよい。

文章の1行目に we are having a class reunion (同窓会を開催します) とあるので、答えは E 「同窓会への招待」とわかる。

2 [C] "this month" で文章を検索する。7行目に send back the enclosed reply card by the end of this month. (同封の返信用ハガキを今月末までにお送りください) とあるので、答えは C 「参加の返事」。

3 [B] "cancel" で検索をする。12行目: If you need to cancel, please do so in advance to avoid a cancellation fee. Up to one week before the event, the fee is 30% of the participa-

tion fee. After that, you will need to pay the full fee.

19行目: Participation Fee:10,000 yen per person

(キャンセルする必要がある場合は、キャンセル料を避けるために事前にお知らせください。イベントの1週間前までは参加費の30%がキャンセル料となります。それ以降は、全額をお支払いいただく必要があります。参加費: 1人あたり10,000円)

これらの情報により、5日前は参加費(10,000円)の全額がかかることがわかる。答えは B の「10,000円」。

問2 【和訳例】

来月、私たちは卒業10周年を祝うためにクラスの同窓会を開催します。さらに、私たちの担任の先生は今月で退職予定ですので、皆で感謝の気持ちを表すために再び集まりましょう。

以下は同窓会の詳細です。日程とスケジュールをご確認いただき、同封の返信用ハガキを今月末までにお送りください。再びお会いできることを楽しみにしております。ご質問がある場合は、同窓会委員会にお気軽にお問い合わせください。

キャンセルする必要がある場合は、キャンセル料を避けるために事前にお知らせください。イベントの1週間前までは参加費の30%がキャンセル料となります。それ以降は、全額をお支払いいただく必要があります。

日時: 3月27日、午後6時から午後9時まで

場所: XYZホテルのH1ルーム

参加費: 1人あたり10,000円

*イベント当日の宿泊が必要な場合、XYZホテルの客室を5,000円割引で予約できます。詳細はこの手紙に含まれています。

1 このお知らせは何についてか?

- A 新しいクラスの紹介
- B ホテルのご案内
- C 最後のホームルームへの招待
- D 先生の紹介
- E 同窓会への招待

2 今月何をする必要がありますか?

- A 主催者に電話をかける
- B 主催者に参加費を支払う
- C 参加の返事
- D 担任の先生に感謝する
- E XYZホテルの部屋を予約する

3 イベントの5日前にキャンセルした場合、料金はいくらか?

- A 15,000円
- B 10,000円
- C 7,000円
- D 5,000円
- E 3,000円

問3

❶ [D] "temples"がキーワードになる。

13行目のlet's explore numerous shrines and temples together. The more you know about Japanese history, the more you will enjoy visiting these places.

(一緒に多くの神社と寺を探索しましょう。日本の歴史について知っていることが多いほど、これらの場所を訪れるのが楽しみになります) これにより、正解はDの「日本の歴史に関する知識」

❷ [B] エミリーに関する正しいものを選ぶ問題。メール本文の最初の1文をまず読むとよい。本文の最初の1文(5行目)がヒント。Congratulations on passing your international student examination! (留学生試験合格おめでとうございます！)

これより、エミリーは留学生と判断できる。また、文章に日本のことが多く書かれていることから、日本の大学に入学するとわかるので、正解はB。

❸ [E] "remarkable"で検索すると、19行目にConsidering your remarkable abilitiesとあるので、この段落の情報をヒントにする。20行目：Your proficiency in both Japanese and English (日本語と英語の堪能さ) 25行目：Additionally, you are a talented violinist and athlete! (さらに、あなたは優れたヴァイオリニストであり、アスリートでもあります！)

これらより、彼女は様々な才能を持っていることがわかる。答えはE。

問3 【和訳例】

エミリー・アンダーソンさんへ <Emily0625@XXXXXXXX.com> 日付: 20xx年5月07日(金)

件名: Re: エキサイティングなニュース！！

留学生試験に合格おめでとうございます！ 私は、様々な選択肢の中から私たちの大学を選んでくれてとても嬉しいです。素晴らしい決断をしたと信じています。9月にお会いできることを楽しみにしており、1年間一緒に勉強できることを心待ちにしています。あなたは日本の歴史と文学に興味があると聞いています。日本に到着したら、一緒に多くの神社と寺を探索しましょう。日本の歴史について知っていることが多いほど、これらの場所を訪れるのが楽しみになります。私たちは歴史の知識を共有できます。

あなたの素晴らしい能力を考えると、私はあなたが私たちの大学で人気のある学生になることに疑いの余地はありません。日本語と英語の堪能さ、そして多くの漢字を読み書きできる能力は印象的です。あなたのお母さんが日本人だと聞いていますが、おそらく母国で日本語を学ぶのは大変だったことでしょう。さらに、あなたは優れたヴァイオリニストであり、アスリートでもあります！

私たちの大学、この街、またその他のことについて質問があれば、どうぞ遠慮なくお知らせください。私はいつでもあなたのお手伝いをします。

❶ 送り主によれば、何がお寺巡りをもっと楽しくするか？

- A 日本語能力
- B 彼らをよく知る仲間
- C お寺に詳しいツアーガイド
- D 日本の歴史に関する知識
- E 事前準備と具体的な計画

❷ エミリーについて正しいのは次のうちどれか？

- A 彼女は留学生の試験を受ける直前である
- B 彼女は日本の大学に入学する留学生である
- C 彼女は日本に興味を持つドイツ人の両親の娘である
- D 彼女はこのメールの送信者の家庭教師になる
- E 彼女はプロのバイオリニストとしてコンサートのために来日する

❸ エミリーはなぜ素晴らしいのか？

- A 彼女は一人で日本に来るから
- B 彼女は優れた大学に受かったから
- C 彼女はドイツ語が話せるから
- D 彼女は大学の人気者だから
- E 彼女は多才な人だから

問4

❶【B】"lunch"で検索する。

10行目に if you have hamburgers or noodles for lunch, try adding some salad or soup to the meal. (ランチにハンバーガーや麺類を食べる場合、一緒にサラダやスープを加えてみてください) とあるので、答えはBのハンバーグと新鮮なサラダ。他の選択肢は文章に書かれていないので不適切。

❷【C】文の趣旨を問う問題。初めの1文と最後の1文を読む。

1行目：Eating well is crucial for your physical and mental health. (食事を良く摂ることは、体と精神の健康にとって非常に重要です)

22行目：Hopefully, this will help you maintain good physical health. (これが良好な身体の健康を維持するのに役立つこと

を願っています) より、最も適切な選択肢はC。他は著者の主張に書かれていないので不適切。

❸【A】6行目：Being mindful of your food choices can still have a positive impact. (食事の選択に注意を払うことは、良い影響を与える可能性があります) とあり、Aの選択肢と同様のことを述べている。著者の主張に近いのはA。

Dと迷うかもしれないが、「健康が一番重要である」とは文章の中で述べていないので不適切。

時間がかかり厄介な問題だが、制限時間が来たら選択肢をざっと読んで、一般的な考え方としてAと答えてもよい。

問4【和訳例】

食事を良く摂ることは、体と精神の健康にとって非常に重要です。毎日健康で美味しい食事を準備してくれる人がいるなら、それは素晴らしいことです。しかし、そんな人が周りにいない場合や、バランスの取れた食事を用意する時間があまりない場合でも、心配しないでください。食事の選択に注意を払うことは、良い影響を与える可能性があります。

まず第一に、毎回の食事にさまざまな食品を取り入れることを目指してください。たとえば、ランチにハンバーガーや麺類を食べる場合、一緒にサラダやスープを加えてみてください。スープやサラダの代わりにフルーツとヨーグルトに置き換えることもできます。第二に、たくさん種類の料理を食べてみてください。コンビニ弁当を頻繁に利用している場合、異なる種類を試してみることを考えてみてください。外食の際には、毎回メニューから異なる料理を試してみてください。

小さな変化でも大きな違いを生むことがあります。完璧でないと、必要な栄養素とビタミンの一部を摂取することができます。これがあなたの良好な身体の健康を維持するのに役立つことを願っています。

❶ 著者はおそらくどのランチの選択を提案するか？

- A チーズバーガーと牛乳
- B ハンバーグと新鮮なサラダ
- C ホットドッグとオレンジジュース
- D ハンバーグとパスタ
- E 麺とおにぎり

❷ 文章によると、どの文が正しいか？

- A 私たちは学校で正しい食事の仕方を学ぶべきだ
- B 自分で料理することが外食よりも良い
- C 食事に気をつければ、病気になるかもしれない
- D 外食はできるだけ少なくすべきである
- E お弁当は健康によくない

❸ 著者が発言する可能性が最も高いのはどれか？

- A 毎日何を食べるかを考える必要がある
- B 料理を作ってくれる人と一緒に暮らすべきだ
- C 昼食にハンバーガーを食べてはいけない
- D 健康は私たちの人生の中で何よりも重要だ
- E ささいなことは重要ではない

4章

【模擬テスト】英語／論理的読解 ▶本冊234～241ページ

問1

❶ [B] "Washington D.C." と "Hawaii" で検索し、時差の表記を探す。

11行目に Washington D.C. follows Eastern Standard Time and is six hours ahead of Hawaii, which follows the Hawaii-Aleutian Standard Time. (ワシントンD.C.は東部標準時帯にあり、ハワイアリユーション標準時帯にあるハワイより6時間進んでいます)と記載がある。時差は「6時間」で、「8時間」と記載のある設問文は正しくないでB。

❷ [A] "longitude" と "time zone" で検索する。3行目に経度が何を定めるかの記載があり、Longitude decides a region's time

zone. (経度は各地域の標準時を決定します)と説明している。本文と一致するのでA。

❸ [B] "New Year" で検索する。

13行目: when Washington D.C. celebrates New Year's Day with cheers, Hawaiians are not even in the same year. (ワシントンD.C.で新年を祝う歓声が上がっているとき、ハワイではまだ新年になっていないのです)とある。

設問文の「ハワイは新年になっている」は正しくないでB。

問1 【和訳例】

次の文を読み、それに続く設問文に最も適した説明を選びなさい。

アメリカ合衆国は、西経77度(ワシントンD.C.)から西経157度(ホノルル)に広がる広大な国です。経度は各地域の標準時を決定します。15度ごとに、進行方向に応じて1時間を加算または減算します。米国には6つの異なるタイムゾーンが存在します。たとえば、ハワイの人々が午前7時に朝食の準備をしているのに対し、ワシントンD.C.の人々は午後1時に遅い昼食をとっています。ワシントンD.C.は東部標準時帯にあり、ハワイアリユーション標準時帯にあるハワイより6時間進んでいます。従って、ワシントンD.C.で新年を祝う歓声が上がっているとき、ハワイではまだ新年になっていないのです。

A: 本文に含まれる情報または主張により、設問に書かれている内容は明らかに正しい、または論理的に導くことができる。

B: 本文に含まれる情報または主張により、設問に書かれている内容は明らかに誤っている、または逆のことを述べている。

C: 追加の情報がなければ、設問に書かれている内容が正しいか間違っているか、または論理的に導けるかどうかを判断できない。

- ❶ ワシントンD.C.とハワイの時差は8時間である。
- ❷ この文章によれば、経度は地域の標準時を決定する。
- ❸ ワシントンで新年を祝う時、ハワイはすでに新年になっている。

問2

❶ 【C】"sumo"、"most popular"がキーワードになる。文章のどこにも"popular"の単語、または類語は見つからない。相撲の「人気」に関する情報は見当たらない。この文章からはわからないのでC。

❷ 【A】"traditional practice"がキーワードで、これを本文では"strict ceremonial manners"で言い換えている。

1行目：not everyone knows it began as a Shinto ritual to pray for peace, family prosperity, fertile agriculture, and successful fishing. That is why Sumo follows strict ceremonial manners. (平和、家内安全、五穀豊穡、豊漁などを祈願する神道の儀式が起源であることはあまり知られていません。これが、相撲が厳格で儀式的な作法を維持する理由です)

相撲の起源は神道の儀式であることが、厳格

で儀式的な作法を維持する理由である、と書かれている。明らかに正しいのでA。

❸ 【A】"traditional"と"modern"がキーワード。本文では"traditional"が"historical"に言い換えられている。

18行目：People have diverse opinions, some advocating for respecting these customs for their historical value, while others believe they should be adapted to modern times (「歴史的価値のある伝統的な慣習を尊重すべきだ」「現代に合わせて慣習を変えるべきだ」など、さまざまな意見があります)とある部分から判断をする。「伝統的意見と現代的意見の対立」と表現している設問文を検証する。

伝統的な慣習を尊重する⇒伝統的意見
現代に合わせて慣習を変える⇒現代的意見
設問文は本文から論理的に導けるのでA。

問2 【和訳例】

次の文を読み、それに続く設問文に最も適した説明を選びなさい。

相撲が日本最古の国技であることは広く知られています。しかし、平和、家内安全、五穀豊穡、豊漁などを祈願する神道の儀式が起源であることはあまり知られていません。これが、相撲が厳格で儀式的な作法を維持する理由です。

大きくて健康的な力士は、神道の神々への敬意を象徴しています。このような宗教のおび文化的伝統を際立たせる最も壮観なイベントの1つは、明治神宮で横綱(最高位力士)が「奉納土俵入り」を行う式典です。これは神々に身も心も捧げる行事です。

しかし、これらの伝統的な行事は現代の社会において時折問題視されることもあります。例えば、性差別的な側面があるという点です。プロの力士は男性ばかりで、女性は土俵に立つことさえできません。「歴史的価値のある伝統的な慣習を尊重すべきだ」「現代に合わせて慣習を変えるべきだ」など、さまざまな意見があります。

A：本文に含まれる情報または主張により、設問に書かれている内容は明らかに正しい、または論理的に導くことができる。

B：本文に含まれる情報または主張により、設問に書かれている内容は明らかに誤っている、または逆のことを述べている。

C：追加の情報があれば、設問に書かれている内容が正しいか間違っているか、または論理的に導けるかどうかを判断できない。

❶ 相撲は日本で最も人気のスポーツである。

❷ 相撲が伝統的な慣習を今日まで守り続けている理由は、その宗教的な性質のためである。

❸ 今日の相撲をめぐる論争の根本的な原因は伝統的意見と現代的意見の議論である。

問3

1 [C] "originated" がキーワードになる。文章には、コーヒーの発祥した地域に関する記載は一切ない。文章からは判断できないためCが正解。

※Aと回答したくなるが、回答がAになるのは例えば「コーヒーの発祥の国は不明である」などと文章に明確に記載がある場合。本文はそもそも、発祥について記載が一切ないのでC(判断できない)を選ばなければいけない。

2 [B] "snacks" で検索をする。

10行目：These establishments not only serve coffee but also offer pastries and snacks to accompany it(カフェや喫茶店は、コーヒーを提供するだけでなく、コーヒーに添えるお菓子や軽食も提供する)これにより、設問文は明らかに誤っているのでB。

3 [A] "contributed" や "culture" のキーワードで検索すると、18行目に以下の記載がある。

coffee has played and continues to play an important role in our culture. (コーヒーは我々の文化に重要な役割を担ってきており、これからも続けていく)

上記の文から、設問文は著者の主張と一致するのでA。

問3 【和訳例】

次の文を読み、それに続く設問文に最も適した説明を選びなさい。

世界中の人々がコーヒーを楽しんでいるが、産地が異なれば味も異なる。例えば、イエメンのモカ、ジャマイカのブルーマウンテン、ハワイのコナはすべて味が異なる。また、同じ地域でも農園ごとに味が異なる。この多様性こそが、コーヒーが歴史を通じて人々に愛されてきた理由の1つだ。

また、カフェや喫茶店は、知識人や芸術家がコーヒーを飲みながら交流する場としても魅力を持っている。カフェや喫茶店は、コーヒーを提供するだけでなく、コーヒーに添えるお菓子や軽食も提供するため、お菓子の発展にも貢献してきた。最近では、カフェやコーヒーハウスでも、コーヒーの表面に泡立てたミルクで絵を描く楽しい「ラテアート」など、クリエイティブなコーヒーの提供方法を模索している。

このように、**コーヒーは我々の文化に重要な役割を担ってきており、これからも続けていく。**

A：本文に含まれる情報または主張により、設問に書かれている内容は明らかに正しい、または論理的に導くことができる。

B：本文に含まれる情報または主張により、設問に書かれている内容は明らかに誤っている、または逆のことを述べている。

C：追加の情報がなければ、設問に書かれている内容が正しいか間違っているか、または論理的に導けるかどうかを判断できない。

1 コーヒーが発祥した国については、明確にはわかっていない。

2 菓子類はカフェや喫茶店では提供していない。

3 コーヒーは文化の発展に貢献してきた。

問4

1 [A] "surface text" と "philosophy" がキーワードになり、冒頭に以下の記載が見つかる。Japanese literature is very popular abroad, attracting many enthusiastic fans who wish to comprehend not only the **surface content** but also the deep **philosophical ideas** concealed within the text. (日本文学は海外で非常に人気があり、多くの熱烈なファンを魅了している。彼らは表面のテキストだけでなく、行間に潜む深い哲学的な意味も理解したいと思っている) これにより設問文は正しいのでA。

2 [A] "Gorin-no sho"に関する記載を探す。4行目: 'Gorin-no-sho,' authored by the renowned Japanese swordsman Miyamoto Musashi between 1643 and 1645, shortly before his death (1643年から1645年に

かけて、有名な日本の剣豪、宮本武蔵が書いた『五輪書』は、彼が亡くなる直前に書かれ) これにより設問文は正しいのでA。

3 [B] "sword matches"に関する記載を探すと、同じ意味の"sword duels"を見つけることができる。

9行目: Musashi survived more than 60 life-or-death **sword duels**, owing to his strong self-discipline and determination to emerge victorious and stay alive. (武蔵は60回以上の生死を賭けた剣闘を乗り越えることができた。それは彼の厳しい自己鍛錬と勝利と生存への強い決意のおかげだ)

つまり、武蔵が剣闘から生還できたのは、厳しい自己鍛錬と勝利と生存への強い決意のおかげであり、剣術に頼っていたからではない。設問文は誤りなのでB。

問4 【和訳例】

次の文を読み、それに続く設問文に最も適した説明を選びなさい。

日本文学は海外で非常に人気があり、多くの熱烈なファンを魅了している。彼らは表面のテキストだけでなく、行間に潜む深い哲学的な意味も理解したいと思っている。1643年から1645年にかけて、有名な日本の剣豪、宮本武蔵が書いた『五輪書』は、彼が亡くなる直前に書かれ、この点で広く読まれた日本文学の一つである。

彼の生涯を通じて、武蔵は60回以上の生死を賭けた剣闘を乗り越えることができた。それは彼の厳しい自己鍛錬と勝利と生存への強い決意のおかげだ。本は戦術と剣技に関するガイドブックの形をしているが、よく見ると世界と人生の深い解釈が現れる。その中心的なメッセージは、真の熟達には単に技術だけでなく、「何も持たない精神」を受け入れることから生まれるということであり、それによって命を脅かすような困難な状況において素速く対応することができるようになるのだ。

A: 本文に含まれる情報または主張により、設問に書かれている内容は明らかに正しい、または論理的に導くことができる。

B: 本文に含まれる情報または主張により、設問に書かれている内容は明らかに誤っている、または逆のことを述べている。

C: 追加の情報がなければ、設問に書かれている内容が正しいか間違っているか、または論理的に導けるかどうかを判断できない。

1 日本文学の熱心なファンは、表面のテキストのみではなく、その哲学も理解しようとしている。

2 武蔵は晩年に五輪書を書いた。

3 武蔵が常に剣闘から生還できたのは、剣術に頼っていたからである。